

平成 24 年 度

北 上 の 教 育

北上市教育委員会

北上市市民憲章

(平成4年1月5日制定)

あの高嶺

鬼すむ誇り

その瀬音

久遠の賛歌

この大地

燃えたついのち

ここは 北上

北上市民の歌

きらめいて

(平成4年3月25日制定)

作詞 谷川俊太郎

作曲 三善 晃

限りない歴史貫き
北上と和賀の流れは
ゆったりと心を洗う
よみがえる四季の祭りに
新しい技とたくみに
明日を望む私たちのまち北上

果てしない宇宙旅して
みちのくの今日の光は
きらめいて川面に遊ぶ
山なみを越える世界を
うたびとともに夢見て
未来を願う私たちのまち北上

目 次

○ 教育行政	
1 教育振興の基本目標と施策の基本方向〔北上市教育振興基本計画の概要〕	1
2 北上市教育振興基本計画の施策体系	5
3 教育委員会組織機構	6
4 教育委員会委員名簿	7
5 教育施設等一覧	8
6 平成 24 年度教育行政施策の基本方針	12
7 平成 24 年度北上市一般会計予算（抜すい）	22
8 平成 24 年度の教育委員会主要事業	24
○ 子育て支援	
1 子育て・就学前教育の方針と重点施策	33
＜参考＞認可外保育施設等、学童保育所、ファミリーサポートセンター、子育て支援センター	38
○ 学校教育	
1 平成 24 年度北上市学校教育行政方針	39
2 平成 24 年度北上市教育研究所運営計画	48
＜参考＞学校教育課関係事業	52
○ 生涯学習	
1 平成 24 年度生涯学習・社会教育の方針と重点施策	53
2 平成 24 年度北上市交流センター生涯学習事業等実施方針	57
3 平成 24 年度北上市立博物館運営方針	60
4 平成 24 年度北上市立鬼の館運営方針	63
5 平成 24 年度北上市立中央図書館運営方針	66
○ 社会体育	
1 平成 24 年度北上市社会体育の方針と重点目標	68
○ 文 化	
1 平成 24 年度芸術文化行政と文化財行政の方針と重点施策	71
＜参考＞北上の指定文化財一覧	76
2 平成 24 年度財団法人北上市文化創造運営方針	79
3 平成 24 年度日本現代詩歌文学館運営協会事業方針	85
○ 資料編	
1 歴代教育委員会委員長、教育長、委員	88
2 各種委員名簿	90
3 園児・児童・生徒数等	99

教育振興の基本目標と施策の基本方向 〔北上市教育振興基本計画の概要〕

◆ 計画策定の趣旨

今日、少子化などに伴う児童生徒の減少や家庭の教育力の低下、地域における連帯感の希薄化など、教育をめぐる環境が大きく変化しています。また子どもたちの基本的生活習慣の定着や、学力・体力の向上、不登校など、様々な教育課題への取り組みが求められています。このような環境の変化や教育課題に対応し、北上の未来を担う人づくりのためには、行政と家庭、地域、学校の役割を明らかにし、新しい時代に合った教育の推進に取り組む必要があります。

これまで、本市教育委員会では、平成13年度に策定した北上市教育振興基本計画に基づき、「心豊かで創造性に富んだ人づくり」を基本目標に様々な施策を展開してきましたが、平成22年度で目標年次となります。

さらに本市は平成23年度から10年間の行政施策を総合的、体系的に展開するため、「自ら創造し、いきいきと支えあい、笑顔咲きほこるまち」を基本理念とする北上市総合計画を策定しました。

本計画は、北上市総合計画の教育・子育て施策との整合性をとりながら、新しい時代に合った教育行政の目指す方向と施策を明らかにするため策定するものです。

◆ 計画の性格

- (1) 本計画は、本市の教育振興の目標及び方向並びにこれを達成するための総合的な教育行政施策を明らかにするものです。
- (2) 本計画における施策は、「北上市総合計画」の教育・子育て施策との整合性を確保しながら推進するものです。
- (3) 本計画は、社会情勢の変化に対応し、見直しを行いながら推進するものです。

◆ 計画の目標年度と計画期間

(1) 目標年度

平成32年度（2020年度）

(2) 計画期間

この計画の期間は、平成23年度（2011年度）を初年度とし、平成32年度（2020年度）を目標年度とする10ヵ年計画とします。

ただし、社会変化に柔軟に対応していくため、5年後に計画を見直します。

◆ 基本目標

教育を取り巻く社会の変化や課題を踏まえ、今後 10 年間の教育振興の基本目標を次のとおりとします。

『郷土を愛し 未来を拓き いのち輝く 人づくり』

『郷土を愛し』

本市には固有の歴史や伝統、風土、豊かで美しい自然、そして、先人が培ってきた知恵や文化があります。そのような北上の良さを学び知ることは、地域に感謝する心や社会へ貢献しようとする心をはぐくみ、北上への誇りや愛着につながります。そのような郷土愛を基に自己を形成し、自信や信念を持って生きていくこと、多様な価値観を尊重すること、地域や国際社会の中で共生することができる人づくりを目指します。

『未来を拓き』

目まぐるしく変化する時代の中で、教育の使命は、一人ひとりの可能性を伸ばし、自立した人間として生涯を切り拓いていく力をはぐくむことです。そのため、子どもたちが、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を培い、自らの夢や目標に向かっていく「生きる力」をはぐくむ教育を展開していきます。また市民のだれもが、心豊かな暮らしを実現できるように、自らを高め共に学習する教育を展開していきます。これらの教育を基に、自らの未来を切り拓いていくことができる人づくりを目指します。

『いのち輝く』

生涯にわたって笑顔でいきいきと暮らすことは、市民のだれもが願うところです。

安心して子どもを産み、その子どもたちが自らの夢や目標に向かって成長していくこと、そして、年代や性別、障がいの有無などにかかわらず一人ひとりの命が守られ、多様な学びや人とのつながりにより生きがいを持って暮らすことができるよう社会全体で支える取り組みが必要です。この取り組みを基に、全ての市民が笑顔でいきいきと輝き、共に成長していくことができる人づくりを目指します。

このようなことから『郷土を愛し 未来を拓き いのち輝く 人づくり』を基本目標とし、本市の教育振興に取り組みます。

◆ 基本方針

基本目標の実現に向けて基本方針を次のとおりとします。

(1) 社会全体で子どもの健やかな成長を支える環境をつくります

少子化の進行により本市の若年層の人口は減少してきており、産業経済や地域づくりの重要な課題となっていることから、

- ・ 将来にわたり活力あるまちづくりを進めるために、安心して子どもを産み育てることができるよう、市民の多様なニーズに対応した保育サービスや子育て家庭の不安や負担への支援を図ります。
- ・ 規範意識や豊かな人間性をはぐくむために家庭と地域の教育力を高め、社会全体で子育てを支える環境づくりを目指します。
- ・ 幼児期に人間形成の基礎を培うために、幼児教育と保育の一体化を進めるとともに、幼稚園、保育所と小学校との連携を図る就学前教育に取り組みます。

(2) 一人ひとりの可能性を伸ばし、夢と希望をはぐくむ学校をつくります

変化の激しい社会の中で、子どもたちが自立した人間として心豊かにたくましく生きていく力をはぐくむことが求められていることから、

- ・ 次代を担う児童生徒の基礎学力の向上を図り、思いやりの心と健やかな身体を培い、一人ひとりの個性と創造性を伸ばしながら、自らの夢や目標に向かって努力する子どもをはぐくむ学校教育を目指します。
- ・ T T（チーム・ティーチング）や個に応じた指導などのきめ細かな指導を推進します。
- ・ 「志教育」の在り方についての研究に取り組み、キャリア教育を推進します。
- ・ 学校と家庭、地域の協働などそれぞれの力を活かした教育活動を進め、地域に開かれた学校づくりと、郷土への誇りと愛着を育てる特色ある教育の実践に取り組みます。

(3) 共に学び、互いに高め合い、心の豊かさと人と人の繋がりが広がる地域をつくります

社会環境の変化に伴い、市民一人ひとりの価値観や意識が多様化し、ライフスタイルの個性化が進むとともに、核家族化や人間関係の希薄化による問題も生じてきていることから、

- ・ だれもが生涯を通じて自らを高め、楽しみや生きがいをもって健康に暮らすことができるように生涯学習環境を整備し、多様な学習活動を通して人と人の交流の輪を広げ、共に支えあう共生社会の形成を目指します。
- ・ 年代に応じた学習機会の提供、生涯にわたり楽しく健康増進ができるスポーツやレクリエーションの普及、豊かな心をはぐくむ芸術文化の振興、郷土の歴史を受け継ぐ文化財の保存、伝統芸能の継承など、学びを通して心の豊かさや人と人との繋がりが広がる地域づくりに取り組みます。

◆ 施策の基本方向と施策体系

本市は、基本目標の実現に向けて、次の5つを施策の基本方向とします。

(1) 家庭や子育てを社会全体で支えていく環境づくり

- ・ 子育て家庭を地域、企業、行政など社会全体で支え、親がともに子育てや家庭に夢を持ち、次代を担う子どもが健やかに育つ環境づくりに努めます。

(2) 生きる力や豊かな人間性をはぐくむ学校教育の推進

- ・ すべての児童生徒が、「生きる力」をはぐくむために、学校、家庭、地域が一体となって「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を培う教育を推進します。
- ・ 学校においては、基礎的、基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などをはぐくむ教育を推進します。
- ・ 児童生徒の発達段階を考慮して、言語活動を拡充させるとともに、家庭との連携を図りながら、児童生徒の学習習慣が確立するよう配慮します。

(3) いきいきと共に楽しく学ぶ環境づくり

- ・ あらゆる世代の市民に多様な学習機会を提供し、学ぶ楽しさを共有していきいきとした人生が実現できるよう支援します。
- ・ 学習ニーズを把握し、歴史、自然、詩歌、民俗芸能などの文化に加え、現代の諸問題の理解、専門性の高い知識の習得、子育てのための情報交換など生活に密着した内容を盛り込むとともに、ものづくりが基盤となっている本市の特徴を多くの市民が学ぶことができるよう努めます。

(4) 豊かなスポーツライフの実現とスポーツ環境の整備充実

- ・ だれもがその年代や体力に応じて、楽しみながら体力向上や健康維持ができるように、スポーツをする機会の拡充に努めます。
- ・ 平成23年度の全国高等学校総合体育大会や平成28年度いわて国民体育大会に向けて、会場となる施設の整備と、競技力向上に取り組みます。

(5) 地域の芸術文化の再発見と振興

- ・ 地域の歴史や風土の中ではぐくまれてきた文化資源を見直し、芸術文化がもたらす潤いや豊かさを発信し、多くの市民が多様な芸術文化に触れる機会の拡充と、未来へ継承する人材の育成に努めます。

◆ 計画の進行管理

計画を効率的かつ着実に実施するためには、施策の成果の点検と評価を行い、その結果を次の施策の見直しに反映させる必要があります。このため、毎年度計画の進行管理を行い、着実な推進を図ります。

北上市教育振興基本計画の施策体系

北上市総合計画まちづくりの基本理念

「自ら創造し、いきいきと支えあい、笑顔咲きほこるまち」

北上市教育の基本目標

「郷土を愛し 未来を拓き いのち輝く 人づくり」

北上市教育の基本方針

- 社会全体で子どもの健やかな成長を支える環境をつくります
- 一人ひとりの可能性を伸ばし、夢と希望をはぐくむ学校をつくります
- 共に学び、互いに高め合い、心の豊かさ人と人との繋がりが広がる地域をつくります

◆教育振興施策の基本方向

1 家庭や子育てを社会全体で支えていく環境づくり

2 生きる力や豊かな人間性をはぐくむ学校教育の推進

3 いきいきと共楽しく学ぶ環境づくり

4 豊かなスポーツライフの実現とスポーツ環境の整備充実

5 地域の芸術文化の再発見と振興

◆施策領域

(1) 子育てと仕事が両立できる環境の充実

(2) 子育て家庭への支援

(3) 地域における子育て支援の推進

(4) 子どもの健やかな成長をはぐくむ環境の整備

(5) 保護を要する児童などへのきめ細やかな取り組みの推進

(1) 学校生活を通して、知・徳・体をはぐくむ

(2) 児童生徒への就学支援

(3) 学校、家庭、地域との連携による教育の充実

(4) 小中学校における教育環境の整備

(1) 生涯を通じた学習機会の充実

(2) 家庭や地域などが連携した社会教育の推進

(3) 社会教育施設の適切な管理と運営

(1) 誰もが気軽に親しめるスポーツの振興

(2) ステップアップを目指した競技スポーツの推進

(3) スポーツ環境の整備と充実

(1) 芸術文化活動の推進

(2) 歴史、文化遺産の保存と活用

◆施策区分

- 保育サービスの充実
- 児童の健全育成
- 子ども・子育て新システムへの対応

- 経済的支援の充実
- ひとり親家庭などの支援

- 子育て支援サービスの充実
- 子育て中の親が交流などのできる場づくり
- 私立幼稚園及び保育所への支援

- 幼保小連携の充実
- 施設環境の整備
- 市立幼稚園及び保育所の民営化の推進

- 児童虐待防止対策の充実
- 障がい児の早期療育の充実

- 学力の向上
- 心豊かでたくましい人間の育成
- 食育指導の充実
- 国際理解教育の充実
- 情報教育の推進

- 特に配慮を必要とする児童生徒への支援
- 学校不適応対策の推進
- 就学支援の充実
- 市奨学金の支援
- 私立学校への支援

- 開かれた学校教育の推進
- 学校と家庭、地域との協働推進
- ものづくり産業と連携したキャリア教育の推進

- 教育環境の整備
- 教育用備品などの整備
- 学校給食の充実

- 年代や社会情勢に応じた学習機会の提供
- 活用できる生涯学習情報の発信
- 生涯学習活動の支援

- 家庭や地域の教育力の向上
- 社会参加活動の推進
- 子どもの居場所づくり

- 社会教育施設の効果的、効率的運営
- 郷土学習推進体制の充実
- 図書館資料の整備と読書活動の推進

- 市民の体力維持と増進
- ニュースポーツ、ウィンタースポーツの普及

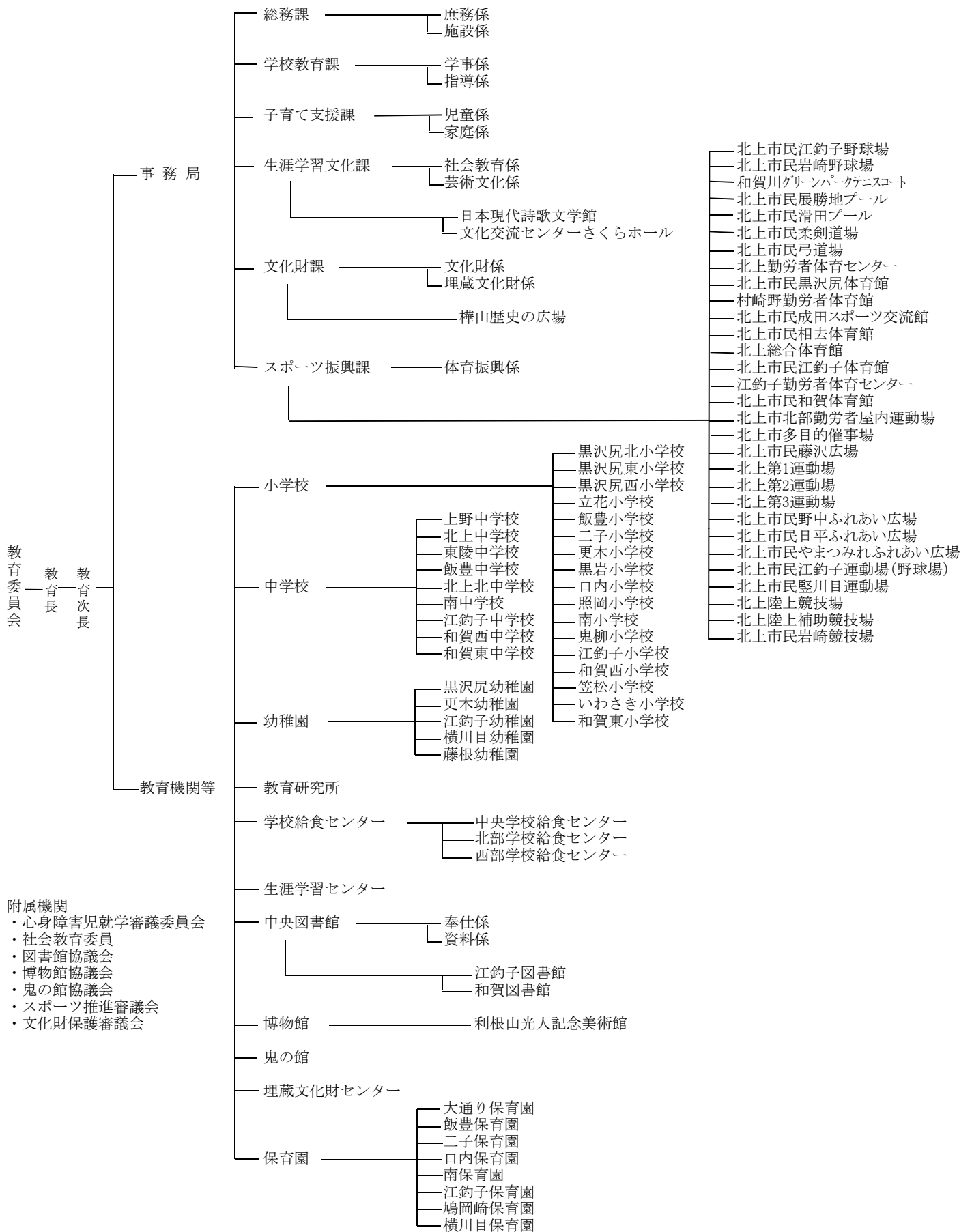
- 選手強化と競技力向上体制の確立
- スポーツ観戦の機会の提供
- いわて北上マラソン大会参加者の拡大

- 公認更新の実施
- 耐震診断の実施
- 施設の整備
- 学校体育施設の有効活用
- スポーツ行事の情報提供

- 芸術文化活動の支援
- 詩歌のまちづくりの推進

- 地域に残る文化財の保護と保存
- 民俗芸能の育成と伝承推進
- 歴史的空間の確保と活用

教育委員会組織機構



教 育 委 員 会 委 員 名 簿



委員長 小原 広記



委員 高橋 峯子
(職務代理者)



委員 薄衣 景子



委員 高橋 善郎



教育長 小原 善則

(平成 24 年 7 月 1 日現在)

役 職 名	氏 名	就任年月日	住 所
委 員 長	小 原 広 記	平成19年 6 月 1 日	北上市大通り
委 員 (職務代理者)	高 橋 峯 子	平成21年 6 月21日	北上市九年橋
委 員	薄 衣 景 子	平成22年 6 月23日	北上市里分
委 員	高 橋 善 郎	平成24年 6 月29日	北上市新穀町
教 育 長	小 原 善 則	平成23年 6 月 1 日	北上市和賀町

教育施設等一覧

(1) 市立学校

(平成24年5月1日現在)

校種	校名	所在地	建設年度	児童生徒数(人)	学級数	教室数		校舎(㎡)		屋体(㎡)		校地面積		プール	職員数	電話
						普通	特別	構造	面積	構造	面積	運動場	その他			
小学校	黒沢尻北	常盤台一丁目22番33号	昭和54年度	887	29	29	7	R	5,535	R	1,012	13,596	16,104	S 55	50	65-3313
	黒沢尻東	中野町一丁目8番1号	昭和44年度	727	25	23	9	R	5,811	R	1,087	6,591	14,152	S 47	47	63-2194
	黒沢尻西	本石町一丁目6番71号	昭和43年度	445	16	17	9	R	6,180	R	752	16,441	11,030	S 48	31	63-3266
	立花	立花18地割157番地	昭和55年度	97	8	7	5	R	2,085	S	839	10,034	17,802	H 2	14	63-3709
	飯豊	村崎野11地割101番地	昭和57年度	667	21	21	8	R	4,772	R	1,029	14,718	8,030	H 1	36	68-2510
		成田24地割23番地						W	985	S	849	2,395	3,506	H 4		
	二子	二子町鳥喰22番地2	昭和55年度	211	9	11	7	R	3,663	R	1,016	10,889	13,616	S 50	18	66-2525
	更木	更木12地割61番地	昭和60年度	43	4	4	5	R	2,004	R	874	8,402	5,977	S 42	9	66-2523
	黒岩	黒岩7地割47番地1	平成 4 年度	57	6	6	6	W	2,040	S	876	7,820	6,400	S 44	12	63-4419
	口内	口内町新町161番地	平成 5 年度	61	7	7	6	R	2,047	S	921	11,313	11,231	S 49	13	69-2004
	照岡	稲瀬町地藏堂15番地	昭和39年度	64	7	6	5	R	1,341	S	913	8,500	5,020	S 45	12	63-2702
	南	相去町葛西樓12番地2	昭和50年度	618	20	21	9	R	6,934	R	958	16,875	15,220	S 53	35	67-4315
	鬼柳	鬼柳町都鳥35番地	昭和62年度	301	13	13	8	R	3,858	S	1,062	9,664	8,400	S 63	21	67-2533
	江釣子	上江釣子16地割200番地	昭和49年度	731	25	25	10	R	5,357	R	1,183	11,758	18,914	S 51	42	77-2219
	和賀西	和賀町横川目7地割134番地3	平成 3 年度	97	7	8	7	R	4,115	R	1,163	12,787	18,316	H 4	13	72-2102
	笠松	和賀町横川目33地割8番地1	昭和34年度	120	6	6	5	W	1,479	W	400	7,806	5,045	S 44	13	72-2103
	いわさき	和賀町岩崎18地割53番地3	平成19年度	159	8	8	8	W	3,031	S	1,170	7,160	8,020	H 19	15	71-7887
	和賀東	和賀町藤根17地割100番地2	平成12年度	335	14	13	7	W	4,461	R	1,277	14,238	14,270	H 13	25	71-7166
	計			5,620	225	225	121		65,698		17,381	190,987	201,053		406	
中学校	上野	上野町四丁目10番8号	昭和58年度	412	14	14	11	R	4,400	R	1,133	18,952	14,523	S 60	33	64-5371
	北上	黒沢尻一丁目1番1号	昭和33年度	557	17	19	14	R	6,069	S	1,352	29,172	11,832	S 44	40	63-3120
	東陵	立花1地割8番地	平成 6 年度	159	7	7	10	R	3,718	S	1,237	29,502	24,968	H 7	17	64-3969
	飯豊	村崎野11地割200番地	昭和50年度	345	11	12	13	R	4,589	R	1,095	26,852	14,881	S 54	25	68-2714
	北上北	二子町秋子沢13番地	平成 2 年度	135	8	8	9	R	2,601	S	1,017	25,217	6,047	S 45	18	66-2518
	南	相去町滝の沢7番地2	昭和37年度	483	15	15	13	R	4,490	S	1,336	33,058	19,721	S 46	34	67-4318
	江釣子	上江釣子17地割172番地1	昭和52年度	369	13	12	15	R	3,712	S	1,438	14,821	11,042	S 63	29	77-2931
	和賀西	和賀町横川目13地割64番地1	平成14年度	142	7	7	9	W	3,312	R	870	16,197	12,477	S 46	18	72-2105
	和賀東	和賀町長沼6地割1番地	昭和48年度	246	11	11	12	R	4,200	S	1,002	17,219	11,881	S 49	23	73-5106
	計			2,848	103	105	106		37,091		10,480	210,990	127,372		237	
幼稚園	黒沢尻	常盤台一丁目7番66号	昭和46年度	定員195人	145	6		R	1,229			1,357	2,327		15	63-3504
	更木	更木12地割61番地	昭和51年度	定員 65人	34	2		S	340			787	715		5	66-2589
	江釣子	滑田15地割57番地	昭和46年度	定員150人	104	4		S	980			4,228	2,850		12	77-4340
	横川目	和賀町横川目33地割1番地	昭和43年度	定員130人	40	2		W	631			395	1,244		8	72-2233
	藤根	和賀町長沼6地割6番地3	昭和45年度	定員100人	65	3		W	544			941	1,592		6	73-5335
	計			定員640人	388	17			4,245			7,708	8,728		46	

(2) 教育研究所

施設名	所在地	建設年度	敷地面積 ㎡	建物延床面積 ㎡	電 話
教育研究所	芳町2番8号	昭和40年度	北上地区合同庁舎内	79.20	—

(3) 学校給食センター

施設名	所在地	建設年度	給食数	所管学校数	所管学校	建物延床面積㎡	職員数(人)	電 話
中央学校給食センター	中野町一丁目8番54号	昭和51年度	2,889	11	黒西小、立花小、二子小、更木小、黒東小、黒岩小、口内小、照岡小、南小、鬼柳小、更木幼	746	18	65-4522
北部学校給食センター	流通センター16番40号	昭和61年度	3,392	7	黒北小、飯豊小、上野中、北上中、東陵中、飯豊中、北上北中	1,108	20	68-2207
西部学校給食センター	和賀町藤根6地割50番地	平成15年度	3,139	12	江釣子小、和賀西小、笠松小、いわさき小、和賀東小、南中、江釣子中、和賀西中、和賀東中、江釣子幼、横川目幼、藤根幼	1,804	5	73-8338
計			9,420	30				

(4) 生涯学習センター

施設名	所在地	建設年度	敷地面積 ㎡	建物延床面積 ㎡	電 話
生涯学習センター	大通り一丁目3番1号	平成13年度	北上開発ビル内	2216.85	61-3231

(5) 図書館

施設名	所在地	建設年度	敷地面積 m ²	建物延床面積 m ²	電話
中央図書館	本石町二丁目5番35号	平成 5 年度	3,935.34	2,651.16	63-3359
江釣子図書館	上江釣子17地割116番地	昭和56年度	江釣子地区交流センター	133.00	77-2215
和賀図書館	和賀町堅川目2地割18番地2	昭和40年度	和賀地区交流センター	160.00	72-2322

(6) 博物館

施設名	所在地	建設年度	敷地面積 m ²	建物延床面積 m ²	電話
博物館 (みちのく民俗村含む)	立花14地割59番地	昭和46年度	70,000.00	4,264.00	64-1756
利根山光人記念美術館	立花15地割153番地2	平成 8 年度	637.59	150.41	65-1808

(7) 鬼の館

施設名	所在地	建設年度	敷地面積 m ²	建物延床面積 m ²	電話
鬼の館	和賀町岩崎16地割131番地	平成 6 年度	18,073.00	1,789.06	73-8488

(8) 埋蔵文化財センター

施設名	所在地	建設年度	敷地面積 m ²	建物延床面積 m ²	電話
埋蔵文化財センター	立花14地割62番地2	昭和63年度	3,019.00	1,379.20	65-0098

(9) 補助執行施設

施設名	所在地	建設年度	敷地面積 m ²	建物延床面積 m ²	電話
樺山歴史の広場	稲瀬町大谷地	平成 6 年度	54,959.00	222.59	65-5897
日本現代詩歌文学館	本石町二丁目5番60号	平成元年度	2,000.00	2,563.00	65-1728
日本現代詩歌研究センター	本石町二丁目5番60号	平成13年度	1,608.24	1,930.98	65-1728
山口青邨宅・雑草園	本石町二丁目5番60号	平成 5 年度	506.00	133.00	65-1728
文化交流センターさくらホール	さくら通り二丁目1番1号	平成15年度	32,191.55	15,093.16	61-3300
保育園、児童公園等	別紙1のとおり				
生涯学習事業等の施設	別紙1のとおり				
体育施設	別紙2のとおり				

① 市立保育園

(平成24年5月1日現在)

園 名	所在地	建設年度	定員 (人)	在籍数 (人)	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	職員数 (人)	電話
大通り保育園	九年橋三丁目12番13号	昭和49年度	138	139	4,720.00	778.00	36	63-3038
若宮園(大通りの内数)	若宮町二丁目1番12号	平成15年度設置	18	15	562.14	103.49	5	64-4830
飯豊保育園	村崎野5地割6番地2	昭和53年度	90	97	2,930.00	601.99	18	68-2004
二子保育園	二子町鳥喰前49番地6	平成7年度	110	109	4,449.00	623.17	22	66-2532
口内保育園	口内町新町99番地1	昭和45年度	60	37	3,223.00	540.20	11	69-2015
南保育園	相去町東裏22	昭和61年度	70	68	2,145.00	483.99	14	67-4317
江釣子保育園	上江釣子17地割105番地1	昭和57年度	100	100	4,798.00	707.02	20	77-2855
鳩岡崎保育園	鳩岡崎3地割44番地17	昭和63年度	70	71	3,825.00	449.91	16	77-2412
横川目保育園	横川目36地割42番地5	昭和51年度	75	53	2,824.00	540.00	13	72-2107
計			713	674	29,476	4,828	150	

② 児童遊園等

名 称	所 在 地	敷地面積(㎡)
中央児童遊園	北上市青柳町二丁目163番21号	778.00
鍛冶町児童遊園	北上市鍛冶町二丁目58番1号	818.00
柳原児童遊園	北上市柳原町一丁目13番1号	487.35
村崎野児童遊園	北上市村崎野15地割272番地7	726.00
堤ヶ丘児童遊園	北上市藤沢21地割111番地	1,973.00
才の羽々児童遊園	北上市二子町才の羽々131番地1	1,782.00
野中児童遊園	北上市下江釣子11地割162番地	958.00
曾山児童遊園	北上市北鬼柳3地割71番地	5,256.00
横川目児童遊園	北上市和賀町横川目12地割168番地1	1,069.00
煤孫児童遊園	北上市和賀町煤孫9地割21番地	1,263.00
長沼児童遊園	北上市和賀町長沼2地割1番地1	1,500.00
仙人いこいの広場	北上市和賀町仙人7地割11番地2	1,322.00
岩沢コミュニティ広場	北上市岩沢8地割64番地27	3,431.69

③ ファミリーサポートセンター

(平成24年5月1日現在)

	おねがい会員	あずかり会員	両方会員	所 在 地
ファミリーサポートセンター	478人	94人	41人	北上市大通り一丁目3番1号 おでんせプラザぐろーぶ3階

④ 子育て支援センター

(平成24年5月1日現在)

名 称	所 在 地
大通り保育園地域子育て支援センター	北上市大通り一丁目3番1号 おでんせプラザぐろーぶ3階
江釣子保育園地域子育て支援センター	北上市上江釣子17地割138番地1

⑤ 生涯学習事業及び社会教育事業の施設

施設名	所 在 地	建設年度	敷地面積 ㎡	建物延床面積 ㎡	電 話
黒沢尻北地区交流センター	常盤台一丁目30番20号	平成7年度	2,650.00	693.29	65-1941
黒沢尻東地区交流センター	中野町一丁目5番46号	昭和63年度	2,756.38	634.54	64-7932
黒沢尻西地区交流センター	本石町一丁目6番20号	平成4年度	1,452.69	634.22	64-0931
立花地区交流センター	立花20地割57番地14	昭和56年度	1,353.42	451.31	65-1933
飯豊地区交流センター	村崎野12地割67番地6	平成15年度	4,018.02	716.49	68-2001
二子地区交流センター	二子町鳥喰49番地4	昭和60年度	2,938.00	474.24	66-2050
更木地区交流センター	更木12地割151番地1	昭和61年度	2,367.00	450.80	66-2569
黒岩地区交流センター	黒岩19地割36番地2	昭和57年度	1,818.73	426.20	64-7525
口内地区交流センター	口内町新町67番地	昭和54年度	2,637.00	495.00	69-2001
稲瀬地区交流センター	稲瀬町前田276番地	平成2年度	3,224.00	424.92	65-2441
相去地区交流センター	相去町小糠沢19番地	平成22年度	8,036.60	544.95	67-4355
鬼柳地区交流センター	鬼柳町都鳥49番地	昭和55年度	1,439.00	465.50	67-4310
江釣子地区交流センター	上江釣子17地割116番地	昭和55年度	10,031.32	1,985.59	77-2468
和賀地区交流センター	和賀町堅川目2地割18番地2	昭和40年度	6,578.50	1,055.57	72-2215
岩崎地区交流センター	和賀町岩崎18地割53番地8	平成19年度	2,518.59	648.40	73-6076
藤根地区交流センター	和賀町藤根14地割147番地3	平成12年度	2,207.00	554.74	73-5299

北 上 市 体 育 施 設 等

No.	施 設 名	所在地	建設年度	施 設 概 要	電 話
1	北上市民江釣子野球場	下江釣子2地割地内	平成2年度	野球1（照明6基）	77-4343
2	北上市民岩崎野球場	和賀町岩崎地内	昭和62年度	野球1（照明6基）	73-5403
3	和賀川グリーンパークテニスコート	上江釣子21地割地内	平成9年度	全天候型18面	090-1063-2318
4	北上市民展勝地プール	立花10地割地内	昭和46年度	50m8コース・幼児用	63-2658
5	北上市民滑田プール	滑田15地割57番地	昭和42年度	25m4コース・幼児兼用	—
6	北上市民柔剣道場	幸町1番30号	昭和44年度	柔道・剣道	63-5812
7	北上市民弓道場	幸町1番30号	昭和52年度	10人立	63-5812
8	北上勤労者体育センター	幸町1番30号	昭和52年度	バレー2・バスケ1・バド6	63-5812
9	北上市民黒沢尻体育館	本石町二丁目5番1号	昭和56年度	バレー2・バスケ2	65-0611
10	村崎野勤労者体育館	北工業団地1番7号	昭和58年度	バレー2・バスケ1	66-3304
11	北上市民成田スポーツ交流館	成田24地割23番地	平成4年度	バレー1・バスケ1、バド3	—
12	北上市民相去体育館	相去町小糠沢19番地	昭和59年度	バレー2・バスケ1・バド3	67-4355
13	北上総合体育館	相去町高前檀27番地36	平成9年度	大アリーナ・小アリーナ・トレーニング	67-6720
14	北上市民江釣子体育館	上江釣子17地割172番地	昭和50年度	バレー2・バスケ1・バド4	77-4004
15	江釣子勤労者体育センター	北鬼柳22地割52番地3	昭和56年度	バレー2・バスケ1・バド3	64-4994
16	北上市民和賀体育館	和賀町堅川目2地割18番地2	昭和40年度	バレー2・バスケ1・バド3	72-2215
17	北上市北部勤労者屋内運動場	北工業団地5番20号	平成13年度	全面人工芝・ゲート2・テニス1	66-6651
18	北上市多目的催事場	和賀町藤根17地割4番地1	平成3年度	ゲートボール4面	73-5964
19	北上市民藤沢広場	流通センター1番16号	平成2年度	ソフト4・野球2（照明6基）	—
20	北上第1運動場	相去町高前檀地内	平成9年度	投てき場・サッカー	67-6720
21	北上第2運動場	相去町高前檀地内	平成9年度	サッカー・ラグビー	67-6720
22	北上第3運動場	相去町高前檀地内	平成10年度	野球・サッカー（照明6基）	67-6720
23	北上市民野中ふれあい広場	下江釣子11地割地内	平成5年度	ソフト1（照明4基）	—
24	北上市民日平ふれあい広場	滑田1地割地内	平成5年度	ソフト1	—
25	北上市民やまつみれふれあい広場	鳩岡崎2地割地内	平成5年度	ソフト1（照明4基）	—
26	北上市民江釣子運動場（野球場）	下江釣子5地割地内	昭和43年度	野球2	—
27	北上市民堅川目運動場	和賀町横川目37地割46番地	昭和57年度	野球2（照明4基）ソフト4	—
28	北上陸上競技場	相去町高前檀地内	平成9年度	全天候9レーン・室内走路	67-6723
29	北上陸上補助競技場	相去町高前檀地内	平成9年度	全天候8レーン（照明4基）	—
30	北上市民岩崎競技場	和賀町岩崎18地割地内	昭和61年度	多目的運動場	73-5403

平成 24 年度教育行政施策の基本方針

多くの尊い命が失われ、まちが一瞬にして変わり果てた東日本大震災から 1 年、原発事故による放射能汚染も深刻な問題となっており、被災地のみならず日本社会全体が受けた痛手はあまりにも大きく、復興への道は長く険しいものとなっています。

学校施設などの本市教育施設の災害復旧は順調に進んでいるものの、被害が大きかった本県沿岸被災地などの早期復興のためには、あらゆる領域で支援が求められており、教育分野においても市の支援プロジェクトと一体となって物心両面にわたり被災地や被災者への支援を継続していく必要があります。

本市教育をめぐるのは、グローバル化、高度情報化の進展、少子高齢化、雇用環境の低迷などの社会情勢の変化が地域社会、市民生活に大きな影響を及ぼす中、児童生徒の減少や家庭の教育力の低下、地域における連帯感の希薄化など、その環境が大きく変化しています。また、子どもたちの基本的な生活習慣や、学力・体力、学校不適応など様々な教育課題があります。このような社会の変化や課題に対応し、北上市の未来を担う人づくりのためには、行政と家庭、地域、学校が互いに役割を果たしながら、新しい時代に対応した教育の推進に取り組む必要があります。

教育の目的は人を育てることであり、一人ひとりの能力を伸ばし生涯にわたり自己実現を目指すとともに、互いに支え合う社会の形成者としての人材を育成することです。東日本大震災という未曾有の災害を通し、改めて「生きる力」が大切であることを認識するとともに、逆境に立ち向かい自らの力で未来を切り拓いていく人材を育てることこそ教育の大きな使命であると考えます。

本年度においても、教育振興基本計画に基づき「郷土を愛し未来を拓きいのち輝く人づくり」を基本目標とし、生涯にわたり一人ひとりの命が尊重され、生き生きと輝く地域社会の形成を目指した教育行政を推進します。

【北上市教育振興基本計画】

基本目標 郷土を愛し 未来を拓き いのち輝く 人づくり

基本方針 1 社会全体で子どもの健やかな成長を支える環境をつくります
2 一人ひとりの可能性を伸ばし夢と希望をはぐくむ学校をつくります
3 共に学び、互いに高め合い、心の豊かさと人と人とのつながりが広がる地域をつくります

基本方向 1 家庭や子育てを社会全体で支えていく環境づくり
2 生きる力や豊かな人間性をはぐくむ学校教育の推進
3 いきいきと楽しく学ぶ環境づくり
4 豊かなスポーツライフの実現とスポーツ環境の整備充実
5 地域の芸術文化の再発見と振興

第1 家庭や子育てを社会全体で支えていく環境づくり

1 子育てと仕事が両立できる環境の充実

国の「子ども・子育て新システム」の動向を見極めながら、幼保一体化など、総合的な子育て支援の在り方を検討するとともに、多様化する保育ニーズに対応するため、病後児保育の再開や特別保育などサービスの拡充を図ります。増加する保育所入所希望者に対応し、老朽化している黒沢尻保育園の改築事業費に対する助成に併せて定員を増加し、待機児童の解消に努めます。

また、新たに開所するときわだい保育園における一時保育事業の実施に伴い、おにやなぎ保育園での一時保育事業を休止しますが、これにより生じる保育室に、待機児童が多く発生している1歳児を受け入れていきます。

放課後児童の健全育成を図るため、委託料の基準額の増額及び運営費補助金交付により各学童保育所が適切に運営できるよう支援します。

2 子育て家庭への支援

安心して子育てができるよう、更なる保育所保育料軽減の実施と私立幼稚園就園奨励費補助金の充実を図り、子育てにかかる保護者の経済的負担の軽減を図ります。

また、援助が必要なひとり親家庭などの生活の安定と自立のため、経済的支援等を行い、児童の健全な育成に努めます。

3 地域における子育て支援の推進

育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人をコーディネートするファミリーサポートセンターにおいては、幼稚園・保育所・学童保育所に通う児童の送迎と預かり、保護者の通院・冠婚葬祭・行事等による預かりなど育児援助の利用促進と、産褥婦や乳児の介助者がいない家庭に家事育児支援を行う産褥期サポート事業により援助体制の充実に努めます。

子育て中の親の不安や負担を軽減するため、新たに開設するときわだい保育園においても地域子育て支援センターを設置し（3園→1園増の4園）、あそびの広場、園庭開放、育児講座、子育てサークル支援、地区交流センター等への出前支援センターなど、気軽に子育ての相談や交流、情報提供ができる場づくりに努めます。

一時保育事業の利用条件を緩和し、これまでの保護者のパート就労や疾病、冠婚葬祭等により一時的に家庭での保育が困難になる場合のほか、保護者のリフレッシュのための利用も可能とし、育児に伴う保護者の身体的、心理的負担解消に努めます。

また、預かり保育、延長保育及び障がい児保育など多様化する保育ニーズに対応するため、私立幼稚園及び私立保育所に対し事業費補助や運営費補助を行い、適正で安定的な運営を支援します。

4 子どもの健やかな成長をはぐくむ環境の整備

幼児教育振興プログラムガイドラインに基づきモデル地区を指定するとともに、幼児教育推進員が幼稚園、保育所、小学校を訪問しながら、幼保小連携などについてアドバイスを行い、小学校への円滑な接続に努めます。

市立保育所の施設整備については、保育環境の改善と施設の長寿命化を図るため、大通り保育園の大規模改修事業（実施設計）に着手します。

また、市立幼稚園の統合民営化や、市立保育所民営化計画の策定については、国の「子ども・子育て新システム」の動向を踏まえ、幼保一体化も含め、総合的な子育て支援の在り方を検討します。

5 保護を要する児童などへのきめ細やかな取り組みの推進

関係機関と連携し、児童虐待の未然防止、早期発見及び早期対応に努めるとともに、相談・対応の機能を強化します。

障がい児の健全な発達を支援するため、保健、医療、保育、教育などの関係機関が連携し、就学前から成人までより適切な一貫した支援が継続して行われるよう、個々の児童の相談支援ファイルを引き続き作成するなど適正な対応に努めます。また、幼稚園や保育所への巡回指導を行い、障がい児の受入れ態勢の整備を図ります。

第2 生きる力や豊かな人間性をはぐくむ学校教育の推進

1 学校生活を通して、知・徳・体をはぐくむ

知育については、学力調査を定期的実施することにより、児童生徒の学習定着状況を把握しながら、T T（チーム・ティーチング）や少人数指導などの教科における指導方法の工夫改善を図り、授業実践を通して学力向上に取り組めます。また、小中学校の連携により学習指導の連続性を確保し、学習意欲の向上と学習習慣の確立を図るとともに、平成24年度の小中学校学習指導要領完全実施に対応し、児童生徒が学習内容を無理なく定着できる教育課程の編成に努めます。

早期から異国の文化に触れ、外国語を学ぶ機会を拡充するため、幼稚園や保育所、小中学校に外国語指導助手を派遣し国際理解教育を推進します。また、長期休業等を活用し、外国語指導助手による英語教室等を開催し、中学生の英会話力向上を図ります。

徳育については、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育てるため、人権の尊重や協調性を基本とした道徳教育、人間的なふれ合いや信頼性に基づいた生徒指導、職場体験学習などにより主体的な生き方を促すキャリア教育を推進します。また、児童生徒に、夢や目標に向かって生きて行くことの大切さを理解させる志教育については、平成23年度に教育研究所キャリア教育部会が各校を対象に行った「志を育てる指導の在り方」を中心としたキャリア教育の現状調査を基に、各校が学校教育全体を通して行

うキャリア教育の中に志を育てる指導を取り入れられるよう支援して参ります。

パソコンや携帯電話の普及に伴い、ネットワークを利用する際のルールやマナー、情報の真偽の見分け方などを発達段階に応じて継続的に指導していきます。

体育については、児童生徒の基礎的な体力や運動能力の向上を図るため、体力づくりを推進するとともに、スポーツ活動の活性化と競技力の向上を目指します。

また、健康と栄養摂取の大切さや食に関する知識を習得させるため、学校と家庭が連携して北上市食育推進計画に基づいた指導を行うなど望ましい食習慣の形成に向けて取り組んでいきます。

小規模校の学校運営における課題があるところについては、近隣の学校に移動して学習・行事を一緒に行う集合学習を引き続き実施します。

また、東日本大震災に鑑み、災害から身を守るためには、災害の教訓に学び、各種災害の性格とその危険性を知り、災害時にとるべき行動を知識として身につけ、平時における備えを万全とするよう防災教育を推進するとともに、沿岸被災地各校への支援活動を引き続き推進します。

2 児童生徒への就学支援

特に配慮を必要とする児童生徒への支援については、一人ひとりに必要な支援は何かという立場から教育を考え、障がいを持つ人が差別を受けることなく、障がいのない人と共に生活し、共に学ぶインクルーシブ教育推進のため、北上市教育研究発表会等教職員が一同に会する機会を捉えてすべての教職員を対象とした研修会を実施し、指導方法の向上を図るとともに、保護者や児童生徒にも、支援が必要な児童生徒に対する正しい知識や理解を促していきます。個々の児童生徒への支援は、引き続き個別支援員派遣事業を実施し、各校のニーズに合った支援を推進します。

また、障がいのある児童生徒の就学については、就学審議委員会により個々の児童生徒の就学審議を慎重に行い適正な就学指導を進めるとともに、特に配慮が必要な児童生徒には個別指導支援員を配置し、特別支援教育を推進します。

学校不適応となっている児童生徒への就学支援については、学校生活サポーター事業と連携し、児童生徒がいじめなどの悩みについて相談しやすい環境づくりを推進します。また教育相談員の配置や適応指導教室を引き続き設けることにより、学校適応支援を図ります。

教員の多忙化解消を図るため、引き続き各校に職員を派遣する学校教員支援員事業（国の緊急雇用対策事業の導入）を実施します。派遣された職員は、特に支援を必要とする児童生徒への支援を行う等により、教員の業務を助け、児童生徒と接する時間を増やすよう努めます。

経済的に就学が困難な児童生徒に対しては、学用品や医療費、クラブ活動費や生徒会費等を援助します。また遠距離通学の児童生徒に対しては、バス路線廃止に伴う通

学手段の確保をし、スクールバスの運行や定期券の交付等を行います。

経済的な理由により大学などへの就学が困難な学生を支援するため、奨学金を貸与するとともに、私立学校の適正な運営と保護者の経済的負担の軽減を図るための支援を行い私学振興を図ります。

3 学校、家庭、地域との連携による教育の充実

開かれた学校教育の推進については、保護者や地域住民などの意向を把握、反映し、その協力を得ながら一体となって教育活動を進める「いわて型コミュニティスクール（明確な目標を掲げ、家庭・地域と協働する開放的で個性的な学校づくり）」を推進します。特に、学校評議員制度を活用するとともに、学校関係者評価（保護者や地域住民による評価）を積極的に推進し、学校評価の確立に取り組みます。

また、安全で快適な環境づくりや学校図書館の活性化を図るため、スクールガードや図書ボランティアなどのスクールサポートを奨励し、活動を支援します。

平成 23 年度から小学校高学年における外国語活動が必修化されたこと等から、その指導やいろいろな教科での学習活動の支援者として、退職教職員等による学校ボランティアを積極的に取り入れ、地域における人材活用を図り、学校と地域の連携した教育を推進します。

豊かな自然や恵まれた環境、伝統文化など、本市の特色を生かした教育を推進し、地域を知り、地域に誇りを持つ心を育てます。

また、体験学習やスポーツ、伝統芸能の伝承活動など、地域指導者との協働による教育活動を推進します。

ものづくり産業との連携など本市の特性を生かし、職場を訪問してのものづくり体験など、児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進します。

4 小中学校における教育環境の整備

将来にわたり、子どもたちにとってより良い教育環境を確保し学校教育の充実を図るため、小中学校適正配置等基本計画(案)に基づいて、学校の在り方について地域と協議を進めながら小中学校の適正規模化・適正配置に引き続き取り組みます。

施設整備については、学級数増加などに対応するため上野中学校校舎増築工事を行います。

教育用備品などの整備については、学習指導要領に沿った指導を行うため、教材備品や学校図書館図書の整備を進めます。また学校の I C T 化に対応するため、教育用パソコンや教育ソフトなどの整備を進めます。

パソコンや電子黒板を使った指導を行う教員のスキルアップのため、教員研修の機会を増やし、内容も実践的なものにしていきます。

学校給食の充実については、安全で安心な給食の提供を第一とし、アスパラや里芋

など地場産食材の利用拡充を図るとともに、地域の食文化や食材の生産、流通、消費などについて、子どもたちが理解を深める取り組みをします。

また、課題となっている中央学校給食センターの建設については、建設場所の調査や民間活力を取り入れた整備手法などの検討を進めます。

第3 いきいきと共に楽しく学ぶ環境づくり

1 生涯を通じた学習機会の充実

市民が気軽に生活の中に学習を取り入れることができるよう、講座、指導者、施設等の情報収集を行い、県や関係機関と連携して広報やホームページなどで広く情報提供します。

グループや企業・団体等の自主的な生涯学習を促進するため生涯学習まちづくり出前講座を引き続き実施し、食育や子育て支援などのテーマについて複数の機関が連携して、より広い視点から学ぶことができるメニューを開発していきます。

環境、国際、医療、経済などの現代的課題について理解を深める機会として、市民で構成する運営委員会が企画段階から参画する北上市民大学及び専門的分野を体系的に学習するため、北上市民大学大学院を引き続き開講します。また、経済などの現代の課題に特化した最新の研究成果などについて学ぶ場として、富士大学北上市民セミナーを開催します。

「遊・YOU学園祭」は、生涯学習センターを拠点に活動するサークルや団体、NPO法人等と連携し、絵画などの展示をはじめ、工作などの体験コーナーやミニステージ発表など、日頃の活動の紹介や相互の交流の場として開催します。

市民のニーズを的確にとらえ、最も身近な場所で乳幼児学級、少年少女学級、成人学級、高齢者学級など年代に応じた様々な学習機会が提供されるよう、地域の拠点である交流センターで各種講座を展開します。生涯学習センターでは、生涯学習に係る各種情報を交流センターや自治公民館に提供するとともに、交流センター生涯学習指導員研修会を開催するなど、連携して生涯学習の推進に努めます。

2 家庭や地域などが連携した社会教育の推進

社会教育の観点から家庭や地域、学校教育との更なる連携を図り、各学校の「まなびフェスト」と連動して家庭学習の充実や読書活動の推進を図るための教育振興運動推進体制の整備に向けた検討を進めます。

また、身につけさせたい生活習慣として定めた「北上っ子5つのやくそく」の定着を図るため、学校や家庭と連携した実践活動を推進します。

放課後子ども教室については、放課後等の安全で安心な居場所を確保するため、引き続き、交流センターや学童保育所と連携して4小学校区で実施するとともに、平成25年度以降の在り方について学校及び地域との協議を進めます。

子どもたちが市内各地域の年中行事に参加してその言い伝えを聞いたり、郷土料理を作って食べることで食文化を学ぶなど、これまで培われてきた知恵や経験を受け継ぎ、伝えていくための世代間交流を推進します。

ものづくりや野外活動など様々な分野の体験学習を通じて次代を担う人材を育てるジュニアリーダー養成事業を、産学官の協働の下に継続します。

3 社会教育施設の適切な管理と運営

図書館については、多様化する市民各層の要望に応えるため、幅広く資料の収集に努めるとともに、「図書館収蔵資料展」や旬の話題に関連する「ミニテーマ展」など魅力ある事業を展開し、図書館の利用促進を図ります。

また、子どもの読書を推進するため、絵本や児童書を重点に整備するとともに、小学生を対象とした「一日図書館司書」、「図書館探検隊」など体験型事業に取り組み、読書への関心と理解を深める機会の提供に努めます。

博物館については、調査研究活動を充実するとともに、自然や歴史、民俗に関する企画展などを開催して、郷土の文化を学ぶ機会の提供に努めます。

みちのく民俗村については、適切な管理と保存に努めるとともに、市民参加型の魅力ある事業を企画し、利用促進を図ります。また施設の効率的な運営と活性化を図るため、今後の管理運営方法を引き続き検討していきます。

鬼の館については、市民が気軽に来館し、楽しみ遊びながら「見る・触る・学ぶ・知る・創る」ことができる鬼のテーマ博物館としての魅力を高めます。各種講座、企画展の充実を図るとともに、鬼剣舞公演や、大乘神楽大会公演等の鬼に関係する民俗芸能の保存伝承のために、後継者育成活動などを積極的に支援して参ります。

また、民間ボランティア組織等により、館内外の活用を幅広く図り、鬼グッズの販売やくつろぎの場の提供など各種企画への参画による魅力ある事業を展開し、来館者へのサービスの向上と、より賑わいのある館づくりに努めます。

第4 豊かなスポーツライフの実現とスポーツ環境の整備充実

1 誰もが気軽に親しめるスポーツの振興

北上市体育協会や各種団体と連携し、キッズスポーツ大好き教室や高齢者筋力向上トレーニング教室等を開催することで、子どもから高齢者まで幅広い年代の、体力の保持・増進を図ります。

雪国である本市の特性を生かしたスキー・スノーボード教室や雪合戦大会などを開催するほか小学校で行うスキー教室への助成を行いウィンタースポーツに親しむ機会を増やします。

総合型地域スポーツクラブの重要性が高まっている中、文部科学省が進めるスポーツ立国戦略事業への取り組みや各クラブ運営事業に対して支援します。

スポーツ推進委員の指導方法等のレベルアップを図るため実技研修会を実施するほか、市及び地区事業への協力や学校教育への講師派遣など地域スポーツのコーディネーターとして更に積極的な活動を図ります。

高齢者でも身近な場所で手軽にできるスカットボールやスロービーなどのニュースポーツを普及します。

2 ステップアップを目指した競技スポーツの推進

第71回国民体育大会総合開会式、陸上競技、ソフトテニス、バドミントン、新体操の開催準備を進めるため、市準備委員会を設立するとともに、市体育協会が設置した北上市スポーツ選手強化本部において行う選手強化事業に対し支援をします。

東北規模以上の大会招致や大学生スポーツ合宿への助成制度を設け誘致に努め、市民にスポーツを観る楽しさと感動の機会を提供するとともに、市民や競技関係者がトッププレイヤーの高い技術を観戦することにより競技力の向上を図ります。

3 スポーツ環境の整備と充実

第71回国民体育大会の会場となる北上陸上補助競技場の公認更新や和賀川グリーパーク駐車場などの整備を行います。また、体育施設を管理している指定管理者と連携を密にし良好な維持管理に努めます。

いわて北上マラソン大会のコースを見直し、制限時間の緩和、交通渋滞の解消等を図り参加者の大幅な増加を目指します。

市や市体育協会のホームページなどを十分活用して、市内で行われるスポーツ大会、教室等の開催情報や市民体育大会競技別結果、総合得点獲得状況等を広く市民に提供します。

第5 地域の芸術文化の再発見と振興

1 芸術文化活動の推進

戦後、日本現代美術界をリードした国際的な画家、利根山光人の功績を讃え、新たな現代芸術を発信するための第5回となる絵画の全国公募展、利根山光人記念大賞展「トリエンナーレ・きたかみ」を開催するとともに、郷土の先人画家の作品を鑑賞する機会として利根山光人記念美術館で企画展を開催します。

詩、短歌、俳句の最も優れた作品集を顕彰し、詩歌文学の振興を図っていくため詩歌文学館賞贈賞式を開催するとともに、第16回となるサトウハチロー記念「おかあさんの詩」全国コンクールについては、詩を通じた心の教育を推進するため、青少年を対象としたコンクールに一新して開催します。

また、さくらホールを拠点にした情報発信や各種の芸術文化を鑑賞できる機会を提供するとともに、市民が主体的に活動成果を発表する機会の提供、支援を行うな

ど、芸術文化のまちづくりを推進します。

2 歴史、文化遺産の保存と活用

市内には 160 件余の指定文化財がありますが、市が所有する重要文化財や史跡等の適切な管理に努めます。また個人所有の文化財については、盗難や焼失防止の啓発、保存管理の指導・助言を行うなど、適切な管理と指導・活用を図っていきます。

未指定文化財については、悉皆調査を推進し、その所在や保存状況を把握するとともに価値ある文化財の保存に努めていきます。特に、急激な社会環境の変化や価値観の多様化により、これまで伝承されてきた無形の習俗や儀礼・年中行事等が消滅しつつあるため、戦前・戦中世代から聞き取り調査を行い、記録保存していきます。

民俗芸能の保存伝承のため、各種民俗芸能団体との連携を深め、発表機会の拡充や芸能用具等の整備支援、伝統文化に親しむ機会の充実に努めます。また民俗芸能のさらなる振興を図るため、北上市民俗芸能団体連合会の活動を継続して支援していきます。

開発等により消滅する恐れのある遺跡については、事前に計画との調整を図るとともに、緊急発掘調査を行います。

平泉が世界文化遺産に登録されたことに伴い、歴史的に関連のある国指定史跡「国見山廃寺跡」が注目されており、平泉以前の仏教文化が栄えた国見山廃寺跡について、継続して学術調査を行い北上の歴史解明に努めていきます。国指定史跡江釣子古墳群については、保存地域の公有化を進めます。

平成 22 年度末で廃止した江釣子民俗資料館施設については、増加する文化財資料の収蔵庫として活用していきます。また発掘調査成果を市民に還元するため、埋蔵文化財展や報告会の開催、出前講座等の機会を通じて、情報発信していきます。

第6 放射線対策

1 小中学校、幼稚園、保育所における放射線対策

福島第一原子力発電所事故に伴う放射線対策について、教育委員会では子どもたちの健康に関わる重大な事案であり、喫緊の課題と捉え、まず子どもたちの前に立つ教職員等が放射線や放射能を正しく理解することが急務であると考え、昨年 10 月に市内の教職員等を一同に集め研修会を開催しました。この研修会を通して、小中学校、幼稚園、保育所の教職員等は、学校等において、子どもたちに留意して指導していかなければならないことや、保護者から放射線等の安全性を問われた時の対応の仕方について研修を深めました。また、国や県でも放射線の副読本等を作成し指導の充実に図っています。今後は、これらを有効に活用し、放射線から子どもたちを守る活動を推進していきます。

また、校地内、園地内の放射線量の測定については、関係部署と連携し定期的に測定を行うとともにホームページ等で公表していきます。県が示した土壌の除染基準を超える場合は、基準を超えた付近への立ち入り禁止及び速やかな除染作業を行う等適切な対応をしていきます。

2 給食における放射線対策

保育所も含めた給食の放射能汚染への対応については、給食に使用した主な食材の産地を公表するとともに、市独自で核種別の測定が可能な放射線測定機を3台導入し、調理前の主な食材と調理後の給食を測定して、その結果を公表することにより、子どもたちや保護者の不安解消に努めます。

平成24年度一般会計予算(抜すい)

1 一般会計予算（当初）の概要

歳入

(単位:千円、%、円)

区分	科 目	予算額	構成比	人口一人当たり額
1	市税	12,613,068	37.0	135,120
2	地方譲与税	638,000	1.9	6,835
3	利子割交付金	22,000	0.1	236
4	配当割交付金	6,000	0.0	64
5	株式等譲渡所得割交付金	2,000	0.0	21
6	地方消費税交付金	960,000	2.8	10,284
7	ゴルフ場利用税交付金	8,000	0.0	86
8	自動車取得税交付金	90,000	0.3	964
9	地方特例交付金	50,000	0.1	536
10	地方交付税	6,761,878	19.8	72,438
11	交通安全対策特別交付金	18,000	0.1	193
12	分担金及び負担金	425,856	1.2	4,562
13	使用料及び手数料	788,253	2.3	8,444
14	国庫支出金	3,877,662	11.4	41,540
15	県支出金	3,495,311	10.2	37,444
16	財産収入	44,824	0.1	480
17	寄附金	1,787	0.0	19
18	繰入金	231,709	0.7	2,482
19	繰越金	200,000	0.6	2,143
20	諸収入	857,452	2.5	9,186
21	市債	3,024,200	8.9	32,397
合 計		34,116,000	100.0	365,475

(平成24年3月31日現在北上市人口 93,347人)

歳出

区分	科 目	予算額	構成比	人口一人当たり額
1	議会費	284,497	0.8	3,048
2	総務費	3,266,433	9.6	34,992
3	民生費	10,746,838	31.4	115,128
4	衛生費	2,440,171	7.2	26,141
5	労働費	155,244	0.5	1,663
6	農林水産業費	1,393,885	4.1	14,932
7	商工費	2,066,385	6.1	22,137
8	土木費	3,635,324	10.7	38,944
9	消防費	1,244,306	3.6	13,330
10	教育費	3,673,622	10.8	39,354
11	災害復旧費	10,257	0.0	110
12	公債費	5,140,178	15.0	55,065
13	諸支出金	18,860	0.1	202
14	予備費	40,000	0.1	429
合 計		34,116,000	100.0	365,475

2 教育費予算（当初）の内訳

（単位：千円）

項	目	本年度予算額	前年度予算額	比 較
総務費		320,080	312,194	7,886
	教育委員会費	4,120	4,127	△ 7
	事務局費	248,840	243,798	5,042
	奨学事業費	46,224	45,390	834
	教育研究所費	20,896	18,879	2,017
小学校費		540,309	529,952	10,357
	学校管理費	393,722	363,628	30,094
	教育振興費	116,537	141,757	△ 25,220
	学校建設費	30,050	24,567	5,483
中学校費		389,078	299,407	89,671
	学校管理費	198,974	196,648	2,326
	教育振興費	80,979	86,787	△ 5,808
	学校建設費	109,125	15,972	93,153
幼稚園費		300,037	278,598	21,439
	幼稚園費	300,037	278,598	21,439
社会教育費		1,081,271	1,080,075	1,196
	社会教育総務費	516,841	510,576	6,265
	文化財保護費	22,660	13,320	9,340
	図書館費	129,955	122,457	7,498
	博物館費	74,529	88,793	△ 14,264
	生涯学習センター費	102,983	112,580	△ 9,597
	日本現代詩歌文学館費	122,655	126,121	△ 3,466
	埋蔵文化財センター費	68,695	68,709	△ 14
	鬼の館費	42,953	37,519	5,434
保健体育費		1,042,847	788,557	254,290
	保健体育総務費	86,204	127,998	△ 41,794
	体育施設費	195,346	117,747	77,599
	学校給食費	391,636	393,928	△ 2,292
	北上総合運動公園体育施設費	369,661	148,884	220,777
	合 計	3,673,622	3,288,783	384,839

3 民生費（子育て支援課分）予算（当初）の内訳

（単位：千円）

項	目	本年度予算額	前年度予算額	比 較
社会福祉費		18,390	18,462	△ 72
	社会福祉総務費	18,390	18,462	△ 72
児童福祉費		4,350,378	4,632,146	△ 281,768
	児童福祉総務費	573,174	512,955	60,219
	児童措置費	3,032,173	3,359,029	△ 326,856
	保育所費	745,031	760,162	△ 15,131
	合 計	4,368,768	4,650,608	△ 281,840

平成24年度の教育委員会主要事業

主要事業	事業概要	所管課
私学振興助成事業	私学の振興を図るため私立学校の運営費に対し補助 生徒1人当たり 2,000円 1クラス当たり50,000円 私立高校…………… 1校（専大北上高校） 専門学校…………… 1校（北上福祉教育） 3,286千円	総務課
奨学資金貸付事業	貸付状況 高校生 月額10,000円 継続 3人 新規 3人 大学生等 月額30,000円 継続 79人 新規 20人 36,360千円	
小中学校管理事業	施設維持補修（小破修理） 小学校17校 13,230千円 中学校9校 8,943千円	
小中学校整備改修事業	施設整備改修 小学校17校 27,950千円 中学校9校 18,150千円 上野中学校校舎増築工事 89,575千円	
幼稚園維持補修事業	市立幼稚園施設の修繕 幼稚園5園 1,354千円	
幼稚園整備改修事業	施設整備改修 幼稚園5園 1,500千円	
保育所維持補修事業	市立保育所施設の修繕 保育園8園 2,544千円	
保育所整備改修事業	施設整備改修 保育園8園 1,200千円 大通り保育園大規模改修工事（設計業務）4,400千円	

主要事業	事業概要	所管課
外国人語学指導助手招致事業	外国語教育を通して国際理解を深めるとともに英語教育充実のため指導員3人を任用し、小中学校、幼稚園で指導 中学校 英会話 小学校 ゲーム・歌等の国際理解 幼稚園 ゲーム・歌 13,153千円	学校教育課
個別指導支援員設置事業	特に配慮が必要な児童生徒に対し、学校生活の介助・支援を行うため、個別指導支援員を配置 20,698千円	
教育相談・教育研究事業	・生徒の問題行動、不登校指導等教育相談の充実を図るため教育相談員を配置（問題行動1人、適応指導1人、ことばの教室3人） ・学習指導要領に基づく各教科等についての効果的な指導方法等の調査研究 教育研究発表の開催 教育研究委託 標準学力検査電算処理 19,684千円	
学力ステップアップ事業	拠点校の中学校と小学校が連携し、特定科目（算数・数学）の学力向上のための配置 非常勤職員2名任用 1,212千円	
地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業	スクールガードの養成講習会の開催 スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導 990千円	
遠距離通学支援事業	スクールバス等運行委託、バス定期券購入等 小学校 36,833千円 スクールバス 5校 約200人 通学自動車 4校 約50人 通学定期等 5校 約170人 中学校 18,863千円 スクールバス 2校 約60人 通学自動車 1校 約40人 通学定期等 4校 約30人	
学校保健事業	学校医、学校薬剤師の設置 児童生徒の検診 尿検査、心臓検診、脊柱側弯症検診、蟯虫卵検査 貧血検査 スポーツ振興センター負担金 小学校 24,653千円 中学校 15,197千円	

主要事業	事業概要	所管課
病後児保育事業	病気の回復期にある保育所児童を、病院に付設されたスペースで一時的に預かる実施施設への補助 事業実施委託 10,275千円 (平成21年度から休止中。事業再開に向けて関係機関と協議を進める)	子育て支援課
ファミリーサポートセンター事業	会員登録した育児の援助を行いたい者と、育児の援助を受けたい者の相互援助活動の調整 4,187千円	
放課後児童健全育成事業	日中保護者がいない放課後児童に、遊びを通して健全な育成活動を行っている放課後児童クラブ(学童保育所)への事業委託 120,048千円	
地域子育て支援事業	地域全体で子育てを支援する基盤を形成するための子育て家庭に対する育児支援 公立保育園での実施 2園 15,800千円 私立保育園に事業委託 2園 14,000千円	
母親クラブ活動助成事業	児童の健全な育成を図るため、地域に組織されている母親クラブの活動への補助 15クラブ 1,815千円	
保育所保育実施委託事業	私立保育園に、入所人数に応じて、国が規定する保育所運営単価に基づいた保育委託料を支弁 私立保育園 10園 827,985千円	
保育活動支援事業	就学前教育、保育活動に対する助言、幼稚園と保育園の連携を図りながら児童の小学校への円滑な接続を図るため、幼児教育推進員を配置 1,682千円	
黒沢尻保育園整備事業費補助金	待機児童の解消と子育て支援の充実を図るための黒沢尻保育園改築経費に対して補助 180,933千円	
母子家庭高等技能訓練促進事業	母子家庭の母が就業に結びつきやすい指定された資格を取得するため2年以上の養成機関に入学した場合、その期間中の生活費等生活不安の解消と、安定した修業環境を提供するため、促進給付金を支給 16,274千円	

主要事業	事業概要	所管課
母子家庭自立支援教育訓練給付事業	母子家庭の母が適職に就くため、指定する講座を受講した場合、受講料の一部を支給 自立支援教育訓練給付金 84千円	子育て支援課
婦人相談員設置事業	要保護女子及びその家庭の抱えている問題の相談業務の充実を図るため婦人相談員を配置 2,032千円	
家庭児童相談室設置事業	家庭児童福祉に関する相談及び指導業務を充実強化し、家庭における適正な児童の教育とその福祉の向上を図るため家庭児童相談室を設置し、家庭児童相談員を配置 4,015千円	
子ども・児童手当給付事業	次代の社会を担う子どもの育ちを支援するため、中学校修了前までの子どもについて、子ども・児童手当を支給 1,721,445千円	
児童扶養手当給付事業	父親又は母親のいない児童の家庭又は実質的に父親又は母親が不在の状態にある児童の家庭に対し、その生活の安定と自立の促進を図ることを目的として支給 443,873千円	
自治公民館活動助成事業	自治公民館活動交付金 253 館 13,558 千円	生涯学習文化課
社会教育推進事業	青少年の健全育成と家庭・地域の教育力向上を目指した事業の展開 成人式開催事業 808 千円 子どもの読書活動推進事業 81 千円 放課後子ども教室推進事業（国庫委託事業） （黒沢尻西小、飯豊小、黒岩小学区） 1,400 千円	

主要事業	事業概要	所管課
地区交流センター 生涯学習事業	地区交流センターにおける社会教育・生涯学習事業の 実施委託（指定管理者：16 地区自治組織） 各種生涯学習事業費、生涯学習指導員人件費 62,822 千円 バス借上補助 3,734 千円	生涯学習文化課
社会教育団体育成 事業	社会教育団体に対する助成 北上市地域婦人団体協議会 583 千円 北上ユネスコ協会 40 千円 北上市PTA連合会 30 千円 北上市少年少女発明クラブ 144 千円 北上平和記念展示館 434 千円	
自治公民館整備助 成事業	自治公民館整備費補助 新築、増改築、修繕、下水道整備工事 5,000 千円	
芸術文化振興事業	北上地区高等学校合同作品展開催事業 134 千円 北上市芸術文化協会活動費補助 280 千円 北上市民芸術祭開催費補助 7,000 千円 「おかあさんの詩」全国コンクール開催費補助 3,000 千円 青少年鑑賞事業補助 1,800 千円 イベント等共催事業 400 千円 北上市民劇場開催費補助 1,700 千円 利根山光人記念美術館管理事業 3,536 千円 利根山光人記念美術館企画事業 200 千円 芸術文化功労顕彰事業 148 千円 芸術文化振興事業 246 千円 さくらホール管理運営実施委託 196,606 千円 （指定管理者：（財）北上市文化創造） さくらホール施設整備事業 9,373 千円 （財）北上市文化創造運営補助 63,450 千円 トリエンナーレ・きたかみ開催費補助 5,000 千円	
日本現代詩歌文学 館管理事業	管理運営の実施委託 116,868 千円 （指定管理者：日本現代詩歌文学館運営協会） 日本現代詩歌文学館振興会運営費補助 4,750 千円	
日本現代詩歌文学 館施設整備改修事 業	研究センター空調室外機修繕ほか 991 千円	

主要事業	事業概要	所管課
生涯学習推進事業	市民の生涯学習を推進するための事業実施及び学習情報の提供 ・生涯学習センターホームページ 112 千円 ・電子版生涯学習ガイドブック 56 千円	生涯学習文化課
生涯学習講座等開催事業	市民に生涯学習の機会を提供するため各種講座等を開催 ・北上市民大学、市民交流講座、富士大学市民セミナー 620 千円 ・まちづくり出前講座 293 千円	
生涯学習センター管理事業	生涯学習の拠点としてのセンター管理 101,902 千円	
指定文化財・史跡等保存管理事業	国指定重要文化財伊澤家住宅の管理と公開 1,518千円 樺山歴史の広場の管理と公開 4,500千円 国・県指定史跡等の草刈り、樹木の伐採処理 江釣子古墳群など9遺跡 2,343千円	文化財課
史跡江釣子古墳群等購入事業	史跡の保存と活用を図るための国指定史跡江釣子古墳群八幡支群内の土地購入 購入予定面積 約829㎡ 10,370千円	
民俗芸能保存育成事業	民俗芸能団体連合会運営費補助金 192千円 民俗芸能保存育成等補助金（5団体） 579千円	
文化財悉皆調査記録保存事業	地域に伝承されてきた年中行事の聞き取り調査と関連資料の調査 150千円	
遺跡発掘調査事業	試掘調査 緊急発掘調査 （個人住宅建設等に伴う発掘調査・公共事業に伴う発掘調査・民間開発に伴う発掘調査） 18,326千円 内容確認調査 2,354千円 出土遺物保存処理 523千円 発掘調査員配置 1,940千円	文化財課（埋蔵文化財センター）

主要事業	事業概要	所管課
スポーツ大会等補助	市体育協会事業費補助 県民体育大会選手派遣事業補助 各種大会開催費補助、各種大会参加事業費補助 いわて北上マラソン大会補助 奥羽横断駅伝競走大会負担金 北上・横手・由利本荘・大船渡4市親善バレーボール大会負担金 平成28年度第71回国民体育大会北上市準備委員会負担金 17,140千円	スポーツ振興課
生涯スポーツ振興事業	中高年スポーツ教室 187千円	
スポーツ振興事業	北上市選手強化事業 北上っ子スキー体験事業 大学生スポーツ合宿事業 7,200千円	
学校体育施設開放事業	小学校17校、中学校9校の体育施設開放 12,424千円	
体育施設公認更新事業	マラソンコース公認更新 4,600千円	
体育施設整備事業	北上陸上競技場整備事業 和賀川グリーンパーク駐車場整備事業 306,250千円	学校給食センター
学校給食事業	学校給食実施事業 中央学校給食センター 50,775千円 ・供給校 小学校10校、幼稚園1園 ・供給食数 2,889食 北部学校給食センター 53,181千円 ・供給校 小学校2校、中学校5校 ・供給食数 3,392食 西部学校給食センター 138,266千円 ・供給校 小学校5校、中学校4校、幼稚園3園 ・供給食数 3,139食 安心で安全な給食の提供のための設備改善 学校給食用食器等更新事業 北部学校給食センター 9,862千円	

主要事業	事業概要	所管課
図書館資料整備事業	図書資料購入、近世・近代文書調査、郷土資料整理、 データ処理委託、システム管理 23,684千円	中央図書館
読書推進事業	読書のつどい、おはなし会、絵本ふれあいボランティア、 読書ボランティアグループ発表交流会等 159千円	
「ともしび号」運行事業	自動車文庫「ともしび号」の運行による館外奉仕活動 巡回ステーション 103カ所 817千円	
博物館企画展示等事業	企画展「世界のカブト・クワガタ大集合展」 企画展「民俗村開村20周年 民俗村再発見！」 企画展「きのこ展」 750千円	博物館
鬼の館管理運営事業	鬼の館管理費、イベント等開催費 学芸事業費、広告費等 24,794千円	鬼の館

子育て・就学前教育

平成24年度子育て・就学前教育の方針と重点施策

I 方針

北上市の全ての就学前の子どもが人権を尊重され、豊かな生活を享受し、健全な人間形成の基礎を培うことを目指し、乳幼児期から成長過程に応じた援助に努め、教育的視点と児童福祉的視点とが融合された総合的な判断に基づいた子育て支援を行うとともに、一貫した教育体系を構築していきます。

II 重点施策

1 子育てと仕事が両立できる環境の充実

- (1) 保育園・幼稚園における延長保育、預かり保育、一時保育等の特別保育や病後時保育の再開などサービスの拡充を図り、子どもの発達や、保護者の就労を支援していきます。
- (2) 老朽化した民間立保育園の改築事業費に助成を行い保育環境の改善を図るとともに定員を増加して待機児童の解消に努めていきます。
- (3) 共働き世帯の児童について、放課後の生活の場を提供しながら健全育成を図るとともに学童保育所が適切に運営できるよう支援していきます。

2 子育て家庭への支援

- (1) 保育所保育料軽減の実施や私立幼稚園就園奨励費補助金の交付など保護者の経済的負担の軽減に努めていきます。
- (2) ひとり親家庭などへの経済的支援や就業支援を通じ、生活の安定と自立が図られるよう努めていきます。

3 地域における子育て支援の充実

- (1) ファミリーサポートセンターでは、子育てを応援できる人と応援してほしい人同士を紹介するなど、育児ネットワークを構築し子育てをサポートしていきます。
- (2) 子育て支援センターにおいて、育児に関する講座や相談のほか、子育てサークルの紹介やイベントなどの様々な情報提供を行っていきます。また、新たにときわだい保育園にセンターを設置し、支援体制の拡充を図ります。
- (3) 一時保育事業において、保護者のリフレッシュ目的での利用が可能となるよう利用条件を緩和し、育児に伴う保護者の心身の負担解消に努めていきます。

4 子どもの健やかな成長をはぐくむ環境の整備

- (1) 就学前教育の振興を図る幼児教育振興プログラムガイドラインの実施に向け、幼児教育推進員を配置し、児童の小学校への円滑な接続を図られるよう、モデル地区において幼稚園、保育所及び小学校が連携した取り組みを実践していきます。
- (2) 建築後37年を経過した大通り保育園の保育環境改善、建物の長寿命化を図るため大規模改修事業に着手し、今年度は実施設計を行います。
- (3) 国の「子ども・子育て新システム」の動向を踏まえ、これからの子育て支援に

ついて、市立幼稚園統合民営化、市立保育所民営化なども含め、総合的に検討していきます。

5 保護を要する児童などへのきめ細やかな取り組みの推進

- (1) 相談機関等の連携した活動や、要保護児童対策協議会と連携しながら育児困難家庭や児童虐待の早期発見、早期対応を図り、子育てに関する不安の解消に取り組んでいきます。
- (2) 保健、医療、保育、教育などの機関が連携し、障がい児の健全な発達の支援に努めていきます。

平成24年度子育て支援課主要施策及び事業計画

主要施策	具 体 的 施 策	事 業 名	事業費 (千円)
子育てと仕事 が両立で きる環境の 充実	多様な保育サービスの推進 ◆保育所への乳幼児等の柔軟な受入れ、入所需要に応じた定員を見直し、保育ニーズに対応した施設整備、多様な設置主体の保育経営への参入などを促進し、保護者が保育所やサービスを選択できるような保育体制を構築する。 ◆就労形態の多様化に伴う保育需要への対応が求められていることから、乳児保育、延長保育、障がい児保育、休日保育等を行う保育所の充実に努める。 ◆多様なニーズに対応できる保育士の確保・資質向上のため、保育士、幼稚園教諭の研修等の充実に図る。	保育園保育実施事業 (委託)	864,441
		病後児保育事業	10,275
		特別保育事業	55,238
		私立保育所運営費助成 事業	38,045
		公私立保育園長会議	
		給食検討会・巡回指導	237
		保育所入退所決定事 務・保育料徴収	426
	幼稚園教育環境の整備 ◆保護者の多様なニーズに対応するため、幼稚園での預かり保育や教育相談等各種事業の充実に努めるとともに、豊かな情操・創造力・社会性が身につくよう幼稚園教諭の資質の向上を図る。	幼稚園預かり保育推進 事業	4,710
		公私立幼稚園長会議	
		私立幼稚園運営費助成 事業	4,300
	幼稚園・保育所における障がい児受入れの推進 ◆障がい児保育は、障がい児にとって集団生活や生活習慣などの面で大きな効果が期待されるため、幼稚園・保育所の受入れ態勢を充実するとともに、幼稚園教諭・保育士の研修を通じて障がい児への理解を深め、療育関係機関等と連携を図りながら推進する。	障がい児受入れ体制の 充実	67,257
		障がい児保育事業費補 助金	20,500
	学童保育所の充実 ◆就労などにより保護者が昼間家庭にいない小学校児童に対して、施設を利用して適切な遊びや生活の場を提供し健全な育成を図るとともに、適切に運営できるように支援する。	放課後児童健全育成事 業	120,048
		学童保育所運営費助成 事業	25,047
	子育て支援体制の充実 ◆次世代育成支援対策協議会及び庁内関係課で構成する連絡会議が中心となって、子育て支援施策の成果を検証するとともに、市民や各種団体の意向を把握しながら施策に反映する。 ◆児童福祉の窓口と幼稚園等就学前児童の窓口の一本化により、子育て支援施策の充実に図る。 ◆子どもの権利を守り、保護者、地域、企業及び行政が子どもの成長を支援する体制や仕組みの条例化等について研究する。	—	—

主要施策	具 体 的 施 策	事 業 名	事業費 (千円)
子育て家庭 への支援	経済的負担の軽減 ◆保育所保育料は、子育て世帯の経済的負担の中で大きなウエイトを占めていることから、所得階層区分や3歳未満時の保育料見直しの検討を行い、保護者の経済的負担の軽減に努める。	—	—
	経済的支援の充実 ◆ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、児童扶養手当の給付を継続して実施する。	児童扶養手当支給事業	443,873
	◆母子家庭の母を対象とした職業訓練等により就業に結び付く資格を取得するために給付する母子自立支援給付金を継続し、生活の安定と自立を支援する。	母子自立支援給付金事業	16,358
	子ども・児童手当の支給 ◆次代を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するため、0歳から中学校終了前の子どもを養育している人に子ども手当を支給する。	子ども・児童手当支給事業	1,721,445
	ひとり親家庭等の自立支援の充実 ◆ひとり親家庭等の生活費、養育費、教育費等の諸問題、借金等による経済的困窮に関する情報提供及び相談体制の充実を図る。	児童扶養手当支給事業	443,873
	療育を必要とする子ども・家庭への支援 ◆精神または体に障がいのある20歳未満の児童を養育しており、所得が一定の基準に達しない家庭に対し県から支給される特別児童扶養手当の申請手続を適正に実施する。	特別児童扶養手当申請受付進達事業	344
地域における 子育て支援の充実	ファミリーサポートセンターの充実 ◆育児の援助を受けることを希望する人と援助を行うことを希望する人を会員とする相互援助組織であるファミリーサポートセンター事業及び出産直後の家庭への家事・育児支援のサポート会員を派遣する産褥期サポート事業の充実を図る。	ファミリーサポートセンター事業	4,187
	地域子育て支援センターによる交流の場づくり ◆乳幼児及び保護者の相互交流を行う場所、子育ての不安や悩みについての相談や情報の提供等ができる場所として、地域子育て支援センターの充実を図る。	地域子育て支援センター事業	29,800
子どもの健やかな成長をはぐくむ 環境の整備	幼稚園・保育所・小学校の連携 ◆義務教育の基礎づくりのため、幼稚園・保育所・小学校の密接な連携に努め、必要に応じて子ども一人ひとりの情報交換を行うなど就学前教育の充実と小学校への円滑な接続に取り組む。	保育活動支援事業	1,682
	保育所の民営化・新たな保育所設置の推進 ◆民間活力を活用した運営コストの削減などの必要性から、公立保育所の民営化等について調査・検討を推進する。また、老朽化した保育所の改築事業費に対して助成し、子育て環境の充実及び保育所の定員増を図る。	黒沢尻保育園整備事業費補助金	180,933

主要施策	具 体 的 施 策	事 業 名	事業費 (千円)
子どもの健やかな成長をはぐくむ環境の整備	市立幼稚園の統合・民営化の推進 ◆園児の減少及び施設の老朽化に対応するため、市立幼稚園の見直し方針に沿って統合・民営化を推進する。	—	—
保護を要する児童などへのきめ細やかな取り組みの推進	児童虐待防止ネットワークの充実 ◆児童虐待による深刻な被害や死亡事例があつてはならないとの認識の下、児童相談所、医療、保健、教育、警察等で構成する北上市要保護児童対策地域協議会を中心に関係機関と連携しながら、児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応等きめ細やかなネットワーク体制の充実を図る。	要保護児童対策地域協議会	—
		ケース検討会議、児相定例会	
		教育福祉連絡会議	
	子育て相談体制の充実 ◆専門的対応を必要とする複雑化、困難化した児童相談に対応するため、家庭児童相談室の相談機能の強化に努める。	家庭児童相談室設置事業	4,015
	婦人相談等の充実 ◆婦人相談員を配置し、母子家庭等の身近な相談相手として、自立に必要な情報提供を行うとともに、地域の民生委員、児童委員と連携しながら支援する。また、必要に応じ母子生活支援施設や助産施設への入所を支援する。	婦人相談員設置事業 母子施設入所措置事業	4,412

<参考>

■ 認可外保育施設等の状況 (平成 23 年 10 月 1 日現在) (単位：人)

施 設 名			児 童 数 (年 令)							所 在 地
			0	1	2	3	4～6	学童	合計	
認可外保育施設	1	ちゃいるどはうす保育所	3	6	3	2			14	大曲町 5-4
	2	ひよこのいえ		6	4	4			14	中野町 1-9-19
	3	ベビーホームこぼと	6	8	3	3			20	二子町上野 120
	4	大堤保育所	2	6	7	4			19	大堤北 1-3-21
	5	B A B Y－C L U B MOMO園	8	16	19	18	17	25	103	青柳町 2-6-40
	6	ぷっちらんど保育室	4	6	7	5	2		24	村崎野 14-432-45
	7	キッズハウス天使のえくぼ		1	3	2	8	4	18	本通り 1-4-20
	8	ぼえむ☆たち花	5	5	9	4	2		25	立花 10-34
	9	ナーサリールーム花 hana 園	9	18	15	20	8		70	花園町 2-4-10
	10	こどもの国 虹色	9	12	12	7	2	15	57	鬼柳町堰合 118-1
	11	キッズランド未来	5	7	6	3			21	常盤台 2-4-62
	小 計		51	91	88	72	39	44	385	
事業所内保育施設	1	岩手県立中部病院院内保育所（岩手県医療局）	1	16	10	8	17		52	村崎野 17-10
	2	北上済生会病院附属職場保育所なでしこ保育園（（社）恩賜財団済生会）	1	8	6	4			19	花園町 3-4-45
	3	にこにこ託児所（岩手ヤクルト販売㈱）		3	1	2	1		7	相去町平林 14-10
	4	ひたかみ保育所（（医）社団敬和会）	7	12	9				28	北鬼柳 20-81-1
	5	チャイルドケアルーム バッケ（シチズン東北㈱）	1	4					5	北工業団地 2-25
	小 計		10	43	26	14	18		111	
合 計			61	134	114	86	57	44	496	

■ 学童保育所 (放課後児童クラブ) の状況 (平成 24 年 5 月 1 日現在) (単位：人)

放課後児童クラブの名称	小学校区	設置 (運営) 主体名	入学児童数 (小学生)			所 在 地
			1～3 年生	4～6 年生	計	
第一みつばち	黒沢尻東	北上学童保育所	49	13	62	中野町一丁目 8 番 44 号
第二みつばち	〃	〃	46	8	54	
第一ひかり	黒沢尻西	〃	33	12	45	本石町一丁目 6 番 18 号
第二ひかり	〃	〃	29	13	42	
第一つくし	黒沢尻北	〃	28	8	36	常盤台一丁目 7 番 1 号
第二つくし	〃	〃	28	8	36	
第三つくし	〃	〃	25	11	36	
第一たんぼぼ	飯 豊	〃	64	23	87	村崎野 5 地割 6 番地 24
第二たんぼぼ	〃	〃	52	18	70	
すみれ	南	北上南学童保育所	42	26	68	相去町葛西壇 15 番地 4
なのはな	〃	〃	28	17	45	
すずらん	〃	〃	26	18	44	相去町葛西壇 15 番地 6
たけのこ	鬼 柳	〃	31	18	49	鬼柳町都鳥 63 番地 1
かたばみ	〃	〃	23	9	32	鬼柳町都鳥 45 番地 2
ひまわり	江釣子	江釣子学童保育所	37	16	53	下江釣子 16 地割 200 番地
おひさま	〃	〃	55	15	70	
どんぐり	二 子	二子学童保育所	39	19	58	二子町鳥喰 22 番地 18
くれよん	笠 松	笠松学童保育所	27	3	30	和賀町横川目 33 地割 2 番地 2
さくらっ子	立 花	たちばな学童保育所	13	7	20	立花 18 地割 157 番地
わがの子	和賀東	和賀東学童保育所	42	0	42	和賀町長沼 6 地割 4 番地 2
あおぞら	黒 岩	黒岩学童保育所	13	12	25	黒岩 16 地割 26 番地 1
くにみ	照 岡	稲瀬学童保育所	14	6	20	稲瀬町前田 447 番地
くちない	口 内	口内学童保育所	4	7	11	口内町新町 99 番地 1
しらゆり	更 木	更木学童保育所	8	2	10	更木 12 地割 155 番地 1
成田	成 田	成田学童保育所	7	1	8	成田 25 地割 311 番地
いわさき	いわさき	いわさき学童保育所	25	12	37	和賀町岩崎 18 地割 53 番地 8
合 計		13 箇所	788	302	1,090	

■ ファミリーサポートセンター (平成 24 年 5 月 1 日現在)

	おねがい会員	あずかり会員	両方会員	所 在 地
ファミリーサポートセンター	478 人	94 人	41 人	北上市大通り 1-3-1 おでんせプラザぐろーぶ 3 階

■ 子育て支援センター (平成 24 年 5 月 1 日現在)

名 称	設 置 主 体	所 在 地
大通り保育園地域子育て支援センター	市	北上市大通り 1-3-1 おでんせプラザぐろーぶ 3 階
江釣子保育園地域子育て支援センター	市	北上市上江釣子 17-138-1
おにやなぎ保育園地域子育て支援センター	社会福祉法人平和会	北上市鬼柳町都鳥 13-1
ときわだい保育園地域子育て支援センター	社会福祉法人平和会	北上市藤沢 21-180-1

学 校 教 育

平成 24 年度 北上市学校教育行政指針

北上市の未来を担う人づくりのためには、行政と家庭、地域、学校が互いに役割を果たしながら、子どもたちの基本的な生活習慣や、学力・体力、学校不適応など様々な教育課題に対応した新しい教育の推進に取り組む必要があります。

教育の目的は人を育てることであり、一人ひとりの能力を伸ばし生涯にわたり自己実現を目指すとともに、互いに支え合う社会の形成者としての人材を育成することです。東日本大震災という未曾有の災害を通し、改めて「生きる力」が大切であることを認識し、逆境に立ち向かい自らの力で未来を切り拓いていく人材を育てることこそ教育の大きな使命であると考えます。

基本目標 郷土を愛し 未来を拓き いのち輝く 人づくり

基本方針

- 1 社会全体で子どもの健やかな成長を支える環境をつくります
- 2 一人ひとりの可能性を伸ばし夢と希望をはぐくむ学校をつくります
- 3 共に学び、互いに高め合い、心の豊かさと人と人とのつながりが広がる地域をつくります

重点施策

生きる力や豊かな人間性をはぐくむ学校教育の推進

I 学校生活を通して、知・徳・体をはぐくむ

- 1 確かな学力の定着
- 2 校内研究・研修の充実
- 3 豊かな心をはぐくむ道德教育の充実
- 4 豊かな人間性や社会性をはぐくむ特別活動の充実
- 5 自ら考え自ら学ぶ力をはぐくむ総合的な学習の時間の充実
- 6 信頼関係に基づいた生徒指導の充実
- 7 体力づくりに励む児童生徒の育成
- 8 学校安全の充実
- 9 学校保健の充実
- 10 食育指導・学校給食の充実

II 特別支援教育の充実と児童生徒の就学支援

- 1 共通理解に基づく特別支援教育の充実
- 2 就学指導体制の充実と適正な就学指導
- 3 小学校への円滑な接続を図る就学前教育の充実

III 学校、家庭、地域との連携による教育の充実

- 1 開かれた学校づくり
- 2 特色ある教育課程の編成

IV 社会の変化に対応した教育の推進

- 1 復興教育の推進
- 2 情報教育の充実
- 3 キャリア教育の充実
- 4 国際理解教育の充実
- 5 学校図書館の充実

I 学校生活を通して、知・徳・体をはぐくむ

() は他機関の事業

目 標		具 体 的 内 容	関 連 事 項
1 確かな学力の定着	(1) 実態把握と諸調査の活用	◆児童生徒の理解や習熟の実態について把握 ・自校における諸調査の分析及び指導方法の改善へむけた取り組み	・学校訪問 ・(授業力向上ブラッシュアッププラン) ・教育研究所 ・標準学力検査 ・(全国学力・学習状況調査) ・(学習定着度状況調査) ・(学力・授業力向上学校訪問指導(英・数)) ・学習指導アドバイザー(算) 学力数値目標 N R T 小 107以上 中 102以上 学調 小県比+1以上 中県比+1以上
	(2) 指導方法と指導体制の改善	◆個に応じた指導の計画 ・補充的な学習や発展的な学習の実施 ◆授業改善による授業力の向上 ・「知識・技能」の習得と「思考力・判断力・表現力」をはぐくむ授業の推進 ・「教える内容」と「考えさせる内容」のバランス	
	(3) 家庭学習習慣の形成	◆少人数指導によるきめ細かな指導の計画 ・学習の習熟の程度に応じた指導や課題別指導の実施 ◆自学・自習の習慣 ・学校と家庭の連携(家庭学習の手引き等の提示) ◆授業との連動 ・学級担任や教科担任による評価	
2 校内研究・研修の充実	(1) 課題解決のための組織的な研究・研修の推進	◆研究課題の明確化、焦点化による具体的な取り組み ・授業研究を中心とした実践的な研究(一人一授業研の実施) ・自己啓発及び相互啓発による資質向上 ◆文部科学省・県教委・市教委の指定研究の推進	・(研究主任研修会) ・(授業力向上研修) ・市指定研究 〈南小 23～24〉 〈北上中 23～24〉 〈江釣子小 24～25〉 〈飯豊中 24～25〉
	(2) 個人研究の推進	◆個人の教育課題に基づいた研究の実施	

目 標		具 体 的 内 容	関 連 事 項
3 豊かな心をはぐくむ道徳教育の充実	(1) 道徳の時間の充実	◆道徳の時間の確実な実施と指導計画及び指導法の改善 ◆指導方法の工夫と研修の充実 ・校内研究会の実施 ◆動植物とのふれ合いや自然体験等を通した生命尊重の教育の充実 ◆家庭・地域との連携による思いやり、規範意識、公德心等を育てる指導の充実	・（初任者研修） ・（訪問型教員基礎研修） ・（５年研修） ・（10年研修） ・「心のノート」の活用 ・岩手県版小学校道徳資料集の活用
	(2) 教育活動全体及び家庭・地域との連携による道徳的実践力の育成	◆保護者・地域住民への公開 ◆児童生徒の創造力を高める文化活動の推奨 ・伝統文化との出会い ◆善行の奨励・認め合い	・道徳授業公開 ・小学校作品展 ・（小学校音楽会） ・（中文連ステージ発表会） ・（中文連作品展） ・（青少年劇場） ・（お母さんの詩コンクール） ・児童生徒表彰
4 豊かな人間性や社会性をはぐくむ特別活動の充実	(1) 自己存在感を味わわせるとともに、集団の向上を図る特別活動の推進	◆望ましい人間関係を形成するための諸活動の工夫 ◆所属感を得られる学級活動の充実 ◆自治的活動を促す児童会・生徒会活動への適切な支援 ◆集団の向上を図る学校行事の充実	・（初任者研修） ・（訪問型教員基礎研修） ・（５年研修） ・（10年研修） ・中学生サミット
	(2) 自主的・実践的な態度及び自己を生かす能力を養う特別活動の推進	◆全体計画及び年間指導計画の作成と確実な実施 ◆発達段階に応じた適切な自立を促す系統的な進路指導計画と指導の工夫 ◆職場体験、各種ボランティア活動等、自己を見つめることのできる体験活動の推進 ・職場見学、職場体験の充実 ・言葉でまとめたり、発表し合ったりする活動の重視	

目 標	具 体 的 内 容	関 連 事 項
	(3) 不登校児童生徒や学校不適応児童生徒への適切な対応 ◆組織的な対応と意図的・継続的な教育相談の実施 ◆日常的な家庭との連携 ◆スクールカウンセラー等の効果的な活用 ◆適応支援教室「ひまわり広場」や教育相談機関との連携 ◆小中連携による早期発見と対応の充実	不登校児童生徒数 出現率 小 0.14%以下 中 2.30%以下 ・市教育相談員 ・適応支援教室「ひまわり広場」 ・（スクールカウンセラー） ・（学校生活サポーター）
7 体力つくり に励む児童生徒の育成	(1) 基礎的な体力・運動能力の向上 ◆基礎的・基本的な運動能力の伸長をねらう授業の改善 ◆体力及び運動能力の実態把握と計画的・継続的な体力づくり ◆部活動指導の充実 (2) 各種大会の実施と積極的な参加 ◆各種体育行事への積極的な参加	・（小学校体育実技ステップアップ講習会） ・（小体実技講習） ・（中体実技講習） ・（全国体力・運動能力調査） ・（小学校水泳大会） ・（小学校陸上競技大会） ・（中総体、新人大会） ・（地区陸上） ・児童生徒表彰
8 学校安全の 充実	(1) 学校安全の充実 ◆家庭・地域・関係機関との連携強化による安全指導の徹底 ・危機管理マニュアルの活用 ・地域安全マップの確認・更新 ・交通ルール、自転車使用の学習会 ◆事故・災害時の救援および危機管理体制の整備・充実 ・避難訓練（地震、火災、不審者等） ・防犯訓練の実施 ・心肺蘇生法、AED講習会 ◆スクールガードリーダーによる巡回指導とボランティアとの連携 ・登下校時における見守り活動 ・通学路点検	・（AED講習会） ・地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

目 標		具 体 的 内 容	関 連 事 項
9 学校保健の 充実	(1) 保健指導の充実	◆個に応じた課題を解決するための具体的な指導方法の工夫 ・学校保健会、市教研養教部会及び関係機関との連携	・学校医の指導助言
	(2) 学校保健委員会活動の充実	◆健康教育関係者との連携及び学校保健委員会の活動の充実	
10 食育指導・ 学校給食の充実	(1) 食育の充実	◆食育の全体計画の作成 ・各教科・領域との関連を図った指導 ◆食育モデルプランによる授業実践の継続 ・指導目標の明確化 ・実践の共有と継続	
	(2) 望ましい食生活等の啓発	◆栄養教諭の活用 ・食育担当者との連携による指導の充実 ・年間指導計画に位置付けた計画的な活用 ◆給食便り等の発行と内容の充実及び交流 ・季節感を大切にした指導 ◆食事マナーの確立 ・具体的な取り組み目標の設定	

Ⅱ 特別支援教育の充実と児童生徒の就学支援

目 標		具 体 的 内 容	関 連 事 項
1 共通理解に基づく特別支援教育の充実	(1) 校内体制の整備 (1) 特別支援教育に係る研修会の充実	◆「特別支援教育校内委員会」や「特別支援教育コーディネーター」の役割機能の充実 ◆ADHD、LD等の障がいの理解ときめ細かな対応 ◆ 校内研究会の充実 ・特別支援学校等との連携による具体的な事例検討 ・障がいについての共通理解	・個別指導支援員 ・（特別支援学校継続型訪問支援）
2 就学指導体制の充実と適正な就学指導	(1) 関係機関との連携及び検査等の効果的な活用 (2) 児童生徒の実態に応じた教育課程の編成と学習指導	◆校内就学体制の充実と関係機関との連携強化 ・就学相談の充実 ・早期発見、早期療育 ◆各種調査・検査及び事例研究会等による障がいの状況の正確な把握と適切な対応 ◆通常学級に在籍する特別支援を要する児童生徒に係る個別の指導計画の作成 ◆通級指導の充実	・市就学審議委員会 ・巡回相談の実施 ・新入生ことばの検査 ・幼児ことばの教室 ・言語通級指導教室 〈黒沢尻東小〉 〈黒沢尻西小〉 〈江釣子小〉 ・LD等通級指導教室 〈黒沢尻西小〉 〈北上中〉
5 小学校への円滑な接続を図る就学前教育	(1) 幼児の主体的な活動を保証する計画的な環境構成 (2) 家庭、地域及び保育園、小学校との連携の強化 (3) 積極的な研修の推進 (4) 障がいのある幼児の受け入れ	◆計画的な環境構成による特色ある幼稚園経営の推進 ◆幼児一人ひとりの発達の特性についての理解及び発達の課題に応じた指導の展開 ◆ 幼稚園、保育園、小学校との交流の充実と相互理解の深化 ◆ 相談支援ファイルの活用 ◆園内研修及び自己研修の積極的な推進 ◆障がいのある幼児の受け入れ及び保育の充実	・幼稚園・保育園・小学校等連絡会議 ・（市幼稚園研究会） ・（公開保育研究会） 〈更木幼〉 ・幼稚園・保育園訪問 ・巡回相談

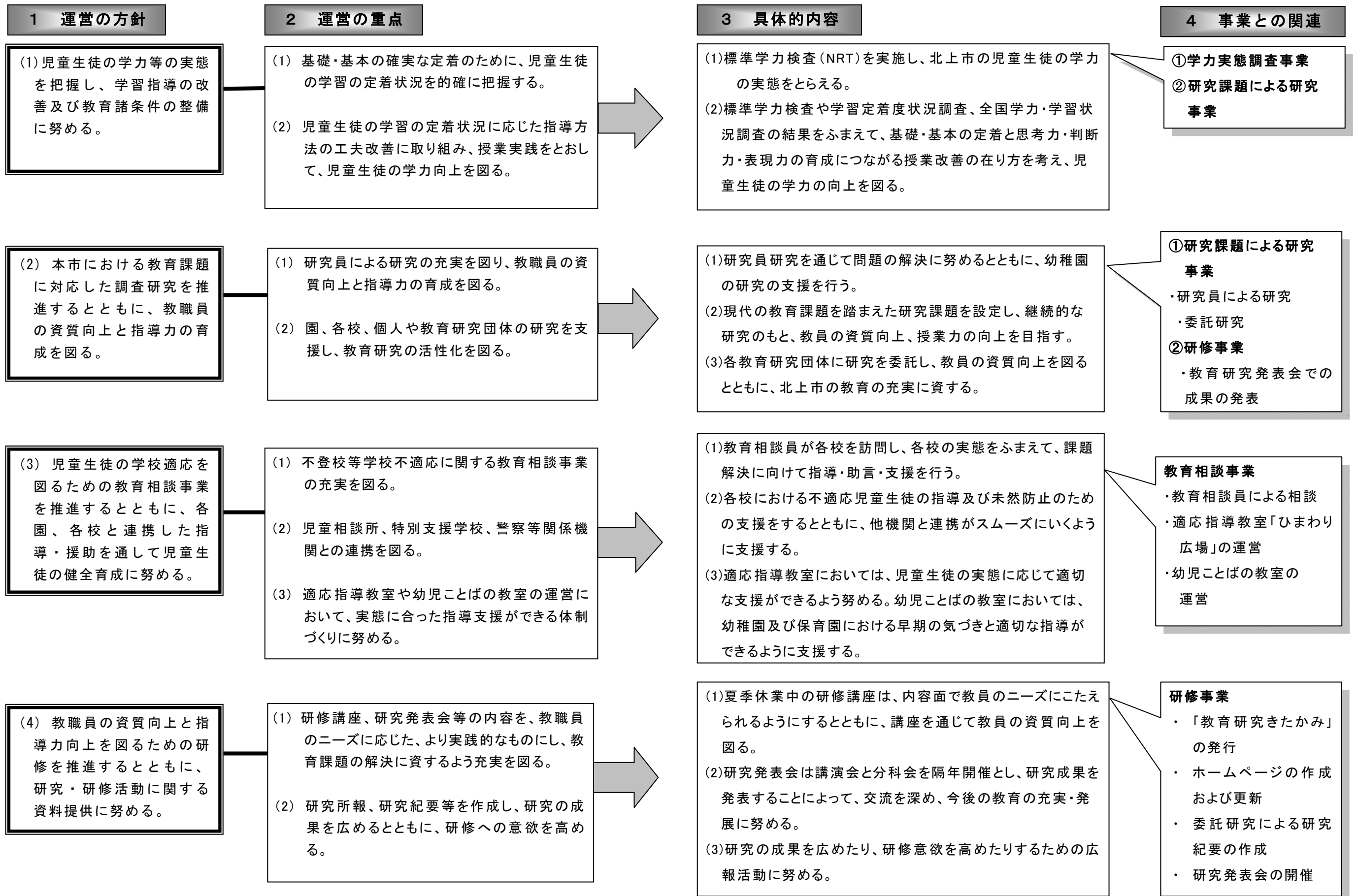
Ⅲ 学校、家庭、地域との連携による教育の充実

目 標		具 体 的 内 容	関 連 事 項
1 開かれた学校づくりの推進	(1)いわて型コミュニティースクールの推進 (2)家庭・地域社会との連携	◆教育課題をとらえた学校教育目標の具現化 ・検証可能な目標達成型の取組指標の設定 ◆学校運営の改善及び活性化 ・自己評価や外部評価の実施と結果公表 ・学校評議員制の活用 ◆地域社会の教育資源の活用 ・自然、歴史、文化、民俗芸能などを取り入れた教育活動の展開 ・地域の有識者や専門的人材の活用 ◆教育活動の情報発信 ・学校だよりやインターネットの活用	・まなびフェスト ・校長会議〈7回〉 ・校長代表者会議 ・副校長研修会 ・校長会、副校長会委託研究
2 特色ある教育課程の編成	(1)各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の調和のとれた編成 (1) 小中連携を意識した教育活動の展開	◆新学習指導要領の理解 ・指導要領改訂の趣旨の周知徹底 ◆移行措置期間における教育課程の整備 ・評価規準や年間指導計画の段階的作成 ・授業時数の確保 ・道徳、特別活動、「総合的な学習の時間」の趣旨に沿った教育活動の実施 ◆児童生徒の実態及び地域の特色を生かした教育課程 ◆学力向上対策 ・学習規律における一貫した指導 ・小中合同の授業研・授業交流 ◆学校不適応対策 ・情報交換や共通理解による組織的な対応	・（教育課程説明会） ・（教務主任研修会） ・教務主任会議〈2回〉 ・中学校区学力向上委員会

VI 社会の変化に対応した教育の推進

目 標	具 体 的 内 容	関 連 事 項
1 復興教育の推進	◆各校の実状に応じた復興教育の推進 ・「いわての復興教育」プログラムの活用 ・教育課程への位置づけ	・沿岸被災支援活動補助事業 ・教務主任会議 (教務主任研修会) (復興教育研修会) ・教育研究所発表会
2 情報教育の充実	◆情報活用能力の育成と情報機器の効果的活用 ◆情報モラル教育の推進	・教育研究所研修講座
3 キャリア教育の充実	◆全体計画の作成、整備 ・「いわてのキャリア教育」の活用 ◆児童生徒一人一人のキャリア発達を促す諸能力の育成 ・職場見学、職場体験の充実 ・望ましい勤労観、職業観の育成 ◆発達段階を踏まえた段階的な指導 ・	
4 国際理解教育の充実	◆外国語指導助手との連携 ◆総合的な学習の時間のねらいに合致した活動の実施 ◆地域人材等の活用による交流活動	・教育研究所研修講座 ・外国語指導助手 (英語チャレンジテスト)
5 学校図書館の充実	◆学校図書館の充実と有効活用 ・学校図書館利用指導の充実 ・読書指導の充実 ◆朝読書の充実 ・ ◆読書ボランティアの活用と連携	・図書整理指導員 ・学校図書館データベース化 ・(読書ボランティア研修会)

I 平成24年度北上市教育研究所運営計画



Ⅱ 平成 24 年度北上市教育研究所事業等運営計画

1 学力実態調査事業

市内小中学校児童生徒の学力等の実態を把握し、学習指導の改善及び教育諸条件整備の資料とするため、標準学力検査を実施する。

(1) 検査日程

検査用紙、検査結果処理用紙配布	平成 24 年 4 月上旬
検査実施	平成 24 年 5 月上旬まで
分析結果の紀要の配付	平成 24 年 10 月（予定）

(2) 検査用紙

小学校：知能検査、領域別診断学力検査（NRT）

中学校：知能検査、領域別診断学力検査（NRT）

(3) 対象学年及び検査教科

小学校：第 4 学年 国語・算数 2 教科

中学校：第 2 学年 国語・社会・数学・理科・英語 5 教科

2 研究課題による研究事業

(1) 研究員による研究

①標準学力分析部会

- ・標準学力検査を踏まえて北上市の学力の実態を分析することによって、今後の指導の改善に生かす。

②教育課題研究部会

- ・児童生徒の実態と現代の教育動向等を踏まえた研究課題について、研究を深め、その成果を各学校に普及する。

(2) 委託研究

①北上市立幼稚園研修会

- ・幼稚園の教職員の指導力の充実を図り、幼稚園教育の向上に資する。

②北上市教育研修会

- ・小学校教職員の指導力の向上を図り、学校教育の向上に資する
- ・指導内容や方法に関する研修を重視し、授業研究を中心に進める。

③和賀地区中学校教育研究会

- ・中学校教職員の指導力の充実を図り、学校教育の向上に資する。
- ・指導内容や方法に関する研修を重視し、授業研究を中心に進める。

④北上市校長研修会

- ・校長としての資質向上を図り、北上市の教育の充実に資する。

⑤北上市副校長研修会

- ・副校長としての資質向上を図り、北上市の教育の充実に資する。

3 教育相談事業

(1) 教育相談員による相談

児童生徒及び幼児の教育上の諸問題について児童生徒及び保護者や教師の教育相談に応じる。

①相談時間

・毎週：月～金曜日 9：00～15：45（※祝日・年末年始休業日を除く）

②相談形態

・電話による相談、相談室での相談、訪問相談

(2) 適応教室「ひまわり広場」の運営

心理的・情緒的要因、怠学傾向等により不適応児童生徒に対して、個別や祥集団での相談・指導を行いながら、集団への適応力の回復及び育成を図り、学校生活への復帰を援助する。

①開設場所 北上市上江釣子 12-172

②開設期間 4月1日～3月31日

（※ただし、春季・夏季・冬季休業中は原則として休みとする。）

③開設日時 週5日（月～金） 9：30～15：00

(3) 幼児ことばの教室の運営

就学前教育として、幼児の難聴・言語に係る諸問題について調査研究を行う。

①難聴・言語障がい幼児の早期発見に努める。

②難聴・言語障がい幼児の教育相談に応じる。

4 研修事業

(1) 研修講座

教育に関する専門的・技術的事項について教職員の研修を行い、教職員の資質向上に資する。

○期 日：平成24年8月3日（金）

○場 所：北上市立東陵中学校・北上市立南中学校

(2) 教育研究発表会

北上市内小中学校及び北上市教育研究所における研究成果を広く教育関係者に発表する機会を設けて教育研究内容の交流を深め、今後の教育実践の充実・発展に資する。

○期 日：平成25年1月8日（火）

○場 所：北上市文化交流センター（さくらホール）

○内 容：全体発表会・分科会

(3) 教育情報の提供及び研究内容の普及

北上市教育研究所の事業内容、各学校の教育研究、実践等の交流を図り、
北上市の教育の充実に資する。

① 研究所報の発行及び研究所ホームページ

・発行・更新は随時とする。

② 研究紀要等の発行

ア 研究員・委託研究の研究紀要

(標準学力検査の分析、市幼研、市教研、中教研、校長会、教頭会)

イ 北上市教育研究発表会

ウ 「和賀教育」

Ⅲ 平成 24 年度学校指定研究

(1) 市教委指定

学 校 名	研 究 内 容	期 間 (年 度)	公 開 日
南小学校	教科 (算数)	23～24	平成 24 年 10 月 10 日 (水)
北上中学校	教育課程一般	23～24	平成 24 年 10 月 4 日 (木)
江釣子小学校	教科 (算数)	24～25	
飯豊中学校	教育課程一般	24～25	

<参考>

平成24年度 北上市教育委員会学校教育課 関係事業

校 長 会 議	
①	4月10日(火)
②	6月26日(火)
③	8月22日(水)
④	10月23日(火)
⑤	12月 4日(火)
⑥	1月23日(水)
⑦	2月19日(火)

校 長 代 表 者 会 議	
	5月29日(火) *予定
	10月24日(水) *予定

副 校 長 研 修 会	
	2月1日(金)

教 務 主 任 会 議	
①	5月23日(水)
②	2月27日(水)

生徒指導主事研修会	
①	4月24日(火)
②	9月 6日(木)

幼・保・小等連絡会議	
①	6月 19日(火)

初 任 者 研 修	
①	4月11日(水)
②	6月 7日(木)
③	8月 9日(木)

就 学 審 議 委 員 会	
①	11月 8日(木)
②	12月 5日(水)
③	1月16日(水)
④	2月 7日(木)

教 育 研 究 所	
I	運営委員会(年3回)
①	5月30日(水)
②	10月24日(水)
③	2月26日(火)
II	委託研究(予定)
	研究員による研究
①	教育課題研究
②	標準学力検査分析
★	実施学年(小4、中2)
★	実施期間
	4月16日(月)
	～5月11日(金)
III	北上市教育研究発表会
★	期日 1月8日(火)
★	場所 さくらホール
★	内容 全体会・講演会
	*岩手県教育研究発表会
	2月14日(木)～15日(金)
IV	研修講座
	8月 3日(金)

関 連 事 業	
I	小体連
○	水泳大会 7月26日(木)
○	陸上記録会 9月22日(土)
II	小学校音楽発表会
	11月 6日(火)
IV	中体連
○	地区中総体
	6月16日(土)～17日(日)
○	地区陸上 8月25日(土)
○	地区駅伝 9月 5日(水)
○	地区新人戦
	9月15日(土)～16日(日)
V	中文連ステージ発表
	11月 7日(水)

市 指 定 公 開	
①	北上中 10月 4日(木)
②	南 小 10月10日(水)

学 校 訪 問	
①	立花小 8月28日(火)
②	北上北中 8月30日(木)
③	照岡小 9月 4日(火)

中 教 研	
①	4月26日(木)
②	9月11日(火)
③	10月 4日(木)
④	11月19日(月)

市 教 研	
①	5月 8日(火)
②	6月 4日(月)
③	11月13日(火)

市 幼 研	
①	総会・研修会
	4月17日(火)
②	更木幼稚園公開保育
	10月17日(水)
③	研究発表会
	1月17日(木)

児 童 生 徒 表 彰	
	2月16日(土)
	さくらホール中ホール

中 学 生 サ ミ ッ ト	
	12月26日(水)

小 学 校 作 品 展	
	12月1日(土)～2日(日)
	江釣子地区交流センター

生涯学習・社会教育

平成24年度生涯学習・社会教育の方針と重点施策

I 基本方針

北上市教育振興基本計画及び平成24年度教育行政施策の基本方針に基づき、市民一人ひとりが共に学び、互いに高め合い、心の豊かさと、人と人とのつながりが広がる地域をつくるため、生涯学習の環境づくりや、「生きる力」を身につける社会教育の推進に努めます。

いつでも、どこでも、だれでも学べる機会の提供に努め、生涯学習センターを活用した事業や、市民の側への出前講座を展開するとともに、各地区の交流センターを始めとする社会教育施設等で開催される事業を充実させるため、引き続き支援して参ります。

II 重点施策

1 生涯を通じた学習機会の充実

- (1) 市民が気軽に生活の中に学習を取り入れることができるよう、講座、指導者、施設等の情報収集を行い、県や関係機関と連携して広報やホームページなどで広く情報提供します。
- (2) グループや企業・団体等の自主的な生涯学習を促進するため生涯学習まちづくり出前講座を引き続き実施し、食育や子育て支援などのテーマについて複数の機関が連携して、より広い視点から学ぶことができるメニューを開発していきます。
- (3) 環境、国際、医療、経済などの現代的課題について理解を深める機会として、市民で構成する運営委員会が企画段階から参画する北上市民大学及び専門的分野を体系的に学習するため、北上市民大学大学院を引き続き開講するとともに、北上の先人について古文書の解説を通じてさらに深く学ぶゼミナールを開講します。また、経済などの現代の課題に特化した最新の研究成果などについて学ぶ場として、富士大学北上市民セミナーを開催します。
- (4) 「遊・YOU学園祭」は、生涯学習センターを拠点に活動するサークルや団体、NPO法人等と連携し、絵画などの展示をはじめ、工作などの体験コーナーやミニステージ発表など、日頃の活動の紹介や相互の交流の場として開催します。
- (5) 市民のニーズを的確にとらえ、最も身近な場所で乳幼児学級、少年少女学級、成人学級、高齢者学級など年代に応じた様々な学習機会が提供されるよう、地域の拠点である交流センターで各種講座を展開します。生涯学習センターでは、生涯学習に係る各種情報を交流センターや自治公民館に提供するとともに、交流センター生涯学習指導員研修会を開催するなど、連携して生涯学習の推進に努めます。

2 家庭や地域などが連携した社会教育の推進

- (1) 社会教育の観点から家庭や地域、学校教育との更なる連携を図り、各学校の「まなびフェスト」と連動して家庭学習の充実や読書活動の推進を図るための教育振興運動推進体制の整備に向けた検討を進めます。

- (2) 身につけさせたい生活習慣として定めた「北上っ子5つのやくそく」の定着を図るため、学校や家庭と連携した実践活動を推進します。
- (3) 放課後子ども教室については、放課後等の安全で安心な居場所を確保するため、引き続き、交流センターや学童保育所と連携して3小学校区で実施するとともに、平成25年度以降の在り方について学校及び地域との協議を進めます。
- (4) 子どもたちが市内各地域の年中行事に参加してその言い伝えを聞いたり、郷土料理を作って食べることで食文化を学ぶなど、これまで培われてきた知恵や経験を受け継ぎ、伝えていくための世代間交流を推進します。
- (5) ものづくりや野外活動など様々な分野の体験学習を通じて次代を担う人材を育てるジュニアリーダー養成事業を、産学官の協働の下に継続します。

平成24年度 生涯学習・社会教育主要事業計画

(単位 千円)

施 策 領 域	事 業 名	内 容	期 日	場 所	対 象 者	事業費
生涯を通じた学習機会の充実	生涯学習センター管理事業	生涯学習センターを活用した多様な生涯学習事業を展開するとともに、団体に活動の場を提供する	年間	生涯学習センター	市民	101,902
	富士大学市民セミナー	富士大学教授陣による政治・経済・法律分野の公開講座	10月	生涯学習センター	成人	講座開催事業として 620
	初心者向けパソコン講座	これまでITを学ぶ機会がなかった市民に、パソコンの基礎を学ぶ機会を提供し、IT社会に対応できるよう支援する	8～9月	生涯学習センター	成人	
	北上市民大学	一般教養や専門的な知識を学ぶ	6月～11月	生涯学習センターほか	成人	
	北上市民大学大学院	専門的な分野を体系的に学習、研究する	地元学部 6～12月 法学部 1～3月	生涯学習センター	成人	
	北上市民大学大学院ゼミナール	昨年度大学院地元学部で取り上げた北上の先人についてさらに深く学ぶ	4月～9月	生涯学習センター	成人	
	生涯学習「まちづくり出前講座」	市の各部署、公共機関、会社や市民個人を講師としたメニューを作成し、団体・サークル等が開催する学習の場へ無料で講師を派遣する	随時	市内	市民	293
	生涯学習市民のつどい「遊・YOU学園祭」	生涯学習の普及・啓発(生涯学習センター利用団体によるミニステージ発表、企画コーナー、及び作品展示等)	11月	生涯学習センター	市民	0
	市広報「マナビページ」	毎月市広報に講座・教室等の生涯学習事業の開催案内や事業紹介などを掲載	年間	市内	市民	-
	生涯学習ガイドブック(電子版)	講座や教室、講師、団体・サークル等の情報提供(特に団塊世代の講師、指導者の登録及び活用)	年間	生涯学習センターホームページ	市民	56
	ホームページの開設	生涯学習センターのホームページを開設し、施設案内や仮予約のほか、生涯学習情報の提供する	年間	生涯学習センターホームページ	市民	112

施 策 領 域	事 業 名	内 容	期 日	場 所	対 象 者	事 業 費
家庭や地域などが連携した社会教育の推進	地域教育力の向上	今後の教育振興運動推進の基礎となる、地域教育力の向上に向けたガイドラインを策定する	年間	生涯学習センターほか	保護者 小・中学生 一般関係団体	0
	放課後子ども教室推進事業 (震災復興枠国庫委託金事業)	小学校区単位に放課後の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを進めるため、体験学習や世代間交流等を取り入れた放課後子ども教室を実施する	年間	3 小学校区	小学生 地域住民	1,400
	ジュニアリーダー養成事業「マナビイ鬼ッ塾」	小学生を対象に現代的課題をわかりやすく学習する機会を設け、自発的に考え、行動する力、環境への配慮、集団の中でのルール・マナーなどを身につけ、学校や地域のリーダーに相応しい人材を育成する	7～2月	生涯学習センターほか	小学生	0
	成人式	新成人を祝福し、励ます式典の開催	1月13日	さくらホール	新成人	808
	子どもの読書活動の推進	子どもの読書活動推進計画を策定、周知し、各所での取組を支援する	年間	学校、家庭、地域	中学生以下	81
	社会教育関係団体活動支援	広域的、公益的な社会教育関係団体の活動に対して補助金を交付するとともに、各種事業との連携を図り社会教育の推進を図る	随時		関係団体	1,231
	自治公民館活動交付金	自治公民館単位での地域コミュニティ活動に対する支援（253館）	8月交付		自治公民館	13,558
	自治公民館整備事業費補助金	自治公民館の建設、修繕等に係る費用への補助	随時		自治公民館	5,000
	社会教育関係職員等研修	ニーズの多様化、高度化した学習要求に対応するための専門研修への派遣並びに交流センター職員を対象とした実務研修の実施	年間	県立生涯学習推進センターほか	関係職員	50

平成24年度北上市交流センター生涯学習事業等実施方針

1 事業実施の根拠について

北上市交流センター条例第3条第2項第1号の規定に基づき、事業を実施するとともに、別に定める北上市交流センター指定管理者業務仕様書により、生涯学習事業及び社会教育事業（以下「事業」という。）を指定管理者のもとで企画し実施するものとする。

2 事業の経費について

事業実施委託料の額は、協定書別表の生涯学習事業及び社会教育事業の事業費に係る指定管理委託料とする。

3 事業の企画・実施・報告・評価までの流れ

時 期	内 容	提出期限	備 考
平成24年 3 月	事業等企画書（事業計画書）作成	平成24年 3 月21日	事業名、目的、予算など
平成24年 4 月～ 平成25年 3 月	事業等実施		必要に応じ随時実施状況の報告
平成25年 4 月	事業等報告書（事後評価）作成	平成25年 4 月26日	延人数、延回数、成果、課題など

4 重点的に取組む事項

これからの社会には、地域住民自らが、地域の課題について考え、互いに支え合い、協力し合いながら、課題解決を行うことを通して、よりよい地域社会を創り上げる新しい「公共」の心が求められている。住民が地域に対する愛着の気持ちや自信、誇りを持つことが将来にわたっていきいきと輝くまちの基盤となると言える。

地域の拠点である交流センターにおいては、住民がともに学びあい、高めあう機会を提供するとともに、複数の交流センターが連携した事業の実施などにより、地域間の相互交流にも取り組んでいく。

また、その低下が叫ばれている家庭と地域の教育力の向上を図るため、地域ごとに工夫しながら「北上っ子5つのやくそく」の周知、普及を推進していく。

平成24年度北上市交流センター生涯学習事業実施計画一覧

この計画は、各地区交流センターが実施する生涯学習及び社会教育に関する事業を項目別にまとめたものである。

センター名	生涯学習及び社会教育に関する事業 (アイウは別紙の事業内容にあるアイウである。)											事業費 (千円)
	①多様な学級・講座 等の開設			②子育て等家庭教育 の充実			③学習情報の提供・ 相談機能の充実			④関係機関・団 体との協力支援		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	
黒沢尻北	3		11	3			1		2	2	1	870
黒沢尻東	3	1	4	1			1		1		1	870
黒沢尻西	2		3	1		1	1		1		1	820
立 花	3	1	11	1	1		2		1	1	4	790
飯 豊	4		6	1			1		1	1	1	870
二 子	5		3	2			2		1		5	790
更 木	1	1	5	1	1	1	1		2	2	1	790
黒 岩	4		3	2	2		1		3	1	1	790
口 内	4	1	5	1	1	1	1		1		1	790
稲 瀬	4		4	2			1		1	3	1	790
相 去	4		4	2			1		1	1	2	820
鬼 柳	3	1	9		1		1		1		1	820
江 釣 子	4		2	1			1		1		1	870
和 賀	3	2	2	2	1	1	1		1	3	1	820
岩 崎	3	1	3	1	1		1		1	1	1	790
藤 根	3		4	1	1		1	4	1	4	6	820
合 計	53	8	79	22	9	4	18	4	20	19	29	13,110

※1 一覧内の数字は、予算を伴う事業数を主に意味する。

※2 数字が空欄のところは、随時対応等予算が伴わないものを主に意味する。

生涯学習及び社会教育に関する事業

項目	事業内容	事業数等	説 明
① 多様な学級・講座等の開設	ア 乳幼児、青少年、成人、高齢者、女性、就労者等を対象とした事業	年4事業以上	シリーズものを基本とした学級・講座とし、成人一般の総合コース(大学)的な講座も当項目とする。
	イ 社会情勢の変化による今日的課題や地域性のある学習課題に対応した事業(情報、環境、少子・高齢化、政治・経済、食育、防災その他)	年2事業以上	シリーズものの講座又は単発の講演会等。アの事業のメニューのに組み込み実施するなど、企画に工夫する。家庭教育関係は②の事業とする。
	ウ 芸術、文化、スポーツ、レクリエーション等の創作活動、趣味的活動、健康づくり活動の事業	地域住民のニーズに応じた必要数	住民ニーズを把握し学習メニューを企画する。教材費等開催経費については参加者から応分の負担を徴収すること。アの事業メニューに組み込むことでもよい。
② 子育て等家庭教育の充実	ア 学校・家庭・地域の連携による父母等が参加する家庭教育に関する事業	年1事業以上	シリーズものの講座又は単発の講演会等。地域の学校とも連携を図りながら、子育て等家庭教育に関する事業を実施すること。 また、「北上っ子5つのやくそく」の周知、普及を推進すること。
	イ 子どもたちの放課後や週末における居場所づくりの推進	年1事業以上	交流センターや自治公民館施設の子どもたちへの定期的な開放と交流活動。①アの少年学級に併せた実施方法でもよい。
	ウ 子どもの安全対策の推進に関する事業	適宜対応	犯罪や交通事故等に遭わないような環境整備や意識啓発を行う。ア、イの事業と一体的に推進すること。
③ 学習情報提供や相談充実・発表の場の提供	ア 広報誌等の発行	月1回以上	定期的なもののほかに、必要に応じて随時発行のこと。 なお、「北上っ子5つのやくそく」に関する記事を掲載すること。
	イ 学習拠点としての学習相談体制の整備	適宜対応	サークル活動支援、学習資料提供、講師等斡旋を行うこととし、生涯学習センターやその他の関係行政機関と連携しながら対応すること。
	ウ 学習成果が活用される文化祭や各種発表会の開催	年1事業以上	地域で活動する団体・サークルや講座等受講者の成果発表の場として、文化祭等を開催すること。
④ 関係機関・団体との協力、支援	ア 関係機関・団体との共同による事業の実施	年1事業以上	地域の関係機関や団体との連携を深めるための共催事業等に取り組むこと。具体的には①から③の事業において実施すること。
	イ 自治公民館、各種団体等に対する協力、支援及びその体制づくり	自治公民館との定期的な会合を持つほか、各種団体とは適宜対応	関係者による組織等を設置し、定期的な連絡・調整を行うとともに、事業に関する企画・実施についての意見を聴取すること。関係者の研修についても必要に応じて実施すること。

平成24年度北上市立博物館運営方針

I 方針

本市の教育基本計画に基づき、地域の博物館として北上川流域の自然と文化に関する資料と情報を集積し、展示や教育普及、学習支援を通じて、広く生涯学習に供します。また、博物館・民俗村にある史跡や古民家等の文化財について、適切な管理と活用を図り、歴史や文化の継承に努めます。

II 重点施策

1 社会教育機能の充実

- (1)郷土の歴史や民俗、自然を理解する学習会、講座を開設します。
- (2)調査研究活動の成果を調査報告書等に反映させ、情報の蓄積と発信に努めます。
- (3)学びの場として、学校、社会教育、文化団体等の施設利用を促進します。
- (4)展示資料や民家等建築物の保安管理の充実に努めます。
- (5)民俗村の案内を行うガイドボランティアの育成に努めます。

2 ふるさとの文化財と伝統文化の継承

- (1)収蔵資料のデータベース化を推進します。

3 生涯を通じた学習機会の充実

- (1)博物館の専門職員を各種学習活動へ派遣し、市民の文化活動を支援します。

平成24年度博物館主要事業計画

(単位：千円)

主要施策	領域	事業名	内容	期日	場所	事業費
社会教育 機能の充 実	教室学習 会	郷土の自然探索会 (全3回)	北上市周辺の自然観察 4月…横川目の月山登山 5月…稲瀬の太平山を巡る 7月…北上川沿いのサイクリング ロードを歩く	4月21日 5月12日 7月14日	北上市周 辺	107
		歴史探訪会	県内の中世遺跡を訪ねる。 二戸市(九戸城、天台寺)	6月30日	県内	
		民俗村開村20周年「古民 家を学ぼう！」(全3回)	9月…座学1回、民俗村内1回 10月…移動学習	9月15日 9月29日 10月20日	民俗村 内、県内	
		子ども工作教室 (夏冬各1回)	昔のおもちゃ作成など	7月21日 12月22日	民俗村内	
	調査研究	国見山の自然総合調査	シリーズ刊行(H25年度)を意識 した調査	通年	市内	579
		ため池の生き物補足調査	北上川西岸のため池調査	通年	市内	
		オサムシ分布調査		通年	市内	
		和賀氏に関する調査	研究成果を研究報告19号(H24年 度)に反映させる。	通年	県内	
		国見山廃寺に関する調査	企画展開催(H25年度)を意識し た調査	通年	市内	
		黒沢尻河岸に関する調査	研究成果を研究報告19号(H24年 度)に反映させる。	通年	市内	
		近世宿駅制に関する調査	シリーズ刊行(H27年度)を意識 した調査	通年	県内	
		消防資料に関する調査	企画展、研究報告19号(H24年 度)を意識した調査	通年	県内	
	施設使用 等	民家、体験厨房、体験工 房等施設貸出	博物館、民俗村施設を学習の場と して貸出す	通年	民俗村	155
		みちのく民俗村村長設置	民俗村のPR及び管理運営につい ての指導	通年	民俗村	
	文化財の 保護	資料の収集整理	寄贈資料、収蔵資料、図書資料等 の整理	随時	博物館	366
	企画展示	世界のカブト・クワガタ 大集合展	世界の珍しいクワガタムシ、カブ トムシを中心に200点を展示。	6月3日～ 8月19日	博物館	750
		民俗村再発見！	民俗村古民家の模型と当館所蔵の 民俗資料を中心に展示。	8月25日～ 11月4日	博物館	
		第40回きのこ展	実物やパネルで食用・毒のあるき のこを紹介	9月9日～ 10月28日	博物館	
		村長さんの写真館8	村長が撮影した写真や民俗村を紹介 する写真を展示	9月7日～ 9月13日	市内	
	教育普及 活動	鬼剣舞国指定20年記念合 同公演	出演団体 川西大念仏剣舞、滑田鬼剣舞 朴ノ木沢念仏剣舞、岩崎鬼剣舞	9月8日	民俗村	160
		年中行事再現	北上地方に伝わる疫病よけなどの 行事を再現(全6回)。	5月～2月	民俗村	55
		集まれ！民俗村田んぼ ファミリー	市民参加による米づくり体験	5月～10月	民俗村	

主要施策	領域	事業名	内容	期日	場所	事業費
社会教育 機能の充 実	会議研修	博物館協議会	上半期事業報告と25年度運営方針 及び事業計画にかかる協議	年2回	体験厨房	124
		博物館研究員会議	調査研究にかかる協議	年2回	博物館本 館	134
	施設管理	博物館・民俗村管理等	博物館・民俗村の維持管理、見学 者受け入れ等	通年	博物館、 民俗村	41,904
	ボラン ティア活 動支援	民俗村ガイドボランティア の育成	民俗村案内ボランティアの活動支 援	4月～11月	民俗村	150
ふるさと の文化財 と伝統文 化の継承	施設整備 等の充実	収蔵資料管理システムへ のデータ入力	収蔵資料のデータベース化に伴い 既存の資料を順次入力	通年	博物館	
		民俗村園内修景管理	民俗村内庭園の維持管理		民俗村	630
生涯を通 じた学習 機会の充 実	学習活動支援	専任研究員等設置	専門的な学習、研究活動への指導 助言	通年	博物館	3,209
		博物館講師派遣	市民・学校等の学習活動支援	通年	各地区交 流セン ター等	

平成24年度北上市立鬼の館運営方針

I 方 針

鬼の館の設置理念と北上市教育振興基本計画を踏まえ、豊富な人文資料の活用を図り、市民が気軽に来館し、楽しみながら「見る・触る・学ぶ・知る・創る」ことができる鬼のテーマ博物館を目指し、機能の整備充実を図るとともに関係機関等とのより一層の連携のもと生涯学習の推進に努めます。

II 重点施策

- 1 資料収集の促進及び保存管理の充実に努めます。
- 2 調査研究活動を展開し、その成果を展示等に反映させ、充実を図ります。
- 3 楽しく遊び学ぶための展示や教室・講座等の学習機会の充実に努めます。
- 4 研修機会の拡充や運営体制の整備に努めます。
- 5 一層多くの来館者を迎えるためのPR活動とサービスの充実を図ります。
- 6 市民の活用促進をはかるため、展示施設の開放事業の展開を図ります。
- 7 市民参画のもと、賑わいのある館づくりに努めます。

平成24年度鬼の館主要事業計画

(単位：千円)

区分	期日	事業名	内容	場所	対象者	事業費
会議 研修	年2回	鬼の館協議会	鬼の館の事業運営の審議・答申	鬼の館	協議会委員	71
	2月	文化財技術講習会	資料取扱技術の習得	県立博物館	職員・研究員	
	3月	芸能団体出演調整会議	鬼の館公演に関する調整会議	鬼の館	芸能保存会	
広報 活動	年10回	瓦版発行	鬼の館事業の紹介 自由配布		一般	
	通年	広報活動	鬼の館のPR及び事業紹介		〃	
	通年	TV・新聞・雑誌活用	新聞・テレビ・ラジオ等でPR		広域・一般	150
教育 普及 活動	4月～10月	鬼の館芸能公演	鬼芸能の紹介 毎月第4日曜日に実施 (5月は3回、6・8・10月は2回) 鑑賞無料 解説付 全12回公演	鬼の館	一般	444
	6月10日	大乘神楽大会	大乘神楽の紹介 鑑賞無料 1回公演	〃	〃	276
	2月初旬	福豆鬼節分会	年中行事の習俗でもある“節分会”を鬼 芸能の紹介とともに実施する 参加無料	〃	〃	334
	9月・3月	鬼の館だより発行	鬼の館の活動紙 A4判 500部 無料配布		〃	53
	通年	鬼ッズ・プレイミュー ジウム	博物館普及活動の一つとしての鬼の面づ くり活動の実施 来館者・出前講座	鬼の館ほか	小・中・高・ 一般	50
展示 活動	4月21日 ～7月22日	特別展 「収蔵資料展 妖怪～古今東西～」	当館の収蔵資料の中から、錦絵を中心に 妖怪について紹介。類似する海外の仮面 資料も併せて展示し比較しながら紹介す る。	鬼の館	一般	647
	8月11日 ～11月11日	企画展 「魔よけ」	古来より日本人は、災厄などから身を守 るために様々な魔よけを生み出してきた。 それらの考察から、日本人が何を恐れ 何をよりどころとしてきたか紹介す る。	〃	〃	
	12月15日 ～3月10日	特別展 「よろず伝承 展～鬼とよばれたモノ たち」	「鬼おろし」や「オニヤンマ」、「オニア ザミ」、「オニグルミ」など、道具や動植 物にも鬼の名を冠するものがある。それ らを一堂に集め、日本人と鬼とのユーモ ラスな歴史について紹介する。(広報等で 市民に協力呼びかけ)	〃	〃	

区分	期日	事業名	内容	場所	対象者	事業費
学級 講座	5月～2月	わんぱく講座	鬼に関する創作活動や実体験を通して鬼の本来の姿を理解する	鬼の館ほか	児童・生徒	148
	10月～1月	鬼学講座	鬼の源流を学び、人と鬼との関係を理解するための系統的学習 全5回。「民間信仰からみる鬼」定員40人、受講料500円	〃	高校・一般	196
	通年	資料調査・研究	展示資料の充実を図るため、各種調査研究活動・鬼習俗調査の実施		研究員 学芸員	
資料 収集	通年	資料の購入	鬼関係資料の収集と購入促進 人類民族・民俗・歴史資料ほか			80
管理 運営	通年	各種委託業務	鬼の館施設の運営維持のための委託業務 警備業務・清掃業務・保守作業ほか			7,042
	11月末	常設展示室視聴覚機器 保守点検業務	視聴覚機器のメンテナンス委託 映像・DVD・CD機器			
施 設 整備			H24年度は該当なし			

平成24年度北上市立中央図書館運営基本方針

I 基本方針

図書館が市民にとってより以上に「生涯学習における身近な学習実践の場」になるよう資料や情報を幅広く収集・整備し利用促進を図るとともにレファレンスサービスの充実や地域、市民の課題解決を支援する機能の充実に努め、地域を支える情報拠点を目指します。

II 重点施策

1 図書館資料の整備・充実

- (1) 市民の多種多様な要望に応えるため、新刊図書、雑誌、新聞、大活字本等の整備充実に努めます。
- (2) 郷土資料の収集保存及び近世・近代文書の整理・解説に努めます。
- (3) CD・DVD等視聴覚資料の充実に努めます。

2 読書推進事業の充実

- (1) 読書ボランティアグループ、家庭、地域、学校等と連携を深め、読書活動を推進します。
- (2) 小学生を対象とした体験型事業に取り組み、読書への関心と理解を深める機会の提供に努めます。

3 図書館奉仕の充実

- (1) 利用者からのリクエスト、蔵書予約、相互貸借等サービスの向上に努めます。
- (2) レファレンスサービスの充実と利用促進に努めます。
- (3) 市民のだれもが、いつでも、どこでも気軽に利用できるよう、中央館、分館、自動車文庫のサービス網と施設の整備に努めます。
- (4) 施設見学や職場体験等を積極的に受け入れ、理解と利用促進に努めます。

4 視聴覚ライブラリー事業の推進

- (1) 視聴覚教材・機器の整備、貸出、こども映画会の開催など視聴覚教育を推進します。

平成24年度 主要事業計画一覧

(単位：千円)

区分	期 日	事 業 名	内 容	場 所 等	対 象	事 業 費
会議	年2回	北 上 市 立 図書館協議会	図書館運営に関する審議・答申	中央図書館	協議会委員	103
資料	年 間	資 料 整 理	コンピュータ処理による図書、郷土資料等の整理	中央図書館		10,001
	年 間	資料の充実	1 市民のニーズに対応した図書資料の充実 2 基本図書の計画的整備 3 近世・近代文書、郷土・行政資料等の市内出版物の収集・保存	中央図書館 江釣子図書館 和賀図書館	市民	図書購入 11,437 新聞・雑誌 1,433 新聞製本 651
奉仕	年 間	奉仕活動の充実（館内外、移動図書館）	1 図書館利用の促進及び拡大 2 コンピュータ処理による貸出し、返却、検索等の迅速化 3 本館・分館・自動車文庫における効率的機能分担でのサービス提供 4 図書館業務に係る調査等の適切な処理 5 市民の要望に対応した図書資料の速やかな提供 6 読書相談への積極的な助言指導 7 遠距離・障がい者支援として自宅配送貸出の実施	中央図書館 江釣子図書館 和賀図書館	市民	管理運営 21,278
読書 普及	4月	読書のつどい	「図書館探検隊」として児童生徒の館内資料調査	中央図書館	児 童	8
	7月・2月 ほか	手作り絵本展等	手づくり絵本展、文学賞受賞作品展、読書郵便展等	中央図書館	市 民	9
	9月・11月	図書館資料展と講演会	所蔵資料の展示と講演会	中央図書館	市 民	31
	4～3月	おはなし会	読書団体の協力による素話、絵本、紙芝居等の読み聞かせ	中央図書館 江釣子図書館 和賀図書館	市 民	58
	年 間	図書館ボランティア	書架整理や子ども連れの利用者支援等、読書環境整備	中央図書館	市 民	6
	年20回	こども映画会	映画会の開催と関連資料の展示	中央・江釣子 和賀図書館 ほか	市 民	16
	8月・1月	体験1日図書館司書	小学5・6年による 図書館業務の体験	中央図書館	児 童	2
	10月	読書ボランティアグループ発表交流会	読書ボランティアグループの実践活動の紹介と意見交換等を含めた交流会	中央図書館	読書団体	29
	年 間	読書団体等	「北上っ子読書活動推進プラン」に基づく読書団体・地域文庫等の関係団体との連携・協力の推進	中央図書館	読書団体 地域文庫	40
研修	年 間	職 員 研 修	1 各種研究会への参加 2 図書館事業に係る調査・研究への参加	北日本図書館連盟 岩手県図書館協会	職員・ボランティア	14
広報	随 時	啓蒙・情報提供	利用案内、新刊紹介、行事紹介、自動車文庫運行表等利用促進に関するPR全般	中央図書館 江釣子図書館 和賀図書館	市 民	
視聴覚 ライブラリー 推進	年 間	視聴覚ライブラリー	視聴覚教育の推進、ライブラリーによる教材機器の利用促進	中央図書館	市 民	436

社 会 体 育

平成 24 年度社会体育の方針と重点目標

1 基本方針

健やかな心身を育む豊かなスポーツライフの実現をめざし、地域、学校、関係機関・団体と連携を図りながら、だれもがその年代や体力に応じて、楽しみながら体力向上や健康維持ができるように、スポーツをする機会の拡充に努めます。

平成 28 年度第 71 回国民体育大会に向けて、北上市準備委員会を立ち上げ、会場となる施設の整備と競技力の向上、市民の盛り上げを図る取り組みを行います。

2 重点目標と施策

(1) だれもが気軽に親しめるスポーツの振興

① 高齢者向けのスポーツ教室の開設

- ・ 高齢者筋力向上トレーニング教室

教室開催 2 地区で延べ 20 回開催 目標設定／延べ 400 人 事業費 117 千円 講師謝金等

② スポーツをする機会の拡充

総合型地域スポーツクラブの活動運営を支援するとともに、高齢者でも身近な場所で手軽にできるスカットボールやスロービーなどのニュースポーツを出前講座で普及します。

体育協会等スポーツ団体と連携し、キッズスポーツ大好き教室やエアロビクス教室、いきいきシニア倶楽部などを開催します。

(2) ステップアップを目指した競技スポーツの推進

① スポーツ大会等の招致

- ・ 東北大会規模以上の大会誘致に努める。
- ・ 大学生スポーツ合宿事業により大学生のスポーツ合宿招致に努める。

② 小中学生選手強化事業

体育協会や関係団体と連携し、(仮称)北上市スポーツ選手強化本部を設置し、2 巡目岩手国体に向けての選手強化を図りながら、市内全体の競技力向上を目指します。

③ いわて北上マラソン大会の新公認コースを設定し、さらなる充実を図る。

- ・ 参加者目標 2,000 人

④ 各種大会参加等への支援

- ・ 参加費補助 1,500 千円 県民体補助 1,500 千円 開催費補助 1,400 千円

(3) スポーツ環境の整備と充実

① スポーツ環境の整備

北上陸上競技場整備事業 233,250 千円

和賀川グリーンパーク駐車場整備事業 73,000 千円

② 指定管理者との連携を密にし、施設利用情報の提供など利用者サービスの充実を図る。

平成24年度北上市社会体育主要事業計画

区分	事業名	期 日	場 所	内 容	対 象
会議	スポーツ推進審議会	8月・2月	北上総合体育館	スポーツ振興に関する重要事項の諮問・審議	委員
	スポーツ推進委員会議	4月・9月・3月	北上地区合同庁舎	スポーツ振興事業への参画	スポーツ推進委員
	スポーツ指導者連絡会議	12月	北上総合体育館	指導体制の確立・競技力向上の検討	指導者等
研修・講習	スポーツ推進委員研修会等派遣	6月30日	二戸市	スキルアップ研修会	スポーツ推進委員
		8月24日、25日	宮城県	東北地区スポーツ推進委員研修会	
		9月14日、15日	花巻市	岩手県スポーツ推進委員研修会	
	職員研修派遣	年間	県内外	職員の資質向上	職員
スポーツ教室	高齢者筋力向上トレーニング教室	年間	市内2地区ほか	高齢者の筋力向上や運動習慣を身につける	65歳以上の市民
	中高年スポーツ教室	6月・10月・12月・2月	市内体育施設	ニュースポーツを中心としたスポーツ大会の開催	中高年
	各種スポーツ教室	年間	市内体育施設	スポーツの日常化を目指し、健康・体力増進を図る	市民
主催事業	2012いわて北上マラソン大会・全日本マスターズマラソン選手権大会	10月7日	北上陸上競技場発着	フルマラソン・10km	全国のランナー
	第52回奥羽横断駅伝競走大会	11月2日、3日、4日	北上・横手・由利本荘	岩手・秋田両県の交流と競技力の向上	高校生・一般選手
	第39回横手・大船渡・由利本荘・北上四市親善家庭婦人バレーボール大会	9月	横手市	四市クラブチームの交流大会	家庭婦人
選手強化事業	選手強化・指導者養成（北上市体育協会委託）	5月～3月	市内体育施設	スポーツ講演・ジュニア選手強化・指導者養成講習会等	小中高生～一般指導者
共催事業	第22回北上市民体育大会	4月～12月	市内体育施設	市民の体力向上と各地域の交流（22競技）	小学生～一般
	第57回平和駅伝継走大会	5月3日	北上陸上競技場発着	競技力の向上	県内中学生～一般
	第22回北上市地区対抗駅伝競走大会	9月23日	北上陸上競技場発着	競技力の向上	小学生～一般
	第22回北上市民ロードレース大会	10月7日	北上陸上競技場発着	市民の健康増進と体力づくり	小学生～一般
	第21回北上市民オリエンテーリング大会	11月	展勝地周辺	市民の健康増進と体力づくり	小学生～一般
	第11回北上市小学生雪合戦大会	2月	北上陸上競技場	冬季の健康増進と体力づくり	小学生
	第22回北上市民スキー大会アルペンの部・クロスカントリーの部	2月	北上総合運動公園・夏油高原スキー場	スキーを通じ、市民の健康増進と体力づくり	小学生～一般

区分	事業名	期 日	場 所	内 容	対 象
普及事業	ニュースポーツの普及	年間	市内各所	出前講座等によるニュースポーツの普及	市民
	広報活動	年間		スポーツレクレーションに関する各種情報の提供	市民・体育協会・スポーツ団体
その他	総合型地域スポーツクラブ育成事業	年間	市内各所	総合型地域スポーツクラブの情報交換、啓発、支援、連携、育成指導	総合型地域スポーツクラブ・市民
顕彰	体育功労等の顕彰	3月中旬	さくらホール	市のスポーツ振興に顕著な功績のあった人・団体及びスポーツ大会において優秀な成績を収めた人・団体を表彰	市民等
育成・助成	スポーツ団体等の育成・助成	年間		・(財)北上市体育協会への支援と連携及び競技団体への助成 ・大会開催及び大会参加団体、個人への助成	市内体育団体および市民
保険	スポーツ障害保険への加入奨励	年間		スポーツ活動に伴う事故の賠償及び保障	市民
体育施設	体育施設の整備・活用	年間	市内体育施設	体育施設の維持、整備と効率的な活用の促進	市民
	学校体育施設の開放	年間	市内小中学校	学校体育施設の開放と促進	市民
その他	スポーツ大会への共催・後援	年間		北上市共催・後援	
				北上市教育委員会共催・後援	
	大会参加費補助事業	年間		東北・全国大会出場選手への助成	
	大会開催費補助事業	年間		県・東北・全国大会開催費の助成	

■施設整備関係

事業名	内 容	備 考
北上陸上補助競技場整備事業	陸上走路等改修、日本陸連三種公認更新	
和賀川グリーンパーク駐車場整備事業	駐車場整備(約5,000㎡)	
旧展勝地野球場トイレ整備事業	トイレ1棟建築	

芸術文化・文化財

平成24年度芸術文化と文化財行政の方針と重点施策

I 基本方針

北上市教育振興基本計画及び平成24年度教育行政施策の基本方針に基づき、地域の輝く芸術文化の再発見と振興を図るため、第5回利根山光人記念大賞展「トリエンナーレ・きたかみ」、第16回となるサトウハチロー記念「おかあさんの詩」全国コンクールなどの事業を開催し、全国へ情報を発信するとともに市民が気軽に親しめる環境づくりに努めます。

また、地域の芸術文化の再発見と振興を図るため、地域に残る文化財の保護と保存、民俗芸能の育成と伝承活動の推進、歴史的空間の確保と活用に努めます。

II 重点施策

1 芸術文化活動の推進

- (1) 市民芸術祭、市民劇場や北上地区高校合同作品展は、市民の芸術発表と鑑賞の機会として関心が高まっており、これらの活動を引き続き支援します。
- (2) 郷土の先人画家の作品を鑑賞する機会として利根山光人記念美術館で企画展を開催します。また、感受性豊かな時期の子どもたちが、質の高い芸術文化に触れる機会得られるように青少年鑑賞事業への支援を行います。
- (3) 詩歌文学館賞贈賞式、サトウハチロー記念「おかあさんの詩」全国コンクール、利根山光人記念大賞展「トリエンナーレ・きたかみ」の開催を通じて芸術文化のまちづくりを推進し、全国への発信と交流を行っていきます。
- (4) 第16回を迎える「おかあさんの詩」全国コンクールでは、詩の募集対象を20才以下とし、青少年に対する詩を通じた心の教育や文化交流を一層推進します。
- (5) 利根山光人の功績をたたえ、新たな現代芸術を発信するため、第5回となる「トリエンナーレ・きたかみ」を開催します。
- (6) 芸術文化の向上や発展に対し優れた功労があった個人または団体を表彰し、芸術文化の振興に努めます。
- (7) 日本現代詩歌文学館及びさくらホールの施設維持を適切に行い、市民の文化活動の拠点としての利用を促進します。

2 地域に残る文化財の保護と保存

- (1) 八天遺跡など史跡の適正な維持管理に努めます。
- (2) 文化財悉皆調査の一環として、地域に伝承されている年中行事について調査を行います。
- (3) 各種開発事業計画と埋蔵文化財保護との調整及び遺跡の発掘調査を行います。
- (4) 北上の歴史文化を解明するため、重要遺跡について学術調査を行います。

3 民俗芸能の育成と伝承活動の推進

- (1) 民俗芸能団体へ芸能用具等整備費の補助を行います。
- (2) 民俗芸能団体連合会への活動支援を行います。

4 歴史的空間の確保と活用

- (1) 多聞院伊澤家住宅及び樺山歴史の広場を公開して活用に努めます。
- (2) 史跡の保存と活用を図るため、史跡江釣子古墳群の公有化を推進します。
- (3) 埋蔵文化財展、写真展及び発掘調査報告会などを開催し、発掘調査成果を展示公開することで、埋蔵文化財愛護意識の啓発に努めます。

平成24年度芸術文化主要事業計画

(単位 千円)

主 要 施 策	事 業 名	内 容	期 日	場 所	対象者	事業費
(1) 芸術文化活動の支援	北上市民芸術祭開催費補助金	市民芸術祭の開催補助	8月～2月	市内	一般	7,000
	北上市民劇場開催費補助金	市民劇場の開催補助	2月	さくらホール	一般	1,700
	北上地区高等学校合同作品展開催事業	北上地区の高校生の作品展の開催(写真、華道、美術・工芸、書道、茶道)	1月～2月	市民交流プラザ・リボン橋ほか	一般	134
	利根山光人記念美術館企画事業	企画展等の開催(絵画教室、アートワークショップ)	4月～11月	利根山光人記念美術館	児童～一般	200
	青少年鑑賞事業補助金	市内小学校児童の芸術鑑賞事業への補助	11月	さくらホール	3,4年生	1,800
	北上市芸術文化協会活動費補助金	芸術文化協会活動費の補助	年間	市内	会員	280
	芸術文化功労顕彰事業	芸術文化の功労者、団体を顕彰	3月	さくらホール	個人・団体	148
	トリエンナーレ・きたかみ開催費補助金	利根山光人の顕彰、絵画の募集と実行委員会の開催	表彰式 8月5日	生涯学習センターほか	一般	5,000
	イベント等共催事業	市民の企画によるイベント等の支援(利用料の一部負担)	年間	さくらホール	団体等	400
(2) 詩歌のまちづくりの推進	「おかあさんの詩」全国コンクール開催費補助金	サトウハチローの顕彰、「母」をテーマとした詩の募集	表彰式 11月17日	さくらホール	20歳以下	3,000
(3) 文化施設の整備等	文化交流センターさくらホール施設整備事業	長期修繕計画による施設整備	年間		さくらホール	9,373
	文化交流センターさくらホール管理事業	さくらホールの指定管理委託	年間		(財)北上市文化創造	196,606
	文化交流センターさくらホール備品購入事業	使用する備品の更新	年間		さくらホール	600
	(財)北上市文化創造運営費補助金	(財)北上市文化創造の運営費補助	年間		(財)北上市文化創造	63,450
	利根山光人記念美術館管理事業	利根山光人記念美術館の管理	年間		利根山光人記念美術館	3,536
	日本現代詩歌文学館管理事業	日本現代詩歌文学館の指定管理委託	年間		日本現代詩歌文学館運営協会	116,868
	日本現代詩歌文学館振興会運営費補助金	日本現代詩歌文学館振興会の運営費補助	年間		日本現代詩歌文学館振興会	4,750
	日本現代詩歌文学館施設整備改修事業	研究センター空調室外機修繕ほか	年間		日本現代詩歌文学館	991

平成24年度文化財行政主要事業計画

(単位：千円)

主要施策	事業名	内 容	期 日	場 所	対象者	事業費
地域に残る文化財の保護と保存	文化財保護審議会委員設置事業	文化財保護に関する審議	8、11月	埋蔵セ	審議会委員	113
	史跡管理事業	国指定史跡等の草刈り、樹木の間伐、害虫防除等	通年	市内	9遺跡 18カ所	2,343
	文化財悉皆調査記録保存事業	戦前・戦中世代が伝承してきた地域の年中行事について、聞き取り調査と関連資料の調査	通年	市内		150
	文化財説明板等整備事業	老朽化した説明板の更新や新規説明板の設置	9月	和賀町横川目ほか	市指定文化財	255
	文化財収蔵庫整備事業	廃止した旧江釣子民俗資料館を文化財収蔵庫として活用するための改修工事	9～10月	上江釣子	旧江釣子民俗資料館	3,700
	遺跡発掘調査事業	公共事業や民間開発事業と埋蔵文化財保護との調整 試掘調査及び緊急発掘調査（個人住宅建設関係：国庫補助） 出土遺物の保存処理（国庫補助） 発掘調査員設置	通年	市内		12,509
		公共事業関連の緊急発掘調査	随時	市内		5,048
		民間開発関連の受託調査	随時	相去町		3,232
	内容確認調査事業	国指定史跡である国見山廃寺跡の学術調査(国庫補助)	通年	稲瀬町		2,354
民俗芸能の育成と伝承活動の推進	民俗芸能団体育成等補助金	民俗芸能団体の芸能用具等整備費補助	通年		民俗芸能団体	579
		北上市民俗芸能団体連合会運営費補助と活動支援	通年		連合会	192

主要施策	事業名	内 容	期 日	場 所	対象者	事業費
歴史的空間の確保と活用	伊澤家住宅管理事業	重要文化財伊澤家住宅の公開と維持管理 (公開は11月末日まで)	通年	和賀町岩沢		1,518
	樺山歴史の広場管理事業	樺山歴史の広場の活用と管理運営(指定管理) (公開は11月末日まで)	通年	稲瀬町		4,500
	史跡江釣子古墳群等購入事業	史跡の保存と活用を図るための国指定史跡江釣子古墳群の土地購入(国庫補助)	7～2月	八幡支群	2筆829㎡	10,370
	資料等公開事業	埋蔵文化財展 発掘調査報告会・講演会 埋蔵文化財写真展 発掘調査現地説明会ほか	1月10～14日 1月19日 11～12月 随時	さくら野催事場 文学館 パルほか 現地	市民	327

<参考>

北上 の 指 定 文 化 財 一 覧

(平成24年4月1日現在)

国指定文化財

区 分	種 類	名 称 等	指 定 年 月 日	所在地又は所有者等
有形文化財	重要文化財 (彫 刻)	木造毘沙門天立像 (1体)	昭和4(1929)年4月6日(国宝) 昭和25(1950)年5月30日 (法改正により重文指定)	万福寺(立花 毘沙門堂)
		木造二天王立像 (2体)	昭和4(1929)年4月6日(国宝) 昭和25(1950)年5月30日 (法改正により重文指定)	万福寺(立花 毘沙門堂)
		銅竜頭 (4頭)	昭和54(1979)年6月6日	極楽寺(稲瀬町) 2頭は市立博物館に展示
	重要文化財 (工芸品)	銅錫杖頭 (1柄)	昭和54(1979)年6月6日	極楽寺(稲瀬町) 市立博物館に展示
		岩手県八天遺跡土壇出土品 (耳、鼻、口形土製品8点)	平成4(1992)年6月22日	市立博物館(国)
	重要文化財 (建造物)	旧菅野家住宅(主屋・表門)	昭和40(1965)年5月29日(主屋) 昭和51(1976)年5月20日(表門)	みちのく民俗村(北上市)
		多聞院伊澤家住宅 (久那斗神社里宮含む)	平成2(1990)年9月11日	和賀町岩沢(北上市・久那斗神社)
民俗文化財	重要無形 民俗文化財	鬼剣舞 (4団体一括指定の内、市内2団体)	平成5(1993)年12月13日	岩崎鬼剣舞保存会(和賀町岩崎) 滑田鬼剣舞保存会(滑田)
記 念 物	史 跡	樺山遺跡	昭和52(1977)年7月14日	樺山歴史の広場(稲瀬町)
		八天遺跡	昭和53(1978)年2月22日	更木
		江釣子古墳群	昭和54(1979)年9月10日 昭和55(1980)年3月24日(追加)	北鬼柳・上江釣子・和賀町長沼
		南部領伊達領境塚	平成12(2000)年1月31日	相去町ほか
		国見山廃寺跡	平成16(2004)年9月30日	稲瀬町
		ニホンカモシカ	昭和9(1934)年5月1日 (天然記念物指定)	地域を定めない指定
	特 別 天然記念物		昭和55(1980)年2月15日 (特別天然記念物指定)	
		夏油温泉の石灰華	昭和16(1941)年2月28日 (天然記念物指定)	和賀町岩崎新田夏油山国有林
			昭和32(1957)年6月19日 (特別天然記念物指定)	

県指定文化財

区 分	種 別	名 称 等	指 定 年 月 日	所在地又は所有者等
有形文化財	彫 刻	木造釈迦三尊坐像 (3体)	昭和29(1954)年4月5日	如意輪寺 (稲瀬町)
		木造神像立像 (1体)	昭和29(1954)年4月5日	万蔵寺 (口内町) 市立博物館に展示
		木造十一面観音立像 (1体)	昭和40(1965)年3月19日	白山神社 (黒岩) 市立博物館に展示
		木造男神坐像 (1体)	昭和40(1965)年3月19日	白山神社 (黒岩) 市立博物館に展示
		木造蔵王権現像 (1体)	昭和44(1969)年6月6日	白山神社 (黒岩) 市立博物館に展示
		木造薬師如来坐像 (1体)	昭和52(1977)年4月26日	万蔵寺 (口内町)
		木造十一面観音立像 (2体)	昭和52(1977)年4月26日	万蔵寺 (口内町) 市立博物館に展示
		木造男神立像 (2体)	昭和52(1977)年4月26日	万蔵寺 (口内町) 1体は市立博物館に展示
		木造女神立像 (1体)	昭和52(1977)年4月26日	万蔵寺 (口内町) 市立博物館に展示
		木造聖観音立像 (2体)	昭和52(1977)年4月26日	万蔵寺 (口内町)
	木造不動明王立像 (1体)	昭和52(1977)年4月26日	黒岩 (個人所有)	
典 籍	春日版法華経 (8巻)	昭和55(1980)年3月4日	染黒寺 (川岸)	
工 芸 品	刀 (銘：月山、応永三年八月日)	昭和50(1975)年3月4日	和賀町岩崎 (個人所有)	
考古資料	極楽寺石塔婆 (8基)	昭和50(1975)年3月4日	極楽寺 (稲瀬町)	
	南部工業団地内遺跡出土品 (2点)	平成20(2008)年3月4日	市立埋蔵文化財センター (北上市)	
	上須々孫館経塚出土品 (6点)	平成20(2008)年3月4日	市立埋蔵文化財センター (北上市)	
有形文化財	建 造 物	鹿島神社宮殿	昭和41(1966)年3月8日	鬼柳町 (個人所有)
		白山神社本殿	平成2(1990)年5月1日	白山神社 (黒岩)
民俗文化財	有 形 民俗文化財	まいりのほとけ (立像1体)	昭和56(1981)年3月31日	口内町 (個人所有)
		まいりのほとけ (画像4幅)	昭和63(1988)年1月18日	口内町 (個人所有)
		まいりのほとけ (画像5幅)	昭和63(1988)年1月18日	口内町 (個人所有)
		まいりのほとけ (画像3幅)	昭和63(1988)年1月18日	稲瀬町 (個人所有)
		まいりのほとけ (画像1幅)	昭和63(1988)年1月18日	洞泉寺 (相去町)
		花巻人形の型 (25組半)	昭和63(1988)年1月18日	市立博物館 (北上市)
		旧岩手県立農業博物館収集生業生活資料 (3,871点)	平成10(1998)年10月23日	岩手県立農業科学博物館 (岩手県)
	無 形 民俗文化財	春田打	昭和58(1983)年1月4日	春田打保存会 (下江釣子)
		煤孫ひな子剣舞	平成元(1989)年8月1日	煤孫ひな子剣舞保存会 (和賀町煤孫)
		道地ひな子剣舞	平成元(1989)年8月1日	道地ひな子剣舞保存会 (和賀町藤根)
		和賀の大乗神楽 (5団体一括指定の内、市内4団体)	平成13(2001)年5月11日	和賀大乗神楽保存会 (和賀町煤孫) 村崎野大乗神楽保存会 (村崎野) 宿大乗神楽講中 (二子町) 上宿和賀神楽連中 (二子町)
記 念 物	史 跡	新平遺跡	昭和38(1963)年12月24日	新平
		二子・成田一里塚 (各一對)	昭和40(1965)年3月19日	二子町・村崎野・成田
		下門岡ひじり塚	昭和44(1969)年6月6日	稲瀬町
		大竹廃寺跡	昭和54(1979)年2月27日	更木
	天然記念物	小鳥崎の大カヤ	昭和44(1969)年6月6日	小鳥崎 (個人所有)

市指定文化

区 分	種 別	名 称 等	指 定 年 月 日	所在地又は所有者等
有形文化財	彫 刻	木造毘沙門天立像 (1 体)	昭和31(1956)年 9 月 8 日	万福寺 (立花 毘沙門堂)
		銅造勢至菩薩立像 (1 体)	昭和31(1956)年 9 月 8 日	更木 (個人所有)
		木造如意輪観音坐像 (1 体)	昭和53(1978)年 5 月 23 日	如意輪寺 (稲瀬町)
		木造慧光童子立像 (1 体)	昭和53(1978)年 5 月 23 日	毘沙門堂 (立花)
		木造吉祥天立像 (1 体)	昭和55(1980)年 4 月 21 日	万蔵寺 (口内町)
		荻田嶺神社の仏像 (4 体)	昭和61(1986)年 5 月 26 日	荻田嶺神社 (和賀町横川目)
		木造修験開山坐像 (1 体)	昭和61(1986)年 5 月 26 日	和賀町岩崎 (個人所有)
		木造神父立像 (1 体)	昭和61(1986)年 5 月 26 日	和賀町岩崎 (個人所有) 岩崎地区交流セに展
		戸花館山神社の山神像 (一対 2 体)	昭和62(1987)年 6 月 12 日	山神社 (和賀町横川目)
	工 芸 品	木製華鬘	昭和55(1980)年 4 月 21 日	白山神社 (黒岩) 市立博物館に展示
		刀 (銘: 正中、明治二己巳年二月吉日)	昭和57(1982)年 4 月 5 日	川岸 (個人所有)
		刀 (銘: 奥州盛岡住斎藤正中造之、 文久二壬戌年八月吉星)	昭和57(1982)年 4 月 5 日	諏訪町 (個人所有)
		脇差 (銘: 岡山備前介藤原宗次尽影宗明之、 安政四年二月吉日)	昭和57(1982)年 4 月 5 日	諏訪町 (個人所有)
		脇差 (銘: 正中作、 別家八重樫佐仲為子孫長久)	昭和57(1982)年 4 月 5 日	川岸 (個人所有)
		舞草刀 (銘: 助忠)	昭和57(1982)年 4 月 5 日	稲瀬町 (個人所有)
		食事用盆、四ツ椀 (三組)、指樽	昭和59(1984)年 3 月 27 日	口内町 (個人所有)
		銅造薬師如来坐像懸仏	昭和61(1986)年 5 月 26 日	光明院 (和賀町後藤)
		銅造牛頭天王坐像懸仏	昭和61(1986)年 5 月 26 日	八坂神社 (和賀町横川目)
		寛永八年銘銅鰐口	昭和61(1986)年 5 月 26 日	愛宕神社 (和賀町横川目)
		延宝五年銘銅鰐口	昭和61(1986)年 5 月 26 日	人当神社 (和賀町仙人)
	歴史資料	血脈「板木」	昭和55(1980)年 4 月 21 日	黒岩 (個人所有)
		牛王板	昭和55(1980)年 4 月 21 日	毘沙門堂 (立花)
		岩崎劍舞秘伝書「念仏劍舞傳 全」	昭和57(1982)年 9 月 16 日	和賀町岩崎 (個人所有) 鬼の館に展示
		岩崎駒形神社里宮駒形信仰資料 (36点)	平成3(1991)年 2 月 15 日	駒形神社里宮 (和賀町岩崎)
		旧煤孫寺駒形信仰資料 (3点)	平成3(1991)年 2 月 15 日	和賀町煤孫 (個人所有)
		南部領伊達領境資料 (絵図2枚)	平成23(2011)年 2 月 3 日	和賀町岩崎 (個人)
		鬼柳関茶湯釜 (1口)	平成23(2011)年 2 月 3 日	和賀町後藤 (個人)
	考古資料	常滑三筋壺	昭和53(1978)年 5 月 23 日	新山神社 (口内町) 市立博物館に展示
		元亨三年銘阿弥陀三尊種子石塔婆	昭和60(1985)年 7 月 29 日	和賀町煤孫 (個人)
		阿弥陀如来種子石塔婆	昭和60(1985)年 7 月 29 日	和賀町岩崎新田 (個人)
		パン状炭化物 (3点)	平成9(1997)年 8 月 28 日	市立博物館 (北上市)
		風字硯 (1点)	平成9(1997)年 8 月 28 日	市立博物館 (北上市)
		緑釉皿片 (2点)	平成9(1997)年 8 月 28 日	市埋蔵文化財センター (北上市)
		緑釉陶器片 (1点)	平成9(1997)年 8 月 28 日	市立博物館 (北上市)
		薬師堂板碑	平成10(1998)年 10 月 16 日	如意輪寺 (稲瀬町)
		大畑屋敷板碑	平成10(1998)年 10 月 16 日	口内町 (個人)
		全明寺板碑	平成10(1998)年 10 月 16 日	全明寺 (下江釣子)
		五輪山板碑	平成10(1998)年 10 月 16 日	更木 (個人)
		五輪山宝篋印塔	平成10(1998)年 10 月 16 日	更木 (個人)
		相去遺跡群出土土師器皿	平成12(2000)年 3 月 17 日	市立博物館 (北上市)
		上大谷地遺跡出土須恵器大甕 (2口)	平成12(2000)年 3 月 17 日	市立博物館 (北上市)
		藤沢遺跡出土須恵器大甕 (1口)	平成12(2000)年 3 月 17 日	市立博物館 (北上市)
	建 造 物	旧大泉家住宅	平成9(1997)年 8 月 28 日	みちのく民俗村 (北上市)
		旧渡辺家門	平成9(1997)年 8 月 28 日	みちのく民俗村 (北上市)
		多岐神社本殿・棟札	平成10(1998)年 10 月 16 日	多岐神社 (立花)
		旧菅原家住宅 (主屋・中門・馬屋)	平成10(1998)年 10 月 16 日	みちのく民俗村 (北上市)
		旧佐々木家住宅	平成12(2000)年 3 月 17 日	みちのく民俗村 (北上市)
		旧北川家住宅	平成13(2001)年 2 月 23 日	みちのく民俗村 (北上市)
		白鳥神社本殿・棟札 1 枚	平成13(2001)年 2 月 23 日	白鳥神社 (二子町)
		旧仙台藩寺坂番所	平成15(2003)年 5 月 1 日	みちのく民俗村 (北上市)
		旧修験宝珠院道場	平成15(2003)年 5 月 1 日	みちのく民俗村 (北上市)
		旧今野家住宅	平成17(2005)年 1 月 4 日	みちのく民俗村 (北上市)
		旧小野寺家住宅	平成18(2006)年 10 月 2 日	みちのく民俗村 (北上市)
		旧菅原家住宅	平成18(2006)年 10 月 2 日	みちのく民俗村 (北上市)
		旧高橋家外馬屋	平成18(2006)年 10 月 2 日	みちのく民俗村 (北上市)
		旧星川家住宅	平成18(2006)年 10 月 2 日	みちのく民俗村 (北上市)
民俗文化財	有 形 民俗文化財	船絵馬 (享和元年銘)	昭和55(1980)年 4 月 21 日	鬼柳八幡宮 (鬼柳町)
		船絵馬 (文政九年銘)	昭和55(1980)年 4 月 21 日	鬼柳八幡宮 (鬼柳町)
		船絵馬 (天明五年銘)	昭和55(1980)年 4 月 21 日	鬼柳八幡宮 (鬼柳町)
		板札型船絵馬 (元禄八年銘)	昭和55(1980)年 4 月 21 日	鬼柳八幡宮 (鬼柳町)
		阿弥陀如来四十八光仏画像	昭和57(1982)年 4 月 5 日	口内町 (個人所有)
		雲中地藏画像	昭和57(1982)年 4 月 5 日	口内町 (個人所有)
		黒駒太子画像	昭和57(1982)年 4 月 5 日	口内町 (個人所有)
		放光阿弥陀如来画像	昭和57(1982)年 4 月 5 日	川岸 (個人所有)
		放光阿弥陀如来画像	昭和57(1982)年 4 月 5 日	川岸 (個人所有)
		阿弥陀三尊付連坐御影画像	昭和57(1982)年 4 月 5 日	川岸 (個人所有)
		六字名号書幅	昭和57(1982)年 4 月 5 日	川岸 (個人所有)
		黒駒太子画像	昭和57(1982)年 4 月 5 日	川岸 (個人所有)
		聖徳太子曼荼羅	昭和59(1984)年 3 月 27 日	稲瀬町 (個人所有)
		當国三拾番御詠歌奉納額 (1枚)	昭和61(1986)年 5 月 26 日	和賀町煤孫 (個人所有)
		當国二拾八番所巡礼納札 (6 枚)	昭和62(1987)年 6 月 12 日	和賀町藤根 (個人所有)
	無 形 民俗文化財	台笠	昭和48(1973)年 9 月 12 日	台笠保存会 (滑田)
		荒屋田植踊	昭和48(1973)年 9 月 12 日	荒屋田植踊保存会 (上江釣子)
		御免町鬼剣舞	昭和48(1973)年 9 月 12 日	御免町鬼剣舞保存会 (下江釣子)
		立花念仏剣舞	昭和56(1981)年 2 月 25 日	立花念仏剣舞保存会 (立花)

区 分	種 別	名 称 等	指 定 年 月 日	所在地又は所有者等
民俗文化財	無 形 民俗文化財	立花八土踊	昭和57(1982)年4月5日	立花八土踊保存会（立花）
		切留田植踊	昭和57(1982)年9月16日	切留田植踊保存会（和賀町仙人）
		後藤奴踊	昭和57(1982)年9月16日	後藤奴踊保存会（和賀町後藤）
		横川目神楽	昭和57(1982)年9月16日	横川目神楽保存会（和賀町横川目）
		谷地鬼剣舞	昭和58(1983)年6月15日	谷地鬼剣舞保存会（上江釣子）
		全明寺盆踊	昭和58(1983)年6月15日	全明寺盆踊保存会（上・下江釣子）
		中野大神楽	昭和60(1985)年7月29日	中野大神楽保存会（和賀町藤根）
		北藤根鬼剣舞	昭和60(1985)年7月29日	北藤根鬼剣舞保存会（和賀町藤根）
		横川目上場盆踊	昭和62(1987)年6月12日	横川目上場盆踊保存会（和賀町横川目）
		夏油神楽	平成3(1991)年2月15日	夏油神楽保存会（和賀町岩崎新田）
		横川目表田植踊	平成3(1991)年2月15日	横川目表田植踊保存会（和賀町横川目）
		煤孫中通り田植踊	平成3(1991)年2月15日	煤孫中通り田植踊保存会（和賀町煤孫）
		二子鬼剣舞	平成3(1991)年11月1日	二子鬼剣舞保存会（二子町）
		飯豊鬼剣舞	平成3(1991)年11月1日	飯豊鬼剣舞保存会（飯豊）
		口内鬼剣舞	平成3(1991)年11月1日	口内鬼剣舞保存会（口内町）
		相去鬼剣舞	平成3(1991)年11月1日	相去鬼剣舞保存会（相去町）
		鬼柳鬼剣舞	平成3(1991)年11月1日	鬼柳鬼剣舞保存会（鬼柳町）
		更木神楽	平成9(1997)年8月28日	早池峰岳流更木神楽保存会（更木）
		綾内神楽	平成9(1997)年8月28日	早池峰嶽流綾内神楽保存会（口内町）
		口内薩摩奴踊	平成10(1998)年10月16日	口内薩摩奴踊保存会（口内町）
		行山流口内鹿踊	平成10(1998)年10月16日	行山流口内鹿踊保存会（口内町）
		鳥喰太神楽	平成10(1998)年10月16日	鳥喰太神楽保存会（二子町）
		口内田植踊	平成12(2000)年3月17日	口内田植踊保存会（口内町）
		鳩岡崎座敷田植踊	平成12(2000)年3月17日	鳩岡崎座敷田植踊保存会（鳩岡崎）
		伊勢流黒岩太神楽	平成18(2006)年10月2日	黒岩太神楽保存会（黒岩）
記 念 物	史 跡	白山廃寺跡	昭和31(1956)年9月8日	黒岩
		横町廃寺跡	平成6(1994)年12月1日	立花
	天然記念物	仙人峠の姥スギ	昭和57(1982)年2月25日	和賀町仙人（仙人続山国有林）
		山口八幡宮のスギ	昭和57(1982)年2月25日	山口八幡宮（和賀町山口）
		正雲寺跡のイチョウ	昭和57(1982)年2月25日	和賀町岩崎（個人所有）
		押切熊野山神社のケヤキ	昭和57(1982)年2月25日	押切熊野山神社（和賀町横川目）
		鳥谷脇のサクラ	昭和57(1982)年2月25日	和賀町横川目（個人所有）
		煤孫のカヤ	昭和57(1982)年2月25日	和賀町煤孫（個人所有）
		黒沢尻の大櫓	昭和58(1983)年4月15日	本通り二丁目（北上市）
		丹内神社のケヤキ	平成3(1991)年2月15日	丹内神社（和賀町横川目）
		鬼柳八幡神社のイチョウ	平成15(2003)年3月3日	鬼柳八幡神社（鬼柳町）
		二子町下川端のイチョウ	平成15(2003)年3月3日	二子町（個人所有）

国登録有形文化財

名 称 等	登 録 年 月 日	所在地又は所有者
北上市立博物館付属民俗資料館（旧黒沢尻実科高等学校校舎）	平成11(1999)年8月23日	みちのく民俗村（北上市）

平成 24 年度財団法人北上市文化創造運営方針

I 方針

本法人の目的は、寄附行為第 3 条において、北上市民及び岩手中部地区広域市町村圏の住民に対し、質の高い芸術の鑑賞・体験の機会の提供、住民自らの創造的な文化活動への支援などを推進し、心豊かな地域社会の形成に寄与することが定められており、これら目的達成のため本法人は、第 4 条に掲げる芸術文化振興事業を引き続き行って参ります。

平成 24 年度は、平成 15 年 11 月の事業開始以来 9 年目となります。

芸術文化や公立文化施設をとりまく環境は、震災の影響、少子高齢化、人口減少、経済社会の停滞、価値観の多様化、財政構造のひっ迫などが影響し、大変厳しい状況におかれております。

今こそ、改めて原点に立ち返り、指定管理者として受託業務を適切に遂行するとともに、本法人が掲げる第 1 号から第 5 号までの五つの事業について、一層効果的に、着実に実施していくことが強く求められております。

このため、平成 24 年度においても質の高い芸術の鑑賞・体験機会の創出に取り組むとともに、市民が「こころのゆとり」の糧となる「舞台芸術の魅力」を引き続き提供して参ります。日頃馴染みの少ない地域団体や子ども達に対して、芸術文化の素晴らしさをより身近に感じていただけるよう、アウトリーチ事業等を積極的に展開し、岩手県オンリーワンのホールを目指し、芸術文化の振興に寄与して参ります。また、平成 25 年度に迎える開館 10 周年の節目にむけ、様々な観点から舞台芸術に親しむ機会を提供する地域の文化施設として、地域住民や施設利用者が参画して行う事業に取り組んで参ります。

II 重点事項

1 質の高い芸術を鑑賞・体験する機会の提供に関すること（第 1 号事業）

趣 旨 舞台芸術を広く市民、住民に提供し、誰もが音楽や演劇、ダンスを気軽に身近に鑑賞できる機会をつくり、舞台芸術との出会いをとおして、生きる喜びや感動を伝えます。特に北上市の将来を担う幼児・子ども対象の質の高い芸術鑑賞機会の提供を行います。また、公演の鑑賞のみならず出演者と直に触れ交流を深める機会や、芸術の普及を目的としたワークショップなどの場をつくります。事業実施にあたっては、注目度の高い出演者による話題性や実績があり、さくらホールの認知度をあげながら継続的に充実させていく事業、観客育成や普及に努める事業及び新規ジャンルやねらいに応じ新しく取り組む事業を 3 つの柱として掲げ、取り組んで参ります。

事業内容

① 国内外で活躍する芸術家による公演

【音楽部門】

- ・ クラシック音楽、吹奏楽、邦楽、ジャズ、ポップスなど変化に富んだ多ジャンルの公演をバランス良く計画し、実施年度において特に注目度が高く、質の高い音楽家の公演を実施します。
- ・ 観客の育成が必要なクラシック音楽については、年間 1 回のオーケストラ公演とリサイタル、サロン音楽会、アウトリーチを組み合わせ、長期的な取り組みにより観客の育成を実

現します。

- ・ 開館 10 周年記念事業の一年前企画として、著名指揮者によるベートーヴェン第九合唱団を公募し、定期的な練習及び公開リハーサルの実施を通して、10 周年に向けて機運を創り上げます。

【演劇部門】

- ・ 伝統芸能では、松竹大歌舞伎、落語公演を実施し、市民のライフワークに観劇を定着させるため、継続して実施します。また、民俗芸能の公演も実施します。
- ・ 舞台芸術の振興と普及を目指して、質の高い現代演劇の鑑賞機会を提供します。

【舞踊・パフォーマンス部門】

多ジャンルを超えて総合的に創作されるダンス及びパフォーマンス公演は、さくらホールの特徴でもあるダンス事業の推進と新しい観客層の育成のために、質の高い身体性を総合的に創り込んだ作品を上演します。

② 幼児・子ども向けの公演

幼児・子どもを対象とした公演を毎年 1 回以上実施し、幼児期から親子で芸術を鑑賞する機会と習慣を提供します。

③ 公演と一体的に行うアーティストトーク・ワークショップ

実施する鑑賞公演のうち、クラシック音楽、歌舞伎、ダンス、現代演劇など、現在集客力が弱く、観客育成のための普及活動が必要な公演ではアーティストトークやワークショップ、クリニックに取り組み、公演の鑑賞以外の芸術との関わりを市民に提供し、芸術の普及と観客の育成に努めます。

④ 協力事業の実施

マスコミ機関やプロモーター等が主催する公演に対し協力体制をとりながら、ラインナップを強化できるポップスコンサートやエンターテインメント等の催事を開催します。

2 住民自らによる芸術文化の創造支援及びそのための人材の育成に関すること（第 2 号事業）

趣 旨 住民や文化団体の主体的な芸術文化活動を支援、育成します。また、文化活動に参加する住民同士が交流し、活動を刺激するような創造と出会いの場を提供します。音楽や演劇、舞踊などを様々な形で体験し、自己表現や日常生活に新しい可能性を発見してもらいます。

事業内容

① 芸術創造活動の支援

- ・ 音楽、ダンス、バンドの市民参加型公演の開催、芸術創造活動の支援、講座の開催、住民や文化団体が主体的に参加できる公演の実施、ワークショップや楽器のクリニック、講座等を開催し、芸術創造活動を支援します。
- ・ 演劇では、北上市民劇場の活性化を図るため市民劇場を盛り上げる会「やっぺし」と協働で市民参加による演劇活動の推進を目指します。

② アウトリーチ(出前公演)

質の高い芸術の体験機会を提供するために、学校や施設などの様々な場所へ芸術を届けます。また、アーティスト発掘及び支援として、岩手県在住及び出身のアーティストとアイデアを出し合い、音楽の素晴らしさや楽しさを伝えるためのコンサートとアウトリーチを継続的に実施するため、地域のアーティストに関する情報収集などを進めます。

③ 幼児・子ども向け芸術体験

幼児期から芸術創造活動に参加する環境を提供し、楽しい体験を芸術への導入に繋げ、将来にわたる人材の育成を行います。また文化活動に参加する住民自らが、子ども達に芸術文化の魅力を直接伝える世代間交流の場や、活動紹介、成果発表の機会とします。

また、北上市の小学3、4年生の全児童を対象とした青少年鑑賞教室を実施し、次代を担う子ども達が、主体的に芸術文化活動に参加し、豊かな感受性を育む機会として質の高い舞台芸術の鑑賞の場を提供します。

④ ホール支援スタッフの育成

芸術に興味を持ち、関わる住民を増やすために公演におけるフロントスタッフ、託児スタッフの育成を行います。芸術鑑賞や創造活動への導入として捉え、NPO 法人芸術工房との協働により研修会等を開催します。

3 芸術文化関連の情報の蓄積及び受発信に関すること（第3号事業）

趣 旨 情報コーナーを活用して舞台芸術の文化を発信し、月刊情報誌「さくらホール Press」の発行により広報宣伝活動の充実を図ります。また、平成 24 年度も広く市民に情報の提供を行うために情報誌の全戸配布の実現に取り組みます。その他、報道機関等のメディアへの働きかけを行います。

事業内容

- ① 情報コーナーの運営（先進の芸術文化、地域の芸術文化活動のコーナー設置、情報提供）
- ② ラジオ番組「スタジオさくらーと」による広報・宣伝
- ③ 財団事業のパンフレット製作
- ④ 定期発行の情報誌「さくらホール Press」の製作
- ⑤ インターネットを活用して最新情報を提供するホームページの運営

4 北上市の芸術文化施設の管理運営に関すること（第4号事業）

趣 旨 当施設の管理運営に携わる職員を適正に配置し利用者の要望に応えます。特に利用サービスについては、多様な利用形態に柔軟に対応できる体制を整備し、利用率の拡大を図ります。このほか、職員全員が普通救命講習を受講し自動体外式除細動器（A E D）操作などの救命技能を有し、また入館者を安全に避難させることに重点をおいた訓練を定期的に行うなど、安全管理の徹底に万全を期していきます。

事業内容

- ① 市民の平等な利用に配慮した利用案内と申込み受付及び当日の利用サービスの実施

- ② 施設の紹介、バックステージツアー等の実施
- ③ 敷地や建物内の環境整備と安全確保
- ④ 各種設備機器や備品等の維持管理と有効活用

5 その他本法人の目的を達成するために必要な事業（第5号事業）

趣 旨 事業の持続的实施を図るため、自主事業公演チケットの販売拡大、施設利用促進等に努めます。

事業内容

- ① 公演チケットのインターネットによる予約販売
- ② 委託販売(プレイガイド)の拠点拡大
- ③ お得なチケット料金設定と販売促進活動
- ④ メール配信での公演情報発信
- ⑤ 地域の企業や団体への公演情報提供と販売促進活動
- ⑥ 受託によるチケット販売の拡大
- ⑦ インターネットによる施設空き情報公開と予約受付
- ⑧ 施設利用促進のための館内イベント実施やコンサートグランドピアノ利用企画の提供
- ⑨ 劇場の専門コンテンツを生かした多様なバックステージツアーの開催

平成24年度さくらホール事業計画

【第1号事業:鑑賞・体験型事業】

No.	ジャンル 事業分類	公演名	公演日	事業のねらい
1	音楽 ピアノ	辻井伸行ピアノリサイタル [実績に応じた公演]	4月7日(土)	クラシック音楽ファン以外からも注目を集めるアーティストのコンサートを開催することにより、さらなるクラシック音楽ファンの拡大と定着を図る。
2	音楽 アコーディオン	協力事業 cobaアコーディオンライブ	5月19日(土)	世界で活躍する有名アーティストによる優れたエンターテインメントを開催することにより、音楽をジャンルにこだわらずに楽しむことを提案し、幅広い年代の新しい客層を呼び込み、観客育成を図る。
3	音楽 ヴァイオリン オーケストラ	オルフェウス室内管弦楽団 & 五嶋龍 [実績に応じた公演]	5月30日(水)	クラシック音楽の花形であるオーケストラ(管弦楽団)の演奏会を定期的に開催することでオーケストラの魅力の普及を図る。また、一流であり且つ人気の高い管弦楽団とソリストの夢の共演によりクラシック音楽の真髄を提供し、クラシックファンの定着を狙う。
4	音楽 クラシック レクチャー	さくらホール10周年記念・一年前企画 指揮者・西本智実によるベート ーヴェン第九公開リハーサル [実績に応じた事業]	6月16日(土) 6月17日(日)	西本智実の指揮のもと、岩手ゆかりのアーティストとともに地域の音楽芸術を活性化させる機会を設け、合唱参加者には活気溢れる音楽活動を促し、音楽鑑賞ファンにはクラシック音楽への興味を一層深めてもらうことを目的とする。
5	音楽 ポップス	協力事業 松山千春コン サートツアー	6月21日(木)	ポピュラーで人気のアーティストのコンサートを開催することにより、多彩なジャンルに関心を持つ音楽ファンの拡大と定着を図る。
6	演劇 歌舞伎	松竹大歌舞伎 出演者:坂田藤十郎 他 ※IBC岩手放送 [実績に応じた公演]	7月9日(月)	歌舞伎を主とした古典芸能の普及と、演目理解促進のため継続して歌舞伎に親しむ鑑賞の機会を提供する。
7	音楽 プラス	ブラスト! ※キョードー東北 [実績に応じた事業]	7月27日(金)	吹奏楽ファンや音楽ファンを対象のみではなくエンターテインメント性の高い、世界から注目される人気の公演を開催することにより、幅広い年代、ジャンル層を取り込み、舞台芸術のすばらしさを提供する。
8	パントマイム	That's が~まるちよば 舞台公演 [実績に応じた事業]	9月5日(水)	世界で活躍し、認知度の高いライブ・パフォーマンスを上演することで、幅広い年代の新しい客層を呼び込み、演劇・パフォーマンスジャンルの観客育成を図る。
9	音楽 和太鼓	鼓童ワンアースツアー2012 伝説 演出:坂東玉三郎 [実績に応じた公演]	9月12日(水)	日本の太鼓文化を牽引してきた鼓童の公演機会を通して、和太鼓の響きや音楽表現に触れ、邦楽器や舞台芸術への理解を深める。また太鼓や民俗芸能団体と連携を深めながら、活動促進につなげる。
10	音楽 サロン アウトリーチ	きたかみサロン音楽会2012 ①吉田恭子ふれあいトリオ(ヴァイオリン) ②宮家奈津子(メゾソプラノ) ③田村緑(ピアノ) [育成普及公演]	10月13日(土) 11月17日(日) 12月13日(木)	クラシック音楽に対して敷居が高いと感じている市民に質の高い演奏家を近い距離で感じ、音楽の魅力を堪能できるコンサートを低価格で提供する。平成24年度は、ホールと地域がパートナーとなり、アウトリーチを協働で実施する。
11	幼児 ミュージカル	協力事業 アンパンマン ミュージカル「いのちの水 をすくえ!」	9月23日(日)	未就学児童が地域のホールに集い、たくさんの親子と一緒に生きたステージを鑑賞する機会を提供する。
12	演劇	演劇 地球の王様	11月8日(木)	質の高い現代演劇の鑑賞の機会を提供し、舞台芸術の振興と演劇ファンの定着と拡大を目指す。
13	パフォーマンス	公共ホールニューアート ネットワーク事業 THE DRAWING SHOW	11月23日(金)	韓国や日本の文化、多彩な表現の融合など新しい芸術の楽しみ方を提案するとともに、様々な表現活動の交流を促進させる。公共ホールが連携し新しい事業に取り組み、ノウハウを共有しながらネットワークを広げる。
14	音楽 ポップス	協力事業 小椋佳コンサート	12月2日(日)	幅広い年代を対象とした有名アーティストのコンサートを開催することで、広域から集客し、市内外にさくらホールをアピールする。
16	演劇 落語	落語 独演会	未定	定期的に落語会を開催することで、話芸芸術の魅力を提供し、更なるファンの定着と拡大を図る。岩手県での開催はさくらホールという落語ブランドを作り上げる。
15	幼児 ミュージカル	しまじろう 歌とお城の物 語	平成25年 3月24日(日)	未就学児童が地域の公共ホールに集い、たくさんの親子と一緒に生きたステージを鑑賞する機会を提供する。

【第2号事業:創造・育成型事業】

連番	ジャンル 事業分類	公演名	公演日	事業のねらい
1	音楽 クラシック 普及	きたかみサロン音楽会2012 アウトリーチ「ここさ来♪音楽会」 ①吉田恭子ふれあいトリオ(ヴァイオリン) ②菅家奈津子(メゾソプラノ) ③田村緑(ピアノ)	各公演日 前後	プロの演奏家が学校などのホール以外の場所で「生の」音楽に触れるコンサートやワークショップを行い、「生の」芸術に触れ、感動をその場にいる全員で共有する機会を提供する。
2	音楽 人材育成 アーティスト 支援	アウトリーチ事業	未定	岩手県在住、岩手県出身の演奏家と共にプログラムを創り、学校等でアウトリーチを行うことができるよう、アーティスト支援及び人材育成を行う。
3	ミュージカル	平成24年度青少年芸術鑑賞 オペラシアターこんにやく座 「森は生きている」	11月19日(月)	次代を担う子ども達が、生涯を通じて気軽に芸術文化に触れ、主体的に芸術文化活動に参加し、世代を超えた人々と交流することによって、豊かな感受性を育み社会性、協調性を学んでいく一助となるよう、質の高い舞台芸術の鑑賞の場とする。
4	音楽 バンド	ファイナルライブ2012	12月31日(月)	バンド利用者や団体へ発表の場を提供することによって、レベルアップを図るとともに、バンド練習拠点としての情報発信を行い、施設利用促進を図る。
5	演劇	第36回北上市民劇場	平成25年 2月23日24日	市民と創造の喜びを共有し、北上における演劇活動を促進していくとともに、市民劇場を盛り上げる会「やっべし」と財団の協働により、市民参加による芸術文化活動を発展させる。
6	音楽 幼児親子	ぽかぽかママ(コンサート&骨 盤体操教室)	未定	育児中のママたちが子どもと共に集い、音楽や体操を体験するミニ講座。乳幼児の頃から音楽に触れ、ホールに集まる習慣をつける。
7	幼児子ども 参加体験	キッズパラダイス2012	未定	ホールのオープンな施設の特徴と芸術文化体験・参加型事業を全館的に展開し、幼児期から文化創造活動に参加する環境を提供する。また地域や地元企業、市民団体等も巻き込み地域社会との交流、世代交流の促進を図る。

平成 24 年度日本現代詩歌文学館運営協会事業方針

I 方針

日本現代詩歌文学館は、詩歌愛好者、研究者、市民、支援団体に支えられて、開館 22 年目を迎えます。

100 万点を超える豊富な所蔵資料とともに、文献の照会、検索の対応は、全国のトップレベルであると全国の利用者から高い評価をいただいております。

詩歌文学館設立当初からの理念と特質を堅持しながら、指定管理者として機能的、効率的な管理運営に努めております。平成 24 年度も、施設の安全管理に配慮するとともに、組織体制を確立しながら、資料の収集、利用者へのサービス向上をはかります。

II 重点施策

1 関係団体との連携による利用促進

詩歌文学館賞贈賞式、展示、集いなどへの参加、協力を呼びかけるとともに、全国の各詩歌団体の大会、集会を積極的に誘致します。閲覧室の利用促進について PR に努めながら、綿密な資料収集に繋げていきます。

2 詩歌研究の充実

日本現代詩歌研究センターの機能を充実して、専門的な人脈や情報ネットワークの中心的存在となり、詩歌研究の発展に寄与していきます。

3 詩歌の普及

各種講座を開催し、詩歌愛好者の拡大を図ります。主催事業や貸館業務における市民の要望を受け入れながら、市民参加、利用の促進に努めます。親子で訪れる詩歌の森公園の恵まれた環境を活かし、市民の憩いの場所としての定着化をはかります。

4 詩歌情報の発信

詩歌文学館振興会、一ツ橋綜合財団等からの全国の詩歌に関する情報を受け、詩歌文学館からは活動状況、文献情報等を発信し、支援協力関係を強化していきます。

5 組織体制の強化

所蔵資料の充実により、閲覧や電話、ファクシミリ、メール、文書によるレファレンスが飛躍的な件数に達してきたことから、職員の充実、組織体制の機能化と事業運営の効率化を図ることが急務となっています。

北上市が平成 25 年度に組織の見直しを行うことから、これに呼応して、法人化を検討していきます。

また、非受け入れ資料についても、活用方法を検討していきます。

平成 24 年度日本現代詩歌文学館運営協会事業計画

平成 24 年度の事業方針に基づき、次の事業を実施します。

会 議

- 1、理事会 年 2 回の開催
- 2、企画委員会 展示等についての企画内容の検討
- 3、研究紀要刊行委員会 研究紀要第 11 号の刊行準備

式 典

「第 27 回詩歌文学館賞贈賞式」

日 時 平成 24 年 5 月 26 日（土）午後 3 時

場 所 日本現代詩歌文学館 講堂

受賞者・受賞作品 別途東京で開催する選考委員会（平成 24 年 3 月 7 日・如水会館）において決定されます。

展 示

- 1、常設展示（平成 24 年 3 月上旬～平成 25 年 3 月上旬）
テーマ 「(仮) 震災と詩歌」
- 2、企画展示 寄贈資料等を中心に検討します。

集 会

- 1、集い 詩、短歌、俳句、川柳部門について毎年集いを実施しますが、
24 年度は、俳句部門（「現代俳人の集い」）を開催します。
- 2、雑草園祭 平成 24 年 4 月 22 日（日）（共催：北上・和賀地区俳句会連絡協議会）
- 3、俳句まつり 平成 24 年 9 月予定
- 4、(仮) エリック・ブノワ文学講演会 平成 24 年 12 月予定（共催：岩手大学）岩手大学の国際シンポジウムに来日するフランスの文学者エリック・ブノワ氏の講演会を常設展関連行事として、また、大学と社会教育施設の連携事業として開催します。

講 座

- 1、詩の講座 平成 24 年 8 月開催（講師 和合亮一）
- 2、短歌入門 平成 24 年 7 月開催（講師 柏崎驍二）
- 3、短歌実作 平成 24 年 9 月開催（講師 篠 弘）
- 4、俳句基礎講座 平成 24 年 9 月開催（講師 白濱一羊）
- 5、こども俳句教室 平成 24 年 8 月開催（講師 小林輝子）

資料の収集・整理

明治以降の詩歌資料を作家の有名無名を問わず、網羅的に収集します。
寄贈された資料を計画的に整理していきます。

広 報（年 3 回）

館報「詩歌の森」の発行。（65 号、66 号、67 号）

その他

1、協賛事業等

全国の詩歌結社の大会、集会の誘致
詩歌文学館が協賛する各種の講演、講習会等への支援
東北近代文学事典編集への協力
学芸員の講師招請に対する派遣

2、全国文学館協議会（幹事館）

・理事会・総会

平成 24 年 6 月 13 日（水） 日本近代文学館

・資料情報部会

平成 24 年 10 月予定 大岡信ことば館（静岡県）

資 料 編

委員名簿

北上市教育委員会 歴代委員長、教育長、委員
北上市心身障害児就学審議委員会委員
北上市社会教育委員
北上市文化財保護審議会委員
北上市立図書館協議会委員
北上市立博物館協議会委員
北上市立鬼の館協議会委員
北上市スポーツ推進審議会委員
北上市スポーツ推進委員
北上市奨学生選考委員会委員

園児・児童・生徒数

幼稚園、保育園
小学校、中学校、高等学校、専修学校、各種学校

北上市教育委員会 歴代委員長、教育長、委員

(平成24年7月1日現在)

歴代委員長

代	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初代	伊 藤 辰 男	平成3年4月1日	平成3年5月30日
2	高 橋 忠 孝	平成3年5月31日	平成7年5月30日
		平成7年6月1日	平成11年5月31日
3	八重樫勵子	平成11年6月1日	平成13年5月31日
4	吉 田 建 彦	平成13年6月1日	平成15年5月31日
		平成15年6月2日	平成19年5月31日
5	小笠原味佐枝	平成19年6月1日	平成21年5月31日
6	池 田 道 雄	平成21年6月1日	平成22年5月31日
7	石 川 秀 司	平成22年6月1日	平成24年5月31日
8	小 原 広 記	平成24年6月1日	在 任 中

歴代教育長

代	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初代	菊 池 清	平成3年4月1日	平成3年5月30日
2	成 瀬 延 晴	平成3年6月2日	平成7年5月31日
		平成7年6月1日	平成11年5月31日
3	菊 池 憲 一	平成11年6月1日	平成15年5月31日
4	高 橋 一 臣	平成15年6月1日	平成19年5月31日
		平成19年6月1日	平成23年5月31日
5	小 原 善 則	平成23年6月1日	在 任 中

歴代委員

氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
伊 藤 辰 男	平成3年4月1日	平成3年5月30日
斉 藤 重 治	平成3年4月1日	平成3年5月30日
佐々木 武 夫	平成3年4月1日	平成3年5月30日
及 川 慶 一	平成3年4月1日	平成3年5月30日
菊 池 清	平成3年4月1日	平成3年5月30日
高 橋 忠 孝	平成3年5月31日	平成7年5月30日
	平成7年6月1日	平成11年5月31日
熊 谷 啓 司	平成3年5月31日	平成6年5月30日
	平成6年6月20日	平成10年6月19日

歴代委員（続き）

氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
八重樫 勸 子	平成 3 年 5 月 31 日	平成 5 年 5 月 30 日
	平成 5 年 6 月 21 日	平成 9 年 6 月 20 日
	平成 9 年 6 月 21 日	平成 13 年 6 月 20 日
齋 藤 均	平成 3 年 5 月 31 日	平成 4 年 5 月 30 日
	平成 4 年 6 月 23 日	平成 8 年 6 月 22 日
	平成 8 年 6 月 23 日	平成 12 年 6 月 22 日
成 瀬 延 晴	平成 3 年 6 月 2 日	平成 7 年 5 月 31 日
	平成 7 年 6 月 1 日	平成 11 年 5 月 31 日
都 鳥 和 雄	平成 10 年 6 月 20 日	平成 13 年 5 月 9 日
菊 池 憲 一	平成 11 年 6 月 1 日	平成 15 年 5 月 31 日
吉 田 建 彦	平成 11 年 6 月 1 日	平成 15 年 5 月 31 日
	平成 15 年 6 月 1 日	平成 19 年 5 月 31 日
高 橋 穩 至	平成 12 年 6 月 23 日	平成 16 年 1 月 13 日
池 田 道 雄	平成 13 年 6 月 21 日	平成 14 年 6 月 19 日
	平成 14 年 6 月 20 日	平成 18 年 6 月 19 日
	平成 18 年 6 月 20 日	平成 22 年 6 月 19 日
小笠原 味佐枝	平成 13 年 6 月 21 日	平成 17 年 6 月 20 日
	平成 17 年 6 月 21 日	平成 21 年 6 月 20 日
高 橋 一 臣	平成 15 年 6 月 1 日	平成 19 年 5 月 31 日
	平成 19 年 6 月 1 日	平成 23 年 5 月 31 日
石 川 秀 司	平成 16 年 6 月 23 日	平成 20 年 6 月 22 日
	平成 20 年 6 月 23 日	平成 24 年 6 月 22 日
小 原 広 記	平成 19 年 6 月 1 日	平成 23 年 5 月 31 日
	平成 23 年 6 月 1 日	在 任 中
高 橋 峯 子	平成 21 年 6 月 21 日	在 任 中
薄 衣 景 子	平成 22 年 6 月 23 日	在 任 中
小 原 善 則	平成 23 年 6 月 1 日	在 任 中
高 橋 善 郎	平成 24 年 6 月 29 日	在 任 中

北上市心身障害児就学審議委員会委員名簿

(平成24年7月1日現在)

氏 名	所 属・職 名 等	任 期	摘 要
成 井 和 雄	なるいクリニック	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日	
小野寺 典 夫	小野寺こども医院	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日	
笹 森 史 朗	ささもり耳鼻咽喉科医院	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日	
澤 田 育 生	北上市立北上中学校長	平成23年5月1日～ 平成25年4月30日	
木 村 利 光	北上市立黒沢尻東小学校長	平成24年5月1日～ 平成26年4月30日	
川 村 恵 壽	北上市立黒沢尻西小学校長	平成23年5月1日～ 平成25年4月30日	
菊 池 修 子	北上市立飯豊小学校教諭	平成23年5月1日～ 平成25年4月30日	
原子内 陽 子	北上市立和賀東中学校教諭	平成24年5月1日～ 平成26年4月30日	
遠 藤 寿 明	岩手県立花巻清風支援学校 副校長	平成24年5月1日～ 平成26年4月30日	
高 橋 文 子	北上市立大通り保育園長	平成24年5月1日～ 平成26年4月30日	
千 田 健 治	北上市立こども療育センター 園長	平成24年5月1日～ 平成26年4月30日	
菅 原 千恵子	保健福祉部健康増進課 母子保健係長	平成23年5月1日～ 平成25年4月30日	
菅 原 真紀子	保健福祉部福祉課障害福祉係 主任	平成24年5月1日～ 平成26年4月30日	
菊 池 協 子	北上市立黒沢尻幼稚園長	平成24年5月1日～ 平成26年4月30日	
川 辺 千 秋	北上市教育委員会ことばの教室 相談員	平成24年5月1日～ 平成26年4月30日	

北上市社会教育委員名簿

(平成24年7月1日現在)

氏 名	選出区分	主 た る 経 歴	任 期
佐 藤 和 範	学校教育	黒岩小学校長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
平 野 茂	学校教育	北上北中学校長	平成24年7月1日～ 平成26年6月30日
中 野 義 明	社会教育	北上市PTA連合会長	平成24年7月1日～ 平成26年6月30日
高 橋 郁 子	社会教育	北上市地域婦人団体協議会 常任理事	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
高 橋 マサ子	社会教育	北上市老人クラブ連合会副会長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
佐 藤 敞 英	社会教育	北上市少年少女発明クラブ会長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
及 川 清 人	社会教育	北上市体育協会長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
高 橋 馨	社会教育	黒沢尻北地区交流センター長	平成24年7月1日～ 平成26年6月30日
菊 地 恵 子	社会教育	北上ユネスコ協会副会長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
菅 野 千賀子	家庭教育	きたかみ子育てネット代表	平成24年7月1日～ 平成26年6月30日
佐 藤 芳 子	家庭教育	江釣子小学校図書・読み聞かせ ボランティア	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
吉 田 燦 子	家庭教育	子育て支援ボランティアグループ 「パレット」顧問	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
菊 池 憲 一	学識経験	北上市社会福祉協議会長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
濱 智 子	学識経験	いわてNPO－NETサポート 理事	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
前 田 恒	学識経験	北上青年会議所副理事長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
高 橋 利 典	学識経験	北上市行政区長協議会長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
佐 藤 安 友	学識経験	岩手県農業農村指導士協会長	平成24年7月1日～ 平成26年6月30日
奥 山 則 男	学識経験	元黒沢尻北小学校長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
菊 池 巖	学識経験	元北上市教育委員会社会教育課 課長補佐	平成24年7月1日～ 平成26年6月30日

北上市文化財保護審議会委員名簿

(平成24年 7 月 1 日現在)

氏 名	主たる経歴等	任 期
沼 山 源喜治	北上市立中央図書館近世・近代文書調査員 元北上市立埋蔵文化財センター所長	平成23年 7 月 1 日～ 平成25年 6 月30日
佐 竹 邦 彦	北上市立博物館専任研究員	平成23年 7 月 1 日～ 平成25年 6 月30日
照 井 将	岩手県建築士会北上支部相談役	平成23年 7 月 1 日～ 平成25年 6 月30日
高 野 祐 晃	北上市立博物館研究員	平成23年 7 月 1 日～ 平成25年 6 月30日
原子内 貢	元北上市立博物館研究員	平成23年 7 月 1 日～ 平成25年 6 月30日
八重樫 良 宏	元北上市立南小学校校長	平成23年 7 月 1 日～ 平成25年 6 月30日
大 石 泰 夫	盛岡大学教授	平成23年 7 月 1 日～ 平成25年 6 月30日

北上市立図書館協議会委員名簿

平成24年 7 月 1 日現在

氏 名	主 な 経 歴	任 期
木 村 利 光	北上市立黒沢尻東小学校長	平成24年 5 月 1 日～ 平成25年 1 月31日
久 慈 行 治	岩手県立北上翔南高等学校長	平成23年 5 月 1 日～ 平成25年 4 月30日
梶 川 アツ子	北上市地域婦人団体協議会 北上支部常任理事	平成23年 8 月 1 日～ 平成25年 7 月31日
阿 部 吉 武	前北上市 P T A 連合会副会長	平成22年 9 月 1 日～ 平成24年 8 月31日
伊 藤 みどり	野中地域文庫世話人	平成23年 8 月 1 日～ 平成25年 7 月31日
及 川 りつ子	いわさき認定こども園長	平成23年 8 月 1 日～ 平成25年 7 月31日
及 川 敦 子	読書ボランティア十二支会長	平成23年 8 月 1 日～ 平成25年 7 月31日
武 埴 忍	北上読書連絡会副会長	平成24年 2 月 1 日～ 平成26年 1 月31日

北上市立博物館協議会委員名簿

(平成24年 7 月 1 日現在)

氏 名	主 た る 経 歴	任 期
高 橋 晃	北上市立二子小学校長	平成24年 6 月 1 日～ 平成26年 5 月31日
久 慈 行 治	岩手県立北上翔南高等学校長	平成23年11月 1 日～ 平成25年10月31日
菊 池 清 春	北上史談会会員	平成23年 8 月 1 日～ 平成25年 7 月31日
佐 藤 克 英	北上ユースワーカー協議会長	平成23年 8 月 1 日～ 平成25年 7 月31日
三 浦 啓 一	立花自治振興協議会会長	平成23年 8 月 1 日～ 平成25年 7 月31日
菊 池 恭 司	岩手虫の会会員	平成23年 8 月 1 日～ 平成25年 7 月31日
中 田 淑 子	双葉幼稚園父母会役員	平成23年 8 月 1 日～ 平成25年 7 月31日
千 田 文 子	元北上市立黒沢尻東小学校長	平成23年 8 月 1 日～ 平成25年 7 月 31 日
小 原 美英子	北上商工会議所女性会副会長	平成23年 8 月 1 日～ 平成25年 7 月31日

北上市立鬼の館協議会委員名簿

(平成24年 7 月 1 日現在)

氏 名	主たる経歴等	任 期
和 田 国 男	岩崎鬼剣舞保存会長	平成22年10月 1 日～ 平成24年 9 月30日
斎 藤 駿一郎	郷土歴史研究家	平成22年10月 1 日～ 平成24年 9 月30日
菊 池 章 子	ヤマコ総合事業（有） 水神温泉 山照園 取締役社長	平成24年 3 月 1 日～ 平成26年 2 月28日
高 橋 敏 子	和賀町文化協会 事務局次長	平成22年10月 1 日～ 平成24年 9 月30日
小 原 俊 子	北上市立いわさき小学校長	平成23年 5 月 1 日～ 平成25年 4 月30日

北上市スポーツ推進審議会委員名簿

(平成24年7月1日現在)

氏 名	選出区分	主 たる 経 歴	任 期
川 村 淳	学校の長	北上市立江釣子小学校長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
沢 田 育 生	学校の長	北上市立北上中学校長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
三 浦 俊 哉	学校の長	岩手県立黒沢尻工業高等学校長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
佐 藤 正 義	体育関係団体	北上市スポーツ少年団本部長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
高 橋 吉 行	体育関係団体	北上市スポーツ推進委員協議会会長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
及 川 清 人	体育関係団体	財団法人北上市体育協会会長	平成24年7月1日～ 平成26年6月30日
高 橋 豊 見	体育関係団体	総合型地域スポーツクラブサークルS & Cいいとよ代表	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
谷地畝 範 子	女性団体	北上市地域婦人団体協議会理事	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
茂 木 隆	医師会	北上医師会理事	平成24年7月1日～ 平成26年6月30日
千 田 節 子	健康づくり	北上市保健推進員協議会副会長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
阿 部 三津恵	健康づくり	北上市食生活改善推進員団体連絡協議会副会長	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
高屋敷 克 廣	商工労働団体	北上商工会議所専務理事	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
本 正 園 子	学識経験者	岩手県立北上翔南高等学校教諭	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
渡 邊 昭 嘉	学識経験者	専修大学北上高等学校特別教諭	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
目 時 隆 士	学識経験者	前岩手県立黒沢尻北高等学校教頭	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
海 野 三 枝	学識経験者	2000国際スキー技術選手権女子総合優勝	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
遠 山 晋一郎	学識経験者	岩手県バレーボール協会名誉会長	平成24年7月1日～ 平成26年6月30日
八重樫 輝 男	学識経験者	北上市陸上競技協会顧問	平成24年7月1日～ 平成26年6月30日
佐々木 武 人	学識経験者	福島大学名誉教授	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日
大 塚 健 樹	学識経験者	盛岡大学短期大学部教授	平成23年7月1日～ 平成25年6月30日

平成24年度北上市スポーツ推進委員名簿

(平成23年4月1日～平成25年3月31日)

No.	地区等	氏 名	No.	地区等	氏 名
1	黒東	八重樫 育	25	口内	菅 野 勝 彦
2	〃	長 野 重 樹	26	〃	昆 野 淳 一
3	〃	小 松 均	27	稲瀬	上 野 雄 悦
4	〃	早 川 志保子	28	〃	高 橋 優 介
5	黒西	赤 川 周 平	29	相去	高 橋 恵美子
6	〃	川 村 和 彦	30	〃	及 川 三 男
7	〃	平 野 眞智子	31	〃	佐 藤 美智代
8	〃	扇 柳 友 二	32	〃	多 田 広 繁
9	黒北	高 橋 定 男	33	鬼柳	昆 勇
10	〃	柴 田 裕 加	34	〃	青 木 一 宏
11	〃	加 藤 大	35	〃	千 葉 儀 人
12	〃	伊 勢 登	36	江釣子	佐 藤 芳 昭
13	立花	小野寺 育 男	37	〃	伊 藤 静 子
14	〃	高 杉 均	38	〃	横 田 順 子
15	飯豊	高 橋 利 尚	39	〃	小 原 紀 実
16	〃	齋 藤 久仁子	40	和賀	高 橋 甫
17	〃	八重樫 護	41	〃	折 原 光 枝
18	〃	伊 藤 勝 彦	42	〃	菊 池 智 子
19	二子	筒 井 直 美	43	岩崎	高 橋 吉 行
20	〃	佐 藤 福 司	44	〃	小野寺 政 幸
21	更木	千 田 治	45	藤根	高 橋 美江子
22	〃	藤 村 真由美	46	〃	齊 藤 淳 司
23	黒岩	及 川 佳 彰	47	〃	菅 野 孝 志
24	〃	藤 原 秀 一	48	公募	高 橋 公 子

北上市奨学生選考委員会委員名簿

(平成24年7月1日現在)

NO	任命区分	氏 名	主たる経歴 役 職	任 期
1	学校長	く じ ゆき はる 久 慈 行 治	岩手県立北上翔南高等学校長	平成23年5月13日～ 平成25年5月12日
2	学校長	ひら さわ ち お こ 平 澤 千 麻 子	北上市立東陵中学校長	平成24年5月16日～ 平成26年5月15日
3	知識経験者	さ とう なお こ 佐 藤 直 子	民生委員	平成23年5月13日～ 平成25年5月12日
4	知識経験者	い とう かず こ 伊 東 和 子	元消費生活相談員	平成24年5月16日～ 平成26年5月15日
5	知識経験者	や え が し た み のり 八重樫 民 徳	元北上市教育次長	平成24年5月16日～ 平成26年5月15日

幼稚園・保育園の園児数

平成24年 5 月 1 日現在

■幼稚園

(単位：人)

区分	園 名	3 歳児	4 歳児	5 歳児	園児数	定員
市立	黒沢尻幼稚園	38	51	56	145	195
	更木幼稚園	7	15	12	34	65
	江釣子幼稚園	26	48	30	104	150
	横川目幼稚園	13	12	15	40	130
	藤根幼稚園	19	26	20	65	100
	計	103	152	133	388	640
私立	専大北上幼稚園	85	77	74	236	270
	やさか幼稚園	39	41	55	135	180
	むらさきの幼稚園	59	86	90	235	240
	暁の星幼稚園	37	53	41	131	200
	双葉幼稚園	58	57	57	172	190
	大堤幼稚園	40	46	51	137	230
	いわさき幼稚園 (いわさき認定こども園)	11	14	7	32	30
	計	329	374	375	1,078	1,340
合 計		432	526	508	1,466	1,980

■保育園

(単位：人)

区分	園 名	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	園児数	定員
市立	大通り保育園	1	14	26	31	34	33	139	138
	飯豊保育園	1	9	14	25	23	25	97	90
	二子保育園	1	16	18	23	24	27	109	110
	口内保育園		2	9	7	11	8	37	60
	南保育園	2	7	11	16	16	16	68	70
	江釣子保育園		13	18	23	19	27	100	100
	鳩岡崎保育園	3	9	12	14	14	19	71	70
	横川目保育園	3	5	10	12	12	11	53	75
	計	11	75	118	151	153	166	674	713
私立	黒沢尻保育園	3	24	24	32	30	31	144	140
	川岸保育園	2	13	18	27	29	30	119	105
	北上保育園	14	31	33				78	90
	立花保育園	1	12	12	10	16	11	62	60
	くにみ保育園	3	10	10	8	7	10	48	45
	相去保育園	3	10	11	15	10	20	69	60
	わがの里保育園	14	23	26	25	28	27	143	120
	おにやなぎ保育園	4	14	17	22	22	25	104	90
	いわさき保育園 (いわさき認定こども園)	2	10	14	14	15	12	67	60
	ときわだい保育園	13	19	20	14	13	10	89	90
	計	59	166	185	167	170	176	923	860
合 計		70	241	303	318	323	342	1,597	1,573

平成24年5月1日現在

小中学校

学 校 名	児 童 ・ 生 徒 数 (人)							学級数	特別支援学級		合 計	
	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計		児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
小学校												
黒沢尻北小学校	135	141	142	129	176	152	875	26	12	3	887	29
黒沢尻東小学校	109	114	132	108	137	114	714	22	13	3	727	25
黒沢尻西小学校	71	76	67	75	73	74	436	14	9	2	445	16
立花小学校	9	13	19	13	23	14	91	6	6	2	97	8
飯豊小学校	104	102	112	112	116	109	655	18	12	3	667	21
二子小学校	32	31	38	23	45	37	206	7	5	2	211	9
更木小学校	5	9	7	4	7	11	43	4			43	4
黒岩小学校	7	7	8	8	16	10	56	5	1	1	57	6
口内小学校	4	12	9	8	13	14	60	6	1	1	61	7
照岡小学校	8	11	12	9	9	12	61	6	3	1	64	7
南小学校	97	95	120	106	98	97	613	18	5	2	618	20
鬼柳小学校	53	42	58	46	45	55	299	12	2	1	301	13
江釣子小学校	126	107	115	111	135	127	721	22	10	3	731	25
和賀西小学校	14	13	13	17	13	26	96	6	1	1	97	7
笠松小学校	25	17	25	17	14	22	120	6			120	6
いわさき小学校	17	27	25	23	35	29	156	6	3	2	159	8
和賀東小学校	44	55	62	69	45	53	328	12	7	2	335	14
計	860	872	964	878	1,000	956	5,530	196	90	29	5,620	225
中学校												
上野中学校	138	125	144				407	12	5	2	412	14
北上中学校	177	181	192				550	15	7	2	557	17
東陵中学校	69	44	45				158	6	1	1	159	7
飯豊中学校	111	113	121				345	11			345	11
北上北中学校	40	45	47				132	6	3	2	135	8
南中学校	157	166	153				476	13	7	2	483	15
江釣子中学校	115	129	118				362	11	7	2	369	13
和賀西中学校	45	51	43				139	6	3	1	142	7
和賀東中学校	81	73	82				236	9	10	2	246	11
計	933	927	945				2,805	89	43	14	2,848	103

高等学校

平成24年4月1日現在

学校名	教職員数	学級数	生徒数	住 所	電 話
黒沢尻北高等学校	56	19	749	北上市常盤台1-1-69	63-2181
北上翔南高等学校	72	18	717	北上市相去町高前壇13	71-2123
黒沢尻工業高等学校	85	18	673	北上市村崎野24-19	66-4115
専攻科	6	2	19	北上市村崎野24-19	66-4115
専修大学北上高等学校	70	23	761	北上市新穀町2-4-64	63-2341
計	289	80	2,919		

専修学校

平成24年4月1日現在

学校名	教職員数	学級数	生徒数	住 所	電 話
専修大学北上福祉教育専門学校	39	4	207	北上市鍛冶町1-3-1	61-2131
計	39	4	207		

各種学校

平成24年4月1日現在

学校名	教職員数	学科数	生徒数	住 所	電 話
北上コンピュータ・アカデミー	21	2	183	北上市藤沢22-123-1	64-6551
計	21	2	183		

スポーツ都市宣言

スポーツは心豊かで明るい社会をつくり、世界の平和と人々との友好な関係を築く大きな役割を果たします。

私たち北上市民は、水と緑に恵まれた美しい郷土で、生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを愛することにより、健康で活力ある躍動感にあふれたまちづくりをめざします。

ここに 21 世紀のスタートの年「スポーツ都市」を宣言します。

平成 13 年 10 月 1 日

北 上 市

北上っ子5つのやくそく

1 ^{じぶん}自分から ^{あか}明るく

^{えがお}笑顔であいさつをします

2 すなおな ^{きも}気持ちで「ありがとう」

「ごめんなさい」を ^い言います

3 ^{かぞく}家族の ^{いちいん}一員として

^{すす}進んで ^{てっだ}お手伝いをします

4 ^{もの}物を ^{たいせつ}大切に

^{せいり}整理せいとんをします

5 ^{もくひょう}目標に向かって ^むねばり ^{づよ}強く

チャレンジします

北上市教育委員会では、平成22年1月、子どもたちに身につけさせたい生活習慣を「北上っ子5つのやくそく」として決めました。

子どもたちが健やかに成長し、心豊かな社会生活を営むことを願い、親子や地域全体での取り組みを推進します。

平成 24 年度 北上の教育

平成 24 年 8 月 発行

発 行 北上市教育委員会

編 集 北上市教育委員会事務局総務課

〒024-8501 岩手県北上市芳町 1 番 1 号

T E L 0197-64-2111 F A X 0197-65-3790

U R L <http://www.city.kitakami.iwate.jp>

E メール ksomu@city.kitakami.iwate.jp